

次期彦根市総合計画策定に係る市民意識調査結果報告書

令和 2 年 3 月

彦 根 市

はじめに

彦根市では、平成23年3月に策定した彦根市総合計画に基づいて、そのコンセプトである「風格と魅力ある都市の創造」の実現に向けて取り組みを進めておりますが、この計画が令和3年度で終了いたしますとともに、社会情勢がめまぐるしく変化し、また、厳しい財政事情の中、より効率的で効果的な行政運営を行い、魅力あるまちづくりを推進していくため、新たなまちづくりの指針となる総合計画を策定することとしております。

本調査は、この計画策定の一環として、各分野における市民の皆様の意識などを把握し、今後における彦根市のビジョンを検討することを目的として実施したものです。

この調査結果は、貴重な資料として、新しい総合計画の策定はもとより、市政の各分野で生かしてまいりたいと考えております。

最後に、この調査にご協力いただきました市民の皆様にお礼申し上げますとともに、今後とも彦根市の将来像を皆様とともに描いていき、協働して創り上げていきたいと考えておりますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年3月

彦根市長 大久保 貴

目 次

I	調査概要	1
1	調査の目的	2
2	調査方法	2
3	回収率	2
4	調査結果概要	3
II	調査結果	5
	一般市民	7
1	回答者の属性	8
	（1）性別	8
	（2）年齢	8
	（3）職業	8
	（4）居住地区	9
	（5）家族構成	9
	（6）居住年数	9
2	彦根市での暮らし全体について	10
	（1）まちへの思い	10
	（2）定住意向	11
	（3）居住環境について	12
	（4）「誇れるところ」について	15
	（5）まちづくりの取り組みに関する評価について	16
3	彦根市の将来像について	17
4	まちづくりの取り組みについて	18
	（1）環境・都市基盤について	18
	（2）文化・産業について	22
	（3）人権・福祉・安全について	30
	（4）生涯学習・次世代育成・市民交流について	38
	（5）市民の市政参加について	43
5	自由記述	48

小学生	49
1 回答者の属性	50
(1) 性別	50
(2) 小学校	50
2 彦根市のことについて	51
(1) まちへの思い	51
(2) 彦根市の自慢	51
(3) よく行く場所やお祭り・イベント等について	52
3 あなたや彦根市の将来のことについて	53
(1) 将来の夢	53
(2) 未来の彦根市について	54
(3) 大人になっても住み続けたいと思えるまちについて	55
(4) まちづくりへの参加意向について	56
4 自由記述	57

外国人	59
1 回答者の属性	60
(1) 性別	60
(2) 年齢	60
(3) 職業	61
(4) 彦根市に住んだ理由	61
(5) 国籍	62
2 彦根市のことについて	62
(1) まちへの思い	62
(2) 彦根市のすばらしい点について	63
(3) 住んでいて困っていることについて	63
(4) 外国人にもっと訪れてもらうための工夫について	64
(5) 多文化共生の地域社会づくりについて	64
3 彦根市の将来のことについて	65
(1) まちへの期待	65
(2) まちづくりへの参加意向	66

III 調査票 67

- 1 一般市民調査票
- 2 小学生調査票
- 3 外国人調査票

I 調査概要

- 1 調査の目的
- 2 調査方法
- 3 回収率
- 4 調査結果概要

1 調査の目的

新たな総合計画の策定に向けて、市民のまちづくりに関する意向を把握し、基礎資料とするため、調査を実施したものです。

2 調査方法

一般市民、小学生、外国人に対して、以下のとおり調査を実施しました。

一般市民

調査対象	住民基本台帳から満 18 歳以上の市民 1,000 人を無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収
調査期間	令和元年 10 月 11 日～11 月 1 日

小学生

調査対象	市内各小学校の 5 年生 1 クラスの児童
調査方法	各学校による直接配布・回収
調査期間	令和元年 10 月 11 日～11 月 1 日

外国人

調査対象	外国人住民から満 18 歳以上の市民 50 人を無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収
調査期間	令和元年 10 月 11 日～11 月 1 日

3 回収率

それぞれの回収率は以下のとおりです。

	配布数	有効回答数	回収率
一般市民	1,000 件	411 件	41.1%
小学生	452 件	452 件	100.0%
外国人	50 件	8 件	16.0%

4 調査結果概要

調査結果の概要は以下のとおりです。

[彦根市の暮らし全体について]

- 一般市民、小学生ともに8割以上（外国人も大半）が、「彦根市が好き」と回答しており、まち・暮らしに対する全体的な評価、まちへの愛着は高いといえます。
- 居住環境において、一般市民、小学生、外国人のいずれもが、特に「自然環境の豊かさ」や「まちの歴史や伝統」を評価しており、まちの大きな魅力となっています。
- しかし一方で、定住意向については、「住み続けたい」との回答が6割程度（一般市民）であり、残り4割の方の中には一部「市外へ移りたい」との意向も見受けられることから、まちへの愛着は高いものの、必ずしも定住意向と直結しているとはいえない状況にあります。

[現在のまちづくりについて]

- 彦根市の現在のまちづくりにおいて、「環境・都市基盤」「文化・産業」に関する分野に関しては、ともに半数以上の方が肯定的な回答（「水と緑の美しいまちだと思う」、「歴史と伝統を生かした文化的で活気のあるまちだと思う」）をしていますが、「人権・福祉・安全」「生涯学習・次世代育成・市民交流」に関する分野においては、肯定的な回答（「人権を尊び、お互いに助け合い、信頼しあうまちだと思う」「生涯を通して生きがいに満ちたまちだと思う」）が、3割程度と低くなっており、今後のまちづくりの課題といえます。

[環境・都市基盤について]

- まちづくりの評価が一定高い分野ではありますが、さらなる促進に向けて、「自然環境・生物環境の保全」「公共交通環境の充実」などが重要な課題として挙げられています。
- 小学生において、将来も住み続けたいと思うまちとして、「自然がいっぱいのまち」との回答が多くなっています。

[文化・産業について]

- まちづくりの評価が一定高い分野ではありますが、さらなる促進に向けて、「こどもたちが上質な芸術に触れ、創作活動に親しむ機会の充実」「彦根城をはじめとする歴史・文化資源の保存・活用」「魅力ある商店街づくり」などが重要な課題として挙げられています。

[人権・福祉・安全について]

- まちづくりの評価が全体的に低い分野であり、「人権教育の推進」「男女が共に能力を発揮できる働き方や職場づくり」「高齢者や障害者などの要介護家庭、子育て家庭への支援体制の充実」「市立病院の機能充実」などが、特に重要な課題として挙げられています。
- 多文化共生、国際交流のまちづくりに関する外国人の意見として、「地域の人との交流促進」や「外国語講座や交流機会など、国際理解を深めるための場の提供」が求められています。

[生涯学習・次世代育成・市民交流について]

○まちづくりの評価が全体的に低い分野であり、「趣味・教養からスポーツまで、幅広い内容の機会の提供」「安心して子どもを産み育てられる環境の整備」「市民による国際交流活動の推進」などが、特に重要な課題として挙げられています。

[まちの将来像について]

○彦根市のまちの将来像としては、「生涯にわたって住み慣れた地域で生活できるやすらぎのまち」との回答が最も多く、次いで「自然、風景、景観を大切にしたい暮らしができる環境と共生したまち」が挙げられていることから、環境を大切にしながら安心して住み続けられるまちの将来像が期待されています。

○小学生の意見においても、将来も住み続けたいと思うまちとして、「犯罪や事故のない安心・安全なまち」「自然がいっぱいのまち」との回答が多く、環境が守られ安心・安全なまちへの期待が高くなっています。

○外国人の意見においては、同様に「自然、風景、景観を生かした暮らしができる環境と共生したまち」が挙げられているほか、「国内外を含め、多くの人々に温かく開かれたまち」との回答も多く、交流の視点も期待されています。

[地域活動・まちづくりへの参加、市民の市政参加について]

○地域での活動や行事などへの参加意向は、「興味のあるもの」という条件付きも含めると、おおむね7割以上が参加意向を示しており、外国人も意見は分かれるものの、何らかの活動に参加したいと考えています。

○参加したい地域活動やまちづくりの内容としては「地域の美化活動」「イベントや伝統行事に関する活動」「困っている人を地域で支え合う活動」などの回答が多く、これらの分野の取り組みを応援する仕組みづくりが期待されています。

○市民の意見が市政に反映されていると感じている市民の割合は、1割に満たない状況であり、「きめ細やかな市政情報の提供」「要望・提言制度の活用」「市民意向の把握」などを期待する回答が多くなっています。

Ⅱ 調査結果

一般市民

- 1 回答者の属性
- 2 彦根市での暮らし全体について
- 3 彦根市の将来像について
- 4 まちづくりの取り組みについて
- 5 自由記述

小学生

- 1 回答者の属性
- 2 彦根市のことについて
- 3 あなたや彦根市の将来のことについて
- 4 自由記述

外国人

- 1 回答者の属性
- 2 彦根市のことについて
- 3 彦根市の将来のことについて

<集計について>

集計結果は、有効標本数に対して、それぞれの回答が占める割合を示しています。小数第2位を四捨五入しているため、合計値が100.0%にならない場合があります。

一 般 市 民

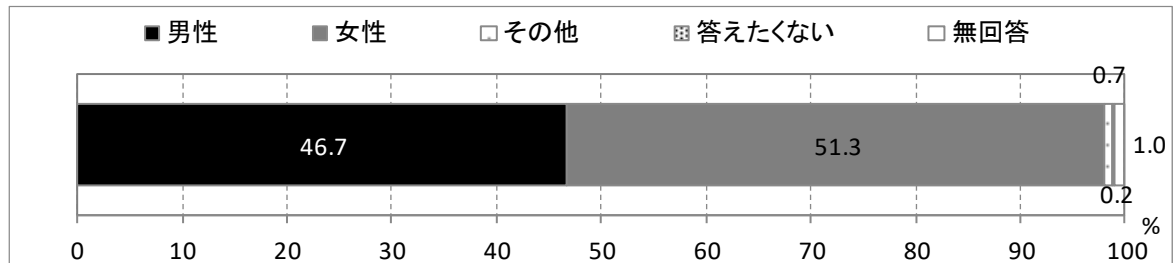
1 回答者の属性

(1) 性別

問1 あなたの性別の番号に○印をつけてください。

(N=411)

○回答者の性別は、「男性」が46.7%、「女性」が51.3%、「その他」が0.7%となっています。

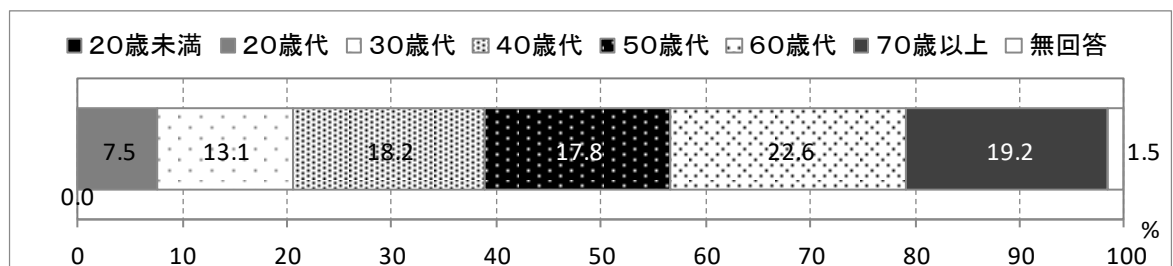


(2) 年齢

問2 あなたの年齢についてあてはまる年代の番号に○印をつけてください。

(N=411)

○回答者の年齢は、60歳以上が約4割を占めています。最も高いのが60歳代ですが、各年代から回答が得られています。

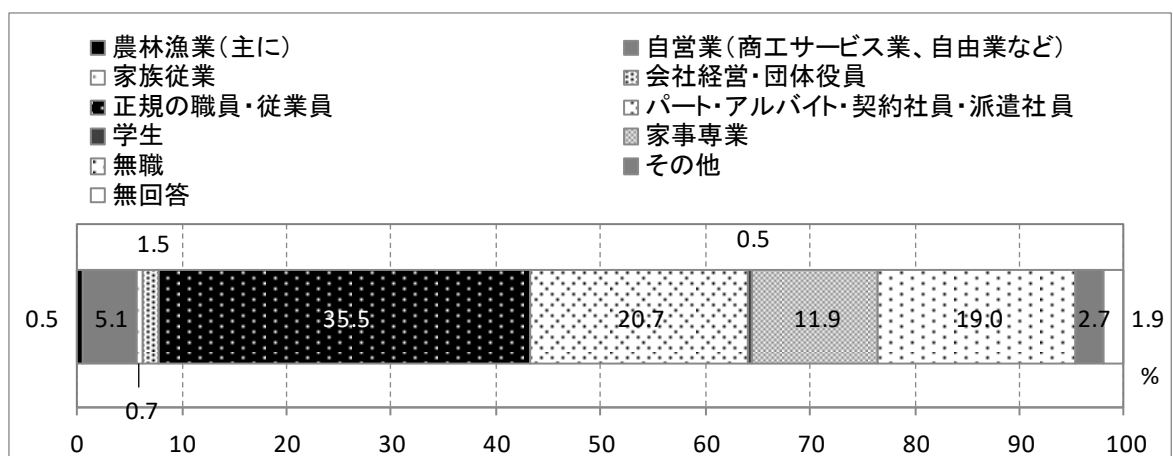


(3) 職業

問3 あなたの現在の職業についてあてはまる番号に○印をつけてください。

(N=411)

○回答者の職業は、「正規の職員・従業員」(35.5%)が最も高く、次いで順に「パート・アルバイト・契約社員・派遣社員」(20.7%)、「無職」(19.0%)、「家事専業」(11.9%)となっています。

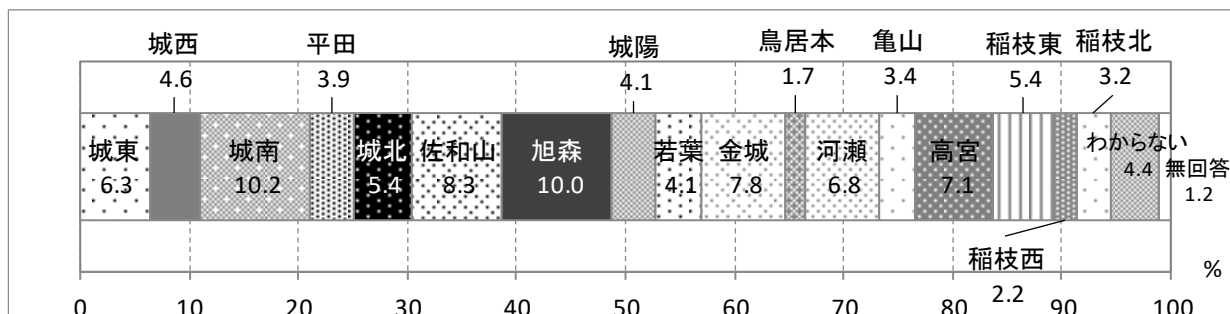


(4) 居住地区

問4 あなたがお住まいの小学校区の番号に○印をつけてください。

(N=411)

○回答者が居住する小学校区は、「城南」(10.2%)が最も高く、次いで「旭森」(10.0%)、「佐和山」(8.3%)となっています。

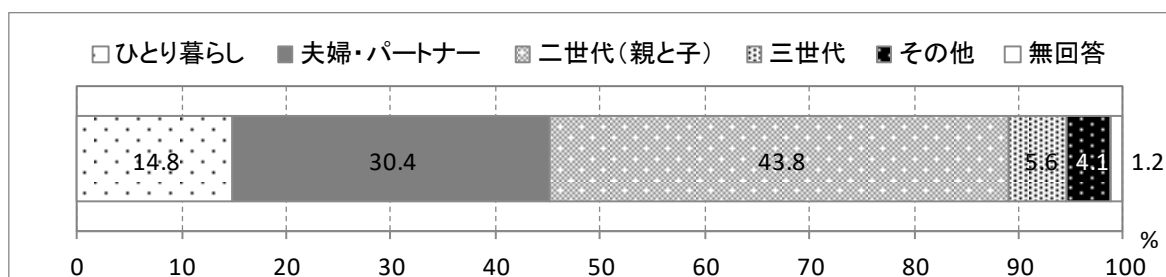


(5) 家族構成

問5 あなたが同居されている家族の構成についてあてはまる番号に○印をつけてください。

(N=411)

○回答者の家族構成は、「二世帯(親と子)」(43.8%)が最も高く、次いで「夫婦・パートナー」(30.4%)、「ひとり暮らし」(14.8%)となっており、三世帯は5.6%となっています。

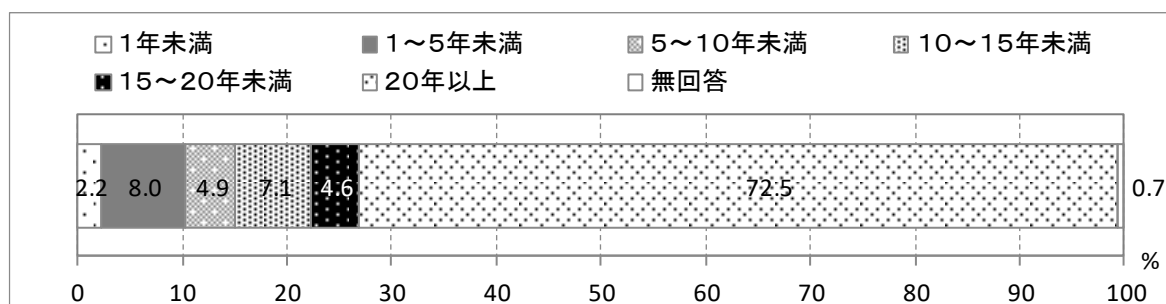


(6) 居住年数

問6 あなたの彦根市内での居住年数についてあてはまる番号に○印をつけてください。

(N=411)

○回答者の居住年数は、「20年以上」が最も高く、72.5%を占めています。5年未満の回答者が1割程度となっています。



2 彦根市での暮らし全体について

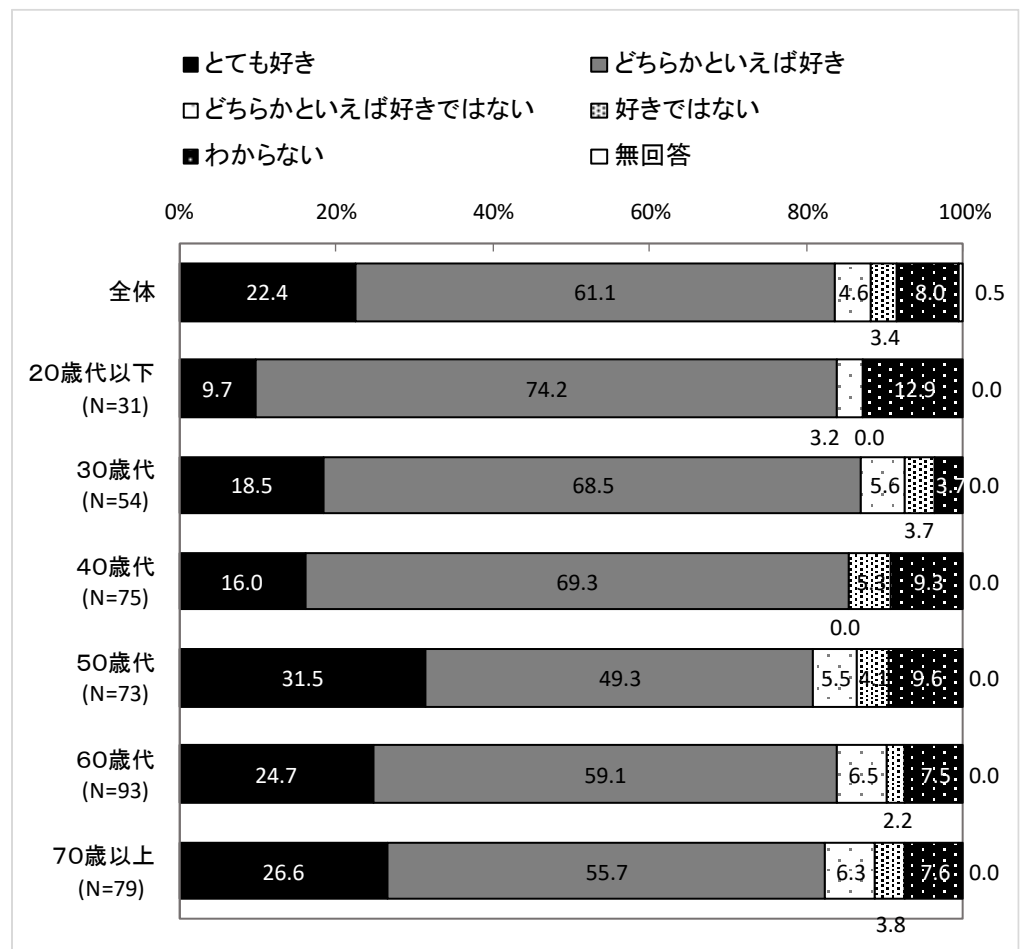
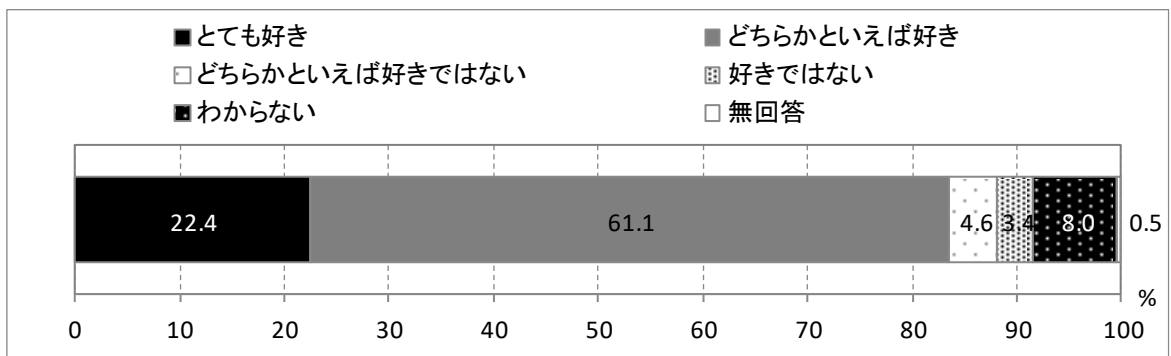
(1) まちへの思い

問7 あなたは彦根市が好きですか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

(N=411)

○回答者の83.5%が「とても好き」または「どちらかといえば好き」と回答しています。

○好きと感じている人の割合(「とても好き」と「どちらかといえば好き」をあわせた割合)について年代別にみると、30歳代で87.0%と最も高くなっています。続いて40歳代で85.3%となっています。一方、50歳代で80.8%とやや低くなっています。

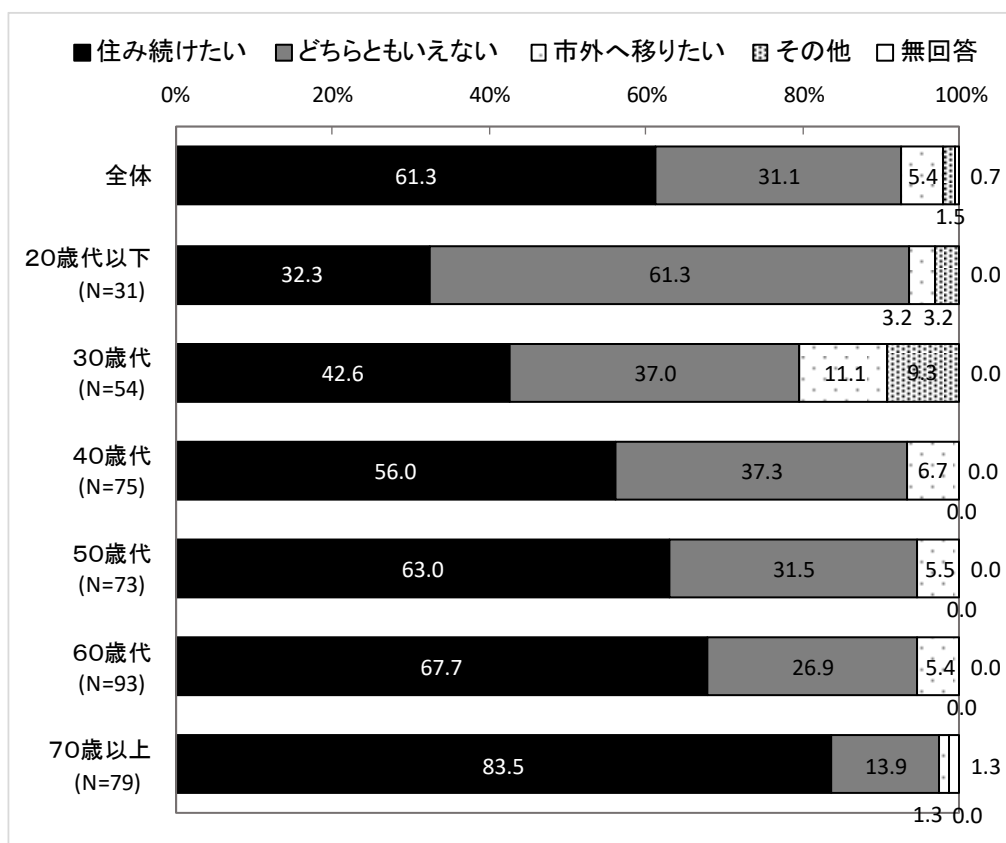


(2) 定住意向

問8 あなたは彦根市に住み続けたいと思いますか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。
(N=411)

○61.3%が「住み続けたい」と回答しています。前回（平成20年）調査結果の54.8%より上昇しています。

○年代別にみると、年代が高いほど、「住み続けたい」意向が高くなる傾向にあり、20歳代以下で32.3%であるのに対し、70歳以上では83.5%となっています。一方、「市外へ移りたい」が30歳代で11.1%と最も高くなっています。



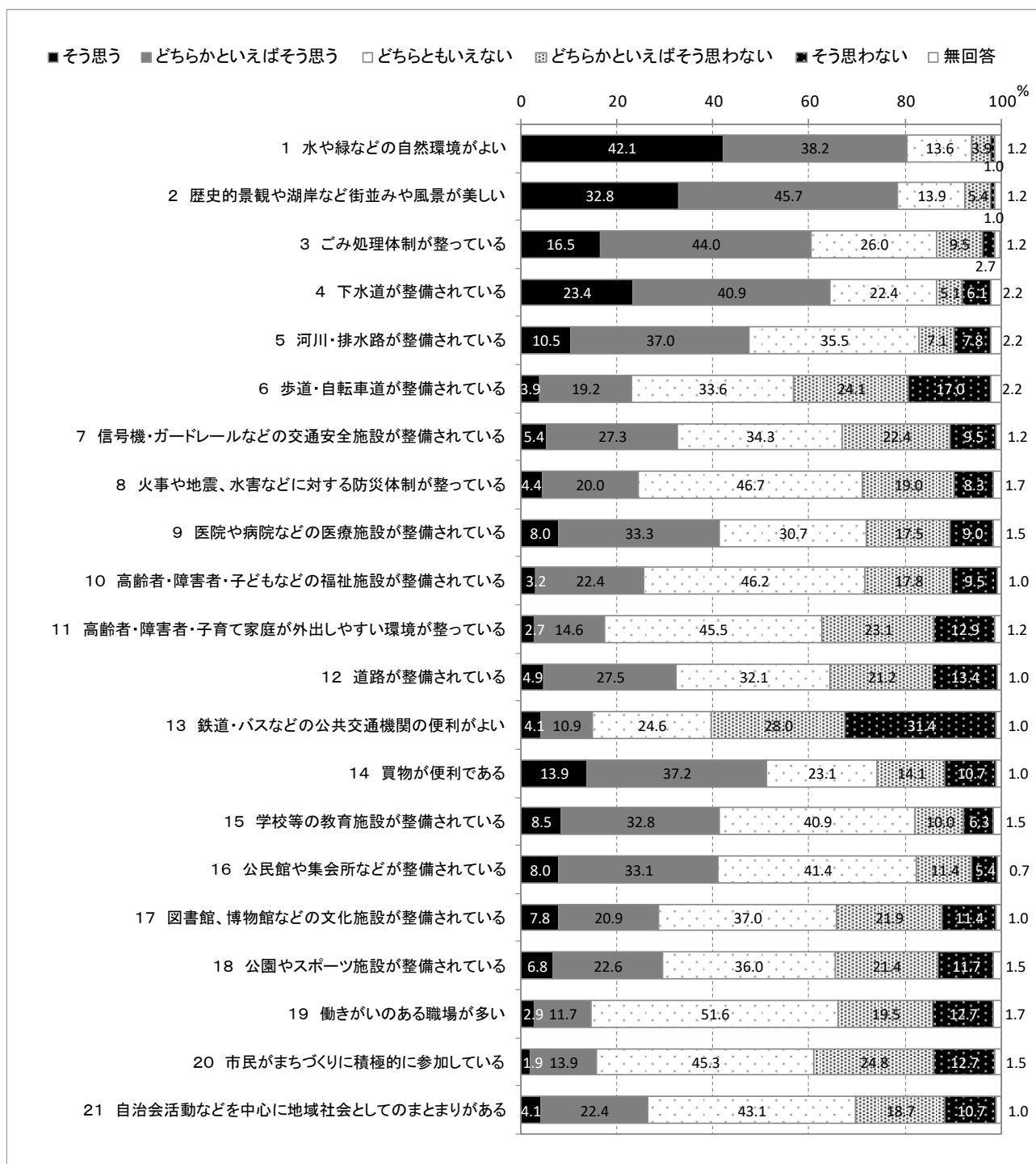
※その他は「転居予定」、「仕事の都合」等の記述

(3) 居住環境について

問9 あなたは彦根市の居住環境について、どのように思われますか。それぞれの項目についてa～eより1つだけ選んで記号に○印をつけてください。(N=411)

○評価が高い項目は、順に「水や緑などの自然環境がよい」「歴史的景観や湖岸など街並みや風景が美しい」「下水道が整備されている」「ごみ処理体制が整っている」「買物が便利である」で、5割以上が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しています。

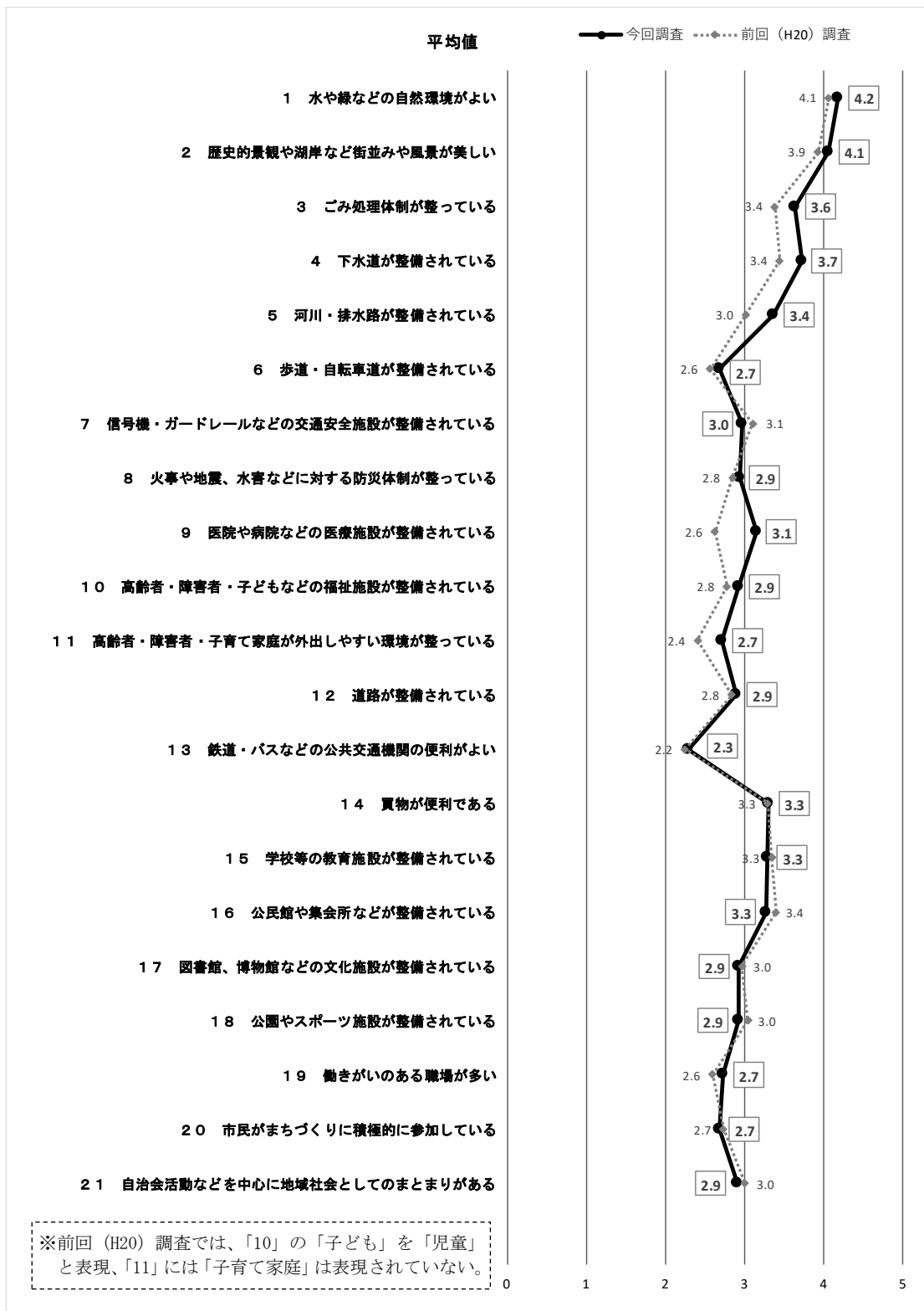
○一方で、「鉄道・バスなどの公共交通機関の便利がよい」「歩道・自転車道が整備されている」について、4割以上が「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答しており、評価が低い項目となっています。



[平均値比較]

- 各項目の評価について平均値を算出して、前回（平成 20 年）調査結果と比較すると、上昇傾向にある項目が多くなっています。最も上昇したのは「医院や病院などの医療施設が整備されている」で、0.5 ポイントの上昇となっています。
- 一方、低下がみられるのは、交通安全施設、公民館や集会所、文化施設などの施設整備に関する項目が多くなっています。

※平均値について：「そう思う」を 5、「どちらかといえばそう思う」を 4、「どちらともいえない」を 3、「どちらかといえばそう思わない」を 2、「そう思わない」を 1 として平均値を算出



○平均値を居住地区別にみると、「鳥居本」、「稲枝東・稲枝北・稲枝西」で全体と比較して評価が低くなっている項目がみられます。この2地区においては、自然環境については全体より評価が高いものの、「鳥居本」では、特に道路整備、公共交通機関の利便性、「稲枝東・稲枝北・稲枝西」においても公共交通機関の利便性に対する評価が低くなっています。

○一方、「城東・城西」で、下水道整備、文化施設整備など、全体より評価が高い項目が多くなっています。

	全体	地域						
		鳥居本 N=7	城北・佐 和山 N=56	城東・城 西 N=45	平田・城 南・金城 N=90	旭森・高 宮 N=70	城陽・若 葉・河 瀬・亀山 N=76	稲枝東・ 稲枝北・ 稲枝西 N=44
1 水や緑などの自然環境がよい	4.2	4.5	4.3	4.2	4.3	3.9	4.1	4.4
2 歴史的景観や湖岸など街並みや風景が美しい	4.1	4.0	4.4	4.1	4.2	4.0	3.9	4.1
3 ごみ処理体制が整っている	3.6	2.4	3.8	3.8	3.6	3.8	3.5	3.6
4 下水道が整備されている	3.7	3.0	3.9	4.1	3.9	3.2	3.7	3.7
5 河川・排水路が整備されている	3.4	3.2	3.4	3.5	3.4	3.2	3.4	3.1
6 歩道・自転車道が整備されている	2.7	2.3	2.7	2.8	2.8	2.5	2.7	2.6
7 信号機・ガードレールなどの交通安全施設が整備されている	3.0	3.0	3.0	3.1	3.1	3.0	2.9	2.7
8 火事や地震、水害などに対する防災体制が整っている	2.9	2.8	2.8	3.1	3.0	3.0	2.9	2.8
9 医院や病院などの医療施設が整備されている	3.1	2.8	3.0	3.1	3.3	3.1	3.2	3.1
10 高齢者・障害者・子どもなどの福祉施設が整備されている	2.9	2.4	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9	2.8
11 高齢者・障害者・子育て家庭が外出しやすい環境が整っている	2.7	2.4	2.8	2.7	2.8	2.6	2.7	2.4
12 道路が整備されている	2.9	1.9	2.9	3.1	3.0	2.8	2.9	2.7
13 鉄道・バスなどの公共交通機関の利便がよい	2.3	1.6	2.4	2.5	2.6	2.2	2.2	1.7
14 買物が便利である	3.3	2.9	3.4	3.6	3.6	3.2	3.1	2.8
15 学校等の教育施設が整備されている	3.3	3.0	3.3	3.5	3.3	3.2	3.3	3.1
16 公民館や集会所などが整備されている	3.3	3.0	3.2	3.4	3.4	3.2	3.3	3.2
17 図書館、博物館などの文化施設が整備されている	2.9	2.4	3.0	3.3	3.1	2.9	2.8	2.5
18 公園やスポーツ施設が整備されている	2.9	2.6	3.1	3.1	3.0	2.8	2.9	2.5
19 働きがいのある職場が多い	2.7	2.7	2.7	3.0	2.8	2.7	2.6	2.5
20 市民がまちづくりに積極的に参加している	2.7	3.0	2.5	2.8	2.7	2.8	2.6	2.5
21 自治会活動などを中心に地域社会としてのまとまりがある	2.9	3.0	2.8	3.0	2.9	2.9	2.8	2.9

は上位3位の項目

は下位3位の項目

※太字は全体より0.3ポイント以上高い項目、太字は0.3ポイント以上低い項目

(4)「誇れるところ」について

問 10 あなたは「彦根の誇れるところ」と聞いたときに何を思い浮かべますか。2 つまで書いてください。
(N=411)

○「彦根の誇れるところ」として、「彦根城」との回答が最も多く、続いて、「歴史、歴史的まちなみ、城下町」との回答が多く、歴史資源に関わる回答が約 300 件となっています。次いで、「琵琶湖」、「豊かな自然、美しい自然」といった自然資源に関わる回答が多くなっています。また、歴史資源と自然資源の両方があることや住みやすい居住環境などが挙げられています。

	(件)
彦根城	214
(関連内容) 城12、佐和山城3	15
歴史、歴史的まちなみ、城下町	68
ひこにゃん	57
琵琶湖	49
豊かな自然、美しい自然	23
災害が少ない	13
適度な居住環境（都会過ぎず、田舎過ぎないなど）	12
(関連内容) 利便性がよい4、住みよい・治安がよい ・人がやさしいなど13	17
琵琶湖、彦根城があり、風景が美しい	7
その他固有の場所、イベント、ものなど	18
何も思わない	5

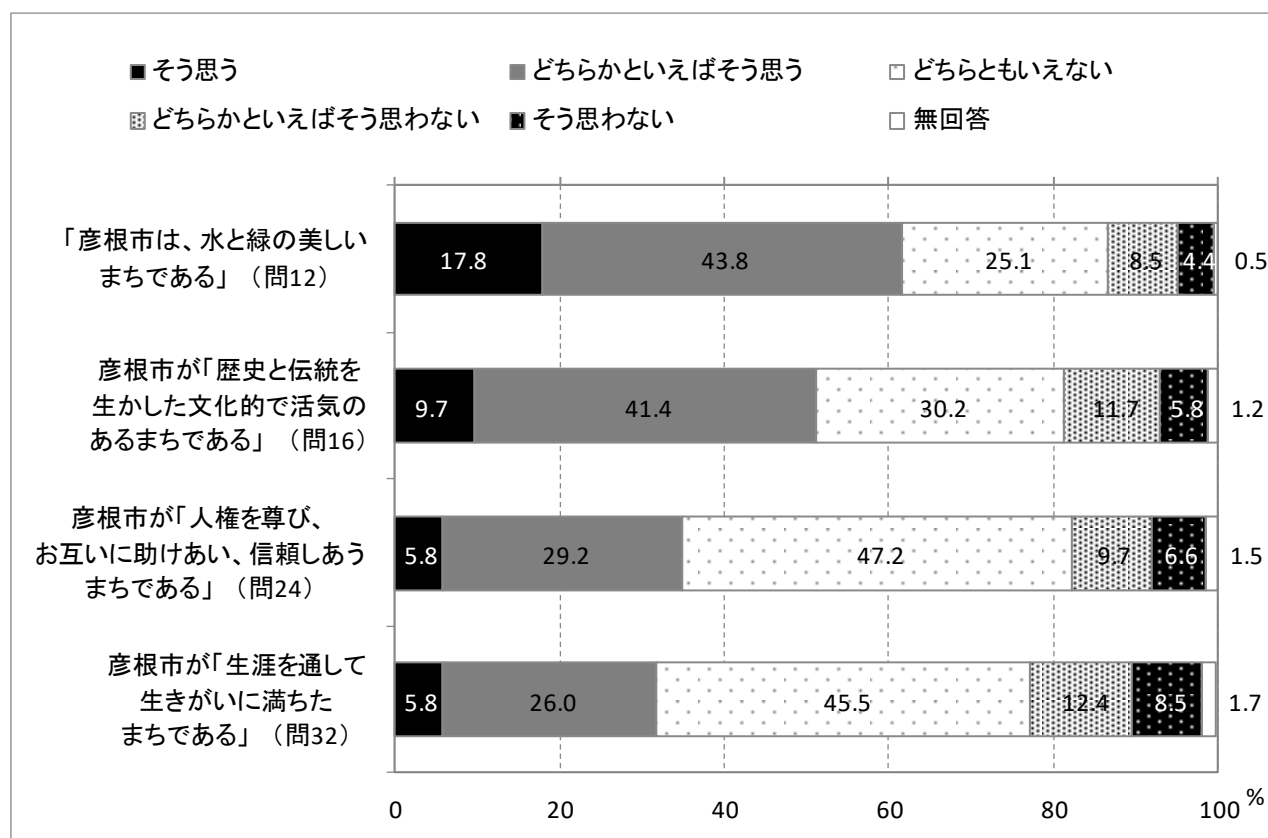
(5) まちづくりの取り組みに関する評価について

各項目については、順に後述しますが、各分野別の評価に関する項目について、ここで総括します。(環境・都市基盤 (問 12)、文化・産業 (問 16)、人権・福祉・安全 (問 24)、生涯学習・次世代育成・市民交流 (問 32))

○まちづくりの取り組みに関して、環境・都市基盤分野、文化・産業分野、人権・福祉・安全分野、生涯学習・次世代育成・市民交流分野で比較すると、最も評価が高いのは環境・都市基盤分野に関する「水と緑の美しいまちである」で、61.6%が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」となっています。

○一方、最も低いのは生涯学習・次世代育成・市民交流分野に関する「生涯を通して生きがいに満ちたまちである」で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせて 31.8%にとどまっています。また、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた割合が最も高く、他の分野に比べて評価が低くなっています。

○人権・福祉・安全分野に関する「人権を尊び、お互いに助けあい、信頼しあうまちである」、生涯学習・次世代育成・市民交流分野に関する「生涯を通して生きがいに満ちたまちである」は、いずれも「どちらともいえない」が最も高く半数近くを占めており、市民にとって身近な取り組みとなっていない可能性が考えられます。

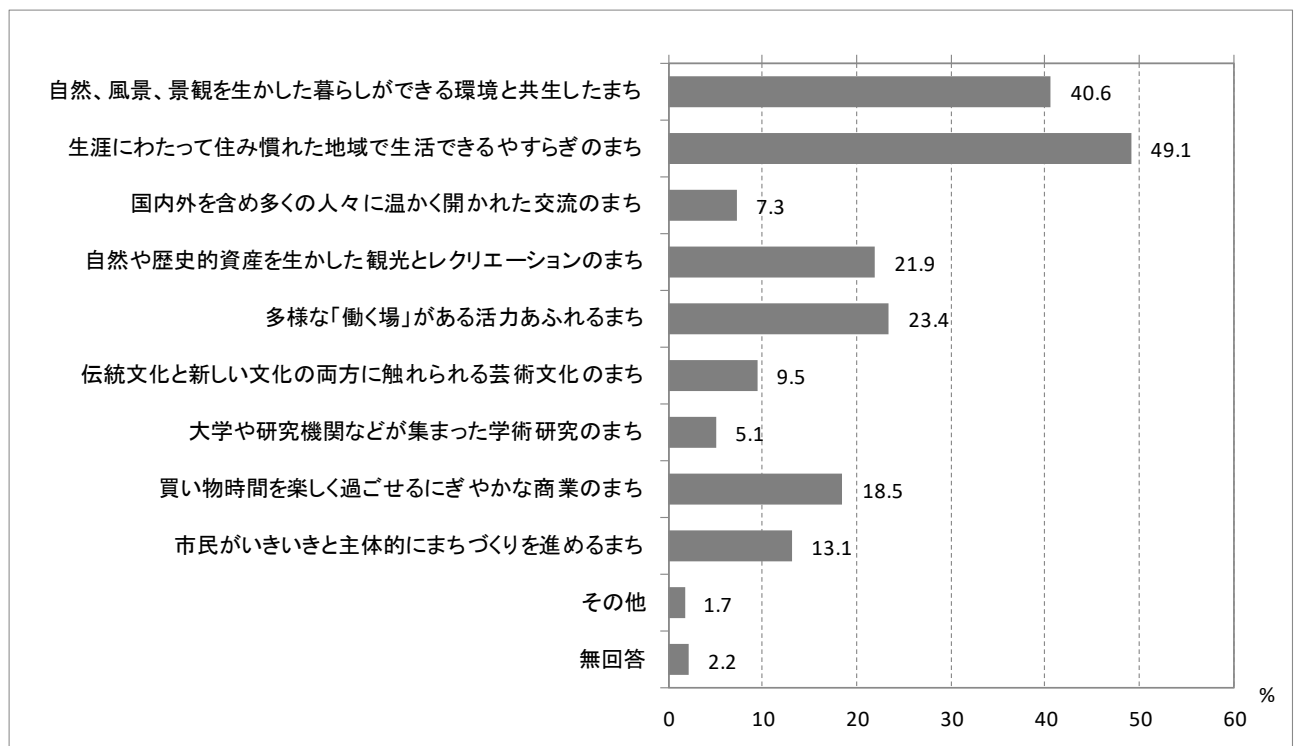


3 彦根市の将来像について

問 11 あなたは将来、彦根市がどのようなまちになるとよいと思いますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

○「生涯にわたって住み慣れた地域で生活できるやすらぎのまち」(49.1%)との回答が最も高く、次いで「自然、風景、景観を生かした暮らしができる環境と共生したまち」(40.6%)、「多様な「働く場」がある活力あふれるまち」(23.4%)、「自然や歴史的資産を生かした観光とレクリエーションのまち」(21.9%)となっています。

○年代別では、「生涯にわたって住み慣れた地域で生活できるやすらぎのまち」は年代が高くなるほど割合が高くなる傾向がみられます。「自然、風景、景観を生かした暮らしができる環境と共生したまち」は40歳代、60歳代で高くなっており、「自然や歴史的資産を生かした観光とレクリエーションのまち」は50歳代で高くなっています。



	全体	20歳代以下 (N=31)	30歳代 (N=54)	40歳代 (N=75)	50歳代 (N=73)	60歳代 (N=93)	70歳以上 (N=79)
自然、風景、景観を生かした暮らしができる環境と共生したまち	40.6	35.5	42.6	<u>44.0</u>	37.0	46.2	32.9
生涯にわたって住み慣れた地域で生活できるやすらぎのまち	49.1	41.9	48.1	40.0	47.9	51.6	62.0
国内外を含め多くの人々に温かく開かれた交流のまち	7.3	9.7	7.4	10.7	4.1	6.5	6.3
自然や歴史的資産を生かした観光とレクリエーションのまち	21.9	25.8	16.7	24.0	32.9	19.4	16.5
多様な「働く場」がある活力あふれるまち	23.4	32.3	20.4	21.3	20.5	22.6	27.8
伝統文化と新しい文化の両方に触れられる芸術文化のまち	9.5	6.5	11.1	8.0	9.6	12.9	7.6
大学や研究機関などが集まった学術研究のまち	5.1	0.0	7.4	5.3	5.5	5.4	3.8
買い物時間を楽しく過ごせるにぎやかな商業のまち	18.5	29.0	16.7	17.3	20.5	17.2	16.5
市民がいきいきと主体的にまちづくりを進めるまち	13.1	9.7	13.0	13.3	11.0	14.0	16.5
その他	1.7	0.0	5.6	4.0	0.0	0.0	1.3

※太字は上位3項目、そのうち最も高い項目は太字

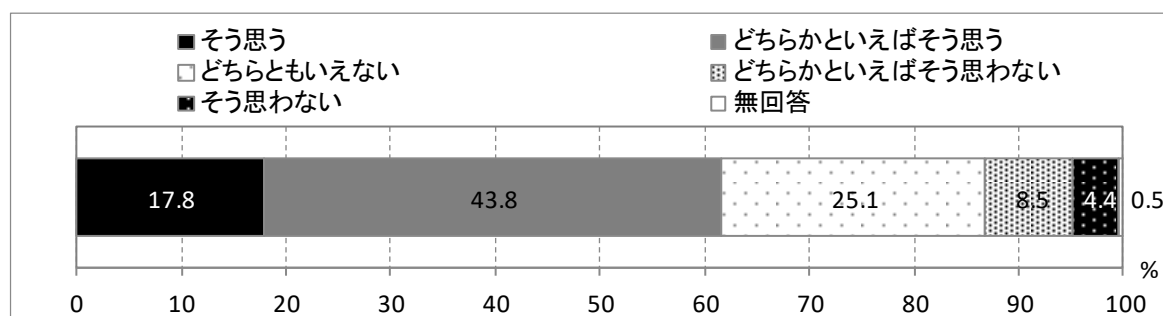
4 まちづくりの取り組みについて

(1) 環境・都市基盤について

①評価

問 12 あなたは、「彦根市は、水と緑の美しいまちである」と思いますか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。
(N=411)

○61.6%が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しています。



環境・都市基盤に関する今後重要な取り組みに関して

※各項目についての詳細は 19 ページから 21 ページに記載

○主に以下の取り組みを進めていくことが求められています。

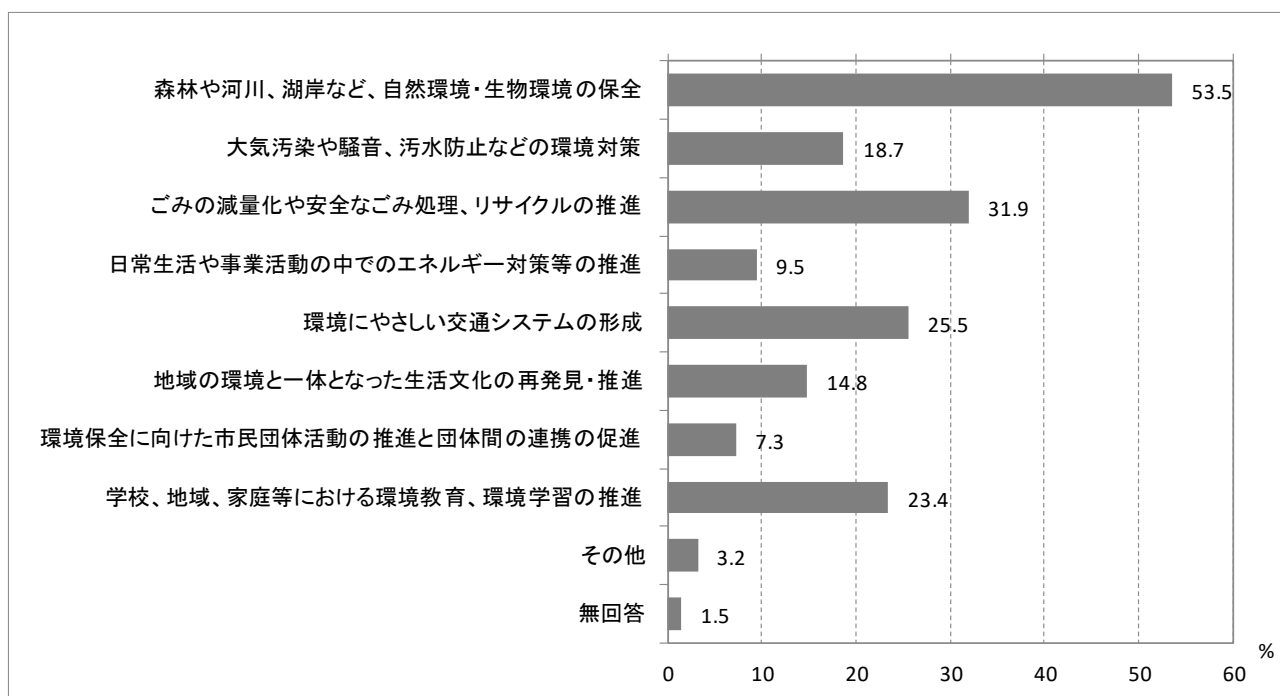
環境（上位3項目）	・「森林や河川、湖岸など、自然環境・生物環境の保全」（53.5%） ・「ごみの減量化や安全なごみ処理、リサイクルの推進」（31.9%） ・「環境にやさしい交通システムの形成」（25.5%）
環境に関する自身の行動（上位3項目）	・「ごみ減量に努める、買い物袋を持参する、リサイクルをすすめる」（47.7%） ・「水路など身近なところでの清掃活動や保全活動へ参加、協力する」（30.9%） ・「むだな水を使わない、省エネルギー商品を使う、こまめに電源を切るなど省エネルギーのライフスタイルをすすめる」（26.0%）
都市基盤（上位3項目）	・「福祉施策の充実」（39.9%） ・「公共交通環境の充実」（36.5%） ・「産業、観光、福祉など様々な分野の連携の強化」（26.5%）

②環境に関する今後重要な取り組み

問 13 彦根市では「自然と歴史をいかし、恵みゆたかな環境をはぐくむまち彦根」を環境像（目標）として取り組みを進めています。今後どのようなことが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。（N=411）

○「森林や河川、湖岸など、自然環境・生物環境の保全」(53.5%)との回答が最も高く、次いで「ごみの減量化や安全なごみ処理、リサイクルの推進」(31.9%)、「環境にやさしい交通システムの形成」(25.5%)、「学校、地域、家庭等における環境教育、環境学習の推進」(23.4%)となっています。

○すべての年代で、「森林や河川、湖岸など、自然環境・生物環境の保全」が最も高くなっており、重要な取り組みとして進めていく必要があるといえます。



	全体	20歳以下 (N=31)	30歳代 (N=54)	40歳代 (N=75)	50歳代 (N=73)	60歳代 (N=93)	70歳以上 (N=79)
森林や河川、湖岸など、自然環境・生物環境の保全	53.5	38.7	63.0	56.0	58.9	59.1	40.5
大気汚染や騒音、污水防止などの環境対策	18.7	25.8	16.7	22.7	16.4	16.1	19.0
ごみの減量化や安全なごみ処理、リサイクルの推進	31.9	35.5	24.1	37.3	32.9	28.0	35.4
日常生活や事業活動の中でのエネルギー対策等の推進	9.5	12.9	13.0	2.7	4.1	10.8	15.2
環境にやさしい交通システムの形成	25.5	19.4	27.8	21.3	37.0	18.3	29.1
地域の環境と一体となった生活文化の再発見・推進	14.8	6.5	1.9	16.0	16.4	22.6	15.2
環境保全に向けた市民団体活動の推進と団体間の連携の促進	7.3	9.7	7.4	5.3	2.7	7.5	12.7
学校、地域、家庭等における環境教育、環境学習の推進	23.4	22.6	31.5	25.3	15.1	25.8	19.0
その他	3.2	3.2	1.9	5.3	2.7	2.2	3.8

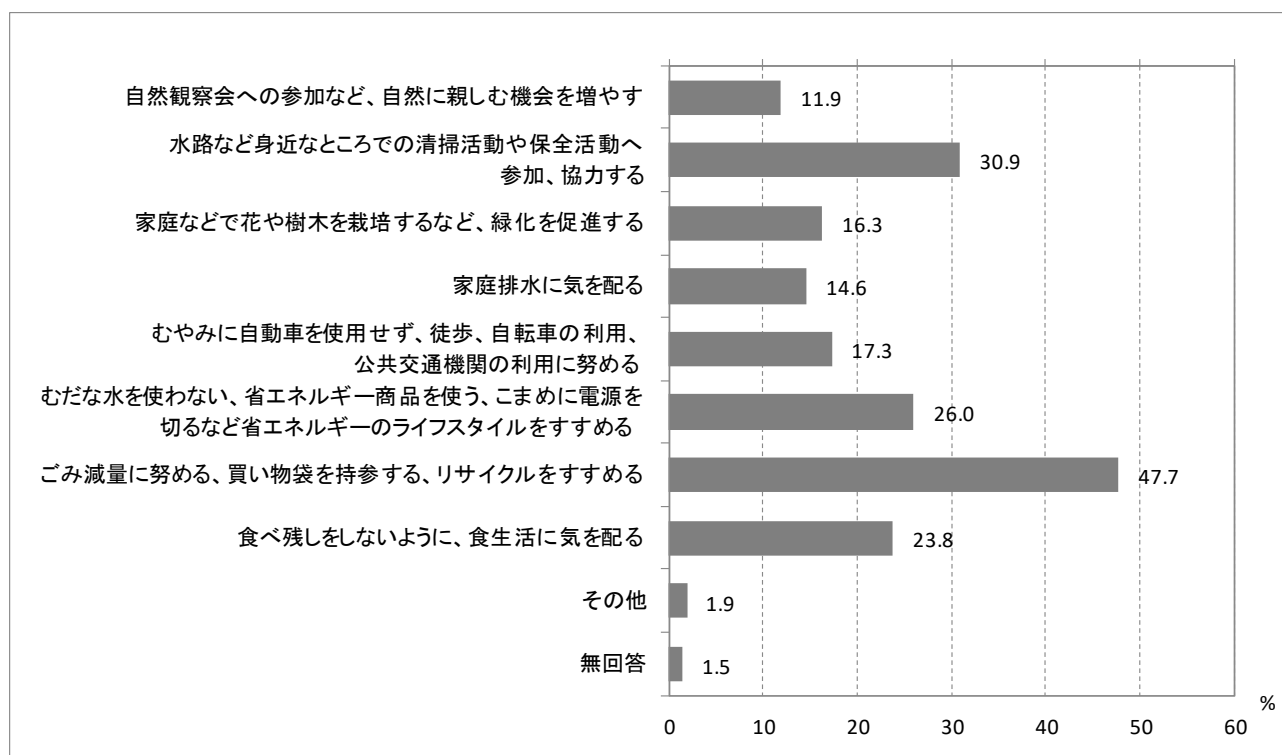
※太字は上位3項目、そのうち最も高い項目は**太字**

③環境に関する自身の行動

問 14 環境をよくしていくためにあなたはどのような行動を進めていくべきだと思いますか。
2つまで選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

○「ごみ減量に努める、買い物袋を持参する、リサイクルをすすめる」(47.7%) が最も高く、次いで、「水路など身近なところでの清掃活動や保全活動へ参加、協力する」(30.9%)、「むだな水を使わない、省エネルギー商品を使う、こまめに電源を切るなど省エネルギーのライフスタイルをすすめる」(26.0%)、「食べ残しをしないように、食生活に気を配る」(23.8%)となっています。

○年代別にみると、省エネルギーのライフスタイルについて、年代が低いほどその意識が高い(割合が高い)傾向がみられます。また、他の年代に比べて、「食べ残しをしないように、食生活に気を配る」が40歳代で、「家庭などで花や樹木を栽培するなど、緑化を促進する」が60歳代において積極的意向がみられます。



	全体	20歳代以下 (N=31)	30歳代 (N=54)	40歳代 (N=75)	50歳代 (N=73)	60歳代 (N=93)	70歳以上 (N=79)
自然観察会への参加など、自然に親しむ機会を増やす	11.9	9.7	13.0	12.0	11.0	9.7	16.5
水路など身近なところでの清掃活動や保全活動へ参加、協力する	30.9	25.8	31.5	22.7	28.8	40.9	31.6
家庭などで花や樹木を栽培するなど、緑化を促進する	16.3	9.7	9.3	16.0	16.4	22.6	15.2
家庭排水に気を配る	14.6	9.7	16.7	12.0	16.4	15.1	15.2
むやみに自動車を使用せず、徒歩、自転車の利用、公共交通機関の利用に努める	17.3	22.6	11.1	16.0	11.0	16.1	26.6
むだな水を使わない、省エネルギー商品を使う、こまめに電源を切るなど省エネルギーのライフスタイルをすすめる	26.0	38.7	31.5	28.0	28.8	21.5	17.7
ごみ減量に努める、買い物袋を持参する、リサイクルをすすめる	47.7	35.5	48.1	50.7	56.2	47.3	41.8
食べ残しをしないように、食生活に気を配る	23.8	19.4	22.2	33.3	23.3	19.4	24.1
その他	1.9	0.0	3.7	2.7	2.7	1.1	1.3

※太字は上位3項目、そのうち最も高い項目は**太字**

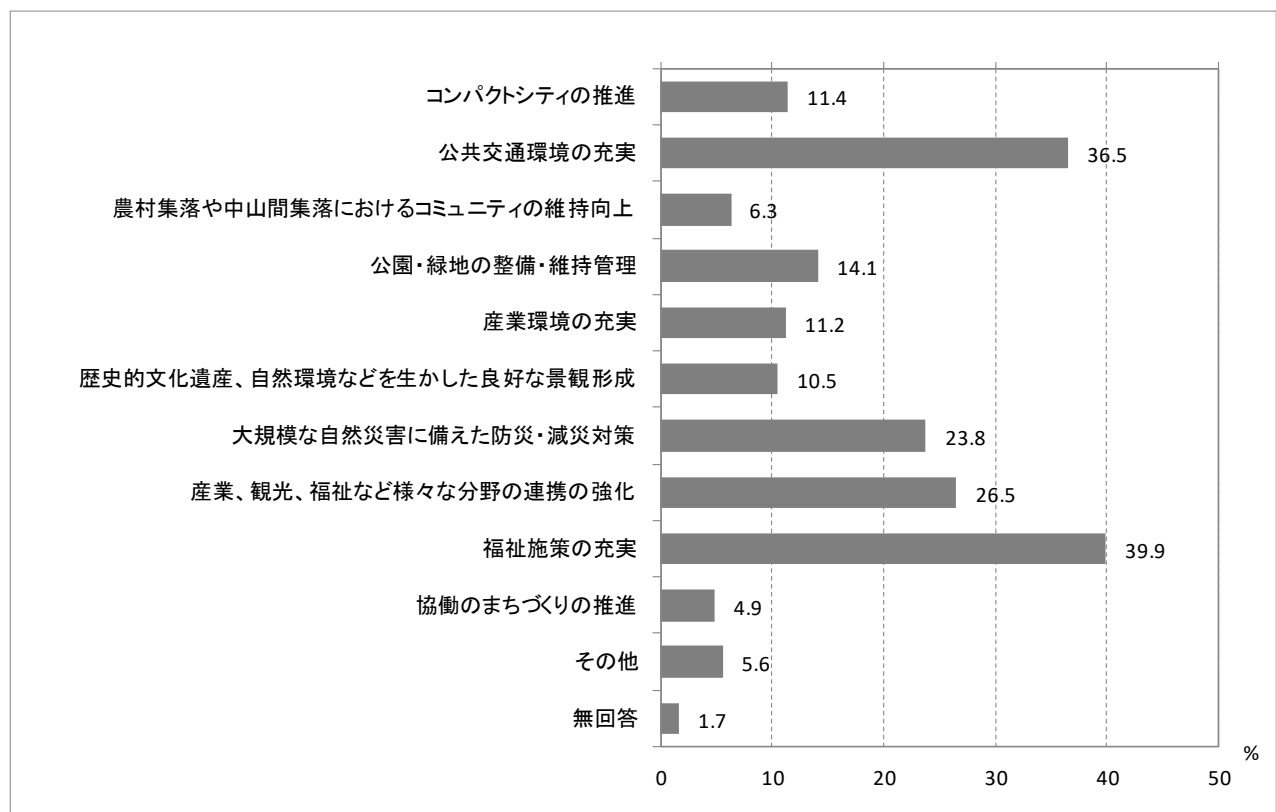
④都市基盤に関する今後重要な取り組み

問 15 人口減少社会・超少子高齢化社会の本格的な到来への対応として、彦根市としてどのようなことが必要であると思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。

(N=411)

○「福祉施策の充実」(39.9%)が最も高く、次いで「公共交通環境の充実」(36.5%)、「産業、観光、福祉など様々な分野の連携の強化」(26.5%)、「大規模な自然災害に備えた防災・減災対策」(23.8%)となっています。

○年代によらず「福祉施策の充実」「公共交通環境の充実」が重要な取り組みと考えられています。「大規模な自然災害に備えた防災・減災対策」は特に40歳代、50歳代で意向が高くなっています。



	全体	20歳代以下 (N=31)	30歳代 (N=54)	40歳代 (N=75)	50歳代 (N=73)	60歳代 (N=93)	70歳以上 (N=79)
コンパクトシティの推進	11.4	9.7	9.3	17.3	13.7	9.7	8.9
公共交通環境の充実	36.5	48.4	25.9	42.7	42.5	33.3	34.2
農村集落や中山間集落におけるコミュニティの維持向上	6.3	3.2	1.9	5.3	4.1	7.5	11.4
公園・緑地の整備・維持管理	14.1	12.9	18.5	16.0	5.5	16.1	13.9
産業環境の充実	11.2	12.9	13.0	6.7	5.5	12.9	16.5
歴史的文化遺産、自然環境などを生かした良好な景観形成	10.5	6.5	7.4	12.0	16.4	7.5	11.4
大規模な自然災害に備えた防災・減災対策	23.8	6.5	24.1	32.0	30.1	20.4	16.5
産業、観光、福祉など様々な分野の連携の強化	26.5	38.7	29.6	22.7	15.1	32.3	29.1
福祉施策の充実	39.9	35.5	48.1	30.7	46.6	41.9	38.0
協働のまちづくりの推進	4.9	9.7	3.7	2.7	6.8	5.4	3.8
その他	5.6	6.5	9.3	5.3	6.8	3.2	5.1

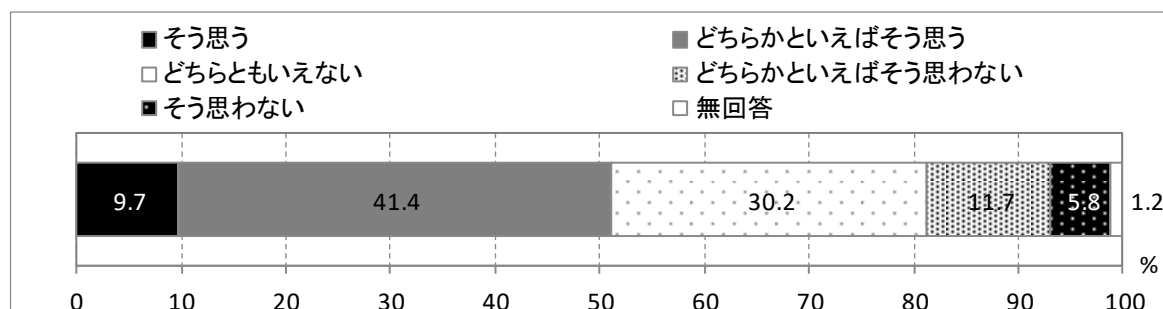
※太字は上位3項目、そのうち最も高い項目は**太字**

(2) 文化・産業について

①評価

問 16 あなたは、彦根市が「歴史と伝統を生かした文化的で活気のあるまちである」と思いますか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

○51.1%が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しています。



文化・産業に関する今後重要な取り組み等に関して

※各項目についての詳細は 23 ページから 29 ページに記載

○主に以下の取り組みを進めていくことが求められています。

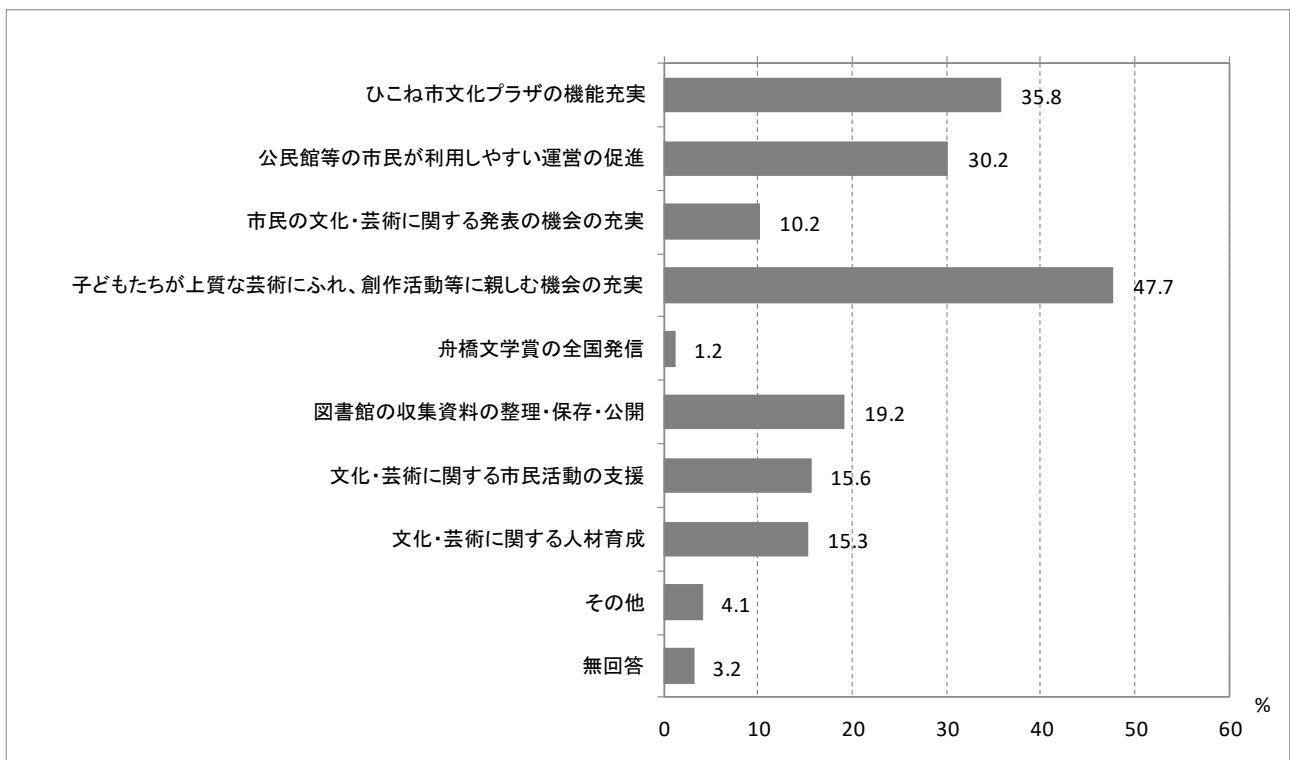
文化・芸術（上位3項目）	・「子どもたちが上質な芸術にふれ、創作活動等に親しむ機会の充実」（47.7%） ・「ひこね市文化プラザの機能充実」（35.8%） ・「公民館等の市民が利用しやすい運営の促進」（30.2%）
歴史・文化資源の保存と活用（上位3項目）	・「彦根城をはじめとする歴史・文化資源の保存・活用」（51.6%） ・「城下町、宿場町のまちなみ整備」（32.8%） ・「文化財に親しめる、まち歩きなどの取り組みの実施」（27.5%）
農林水産業の振興（上位3項目）	・「地産地消の推進」（33.1%） ・「後継者・新たな就業希望者の育成・支援」（27.5%） ・「農林水産資源（農地、山林、漁場など）の保全・確保」（24.8%）
工業振興（上位3項目）	・「既存企業・中小企業の育成」（43.8%） ・「技術者や研究者などの人材育成」（36.3%） ・「地場産業の振興」（36.0%）
商業振興（上位3項目）	・「魅力ある商店街づくり」（56.7%） ・「観光事業との連携による物産事業の振興」（43.3%） ・「大型スーパーや複合商業施設の出店」（37.5%）
観光振興（上位3項目）	・「城下町としての景観づくり」（41.1%） ・「食が楽しめる彦根をテーマとした観光メニューづくり」（31.9%） ・「琵琶湖岸を活用した観光メニューづくり」（28.7%）
観光振興に関する自身の行動（上位3項目）	・「市内の飲食店等の利用」（26.3%） ・「歴史資源に足を運ぶ」（24.3%） ・「交流イベントなどへの参加」（21.7%）

②文化・芸術に関する今後重要な取り組み

問 17 あなたは文化・芸術の振興について、今後どのようなことが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

○「子どもたちが上質な芸術にふれ、創作活動等に親しむ機会の充実」(47.7%)が最も高く、次いで「ひこね市文化プラザの機能充実」(35.8%)、「公民館等の市民が利用しやすい運営の促進」(30.2%)となっています。

○年代によらず、以上の点が重要な取り組みと考えられています。20歳代以下においては、他の年代より「文化・芸術に関する人材育成」の意向が高くなっています。



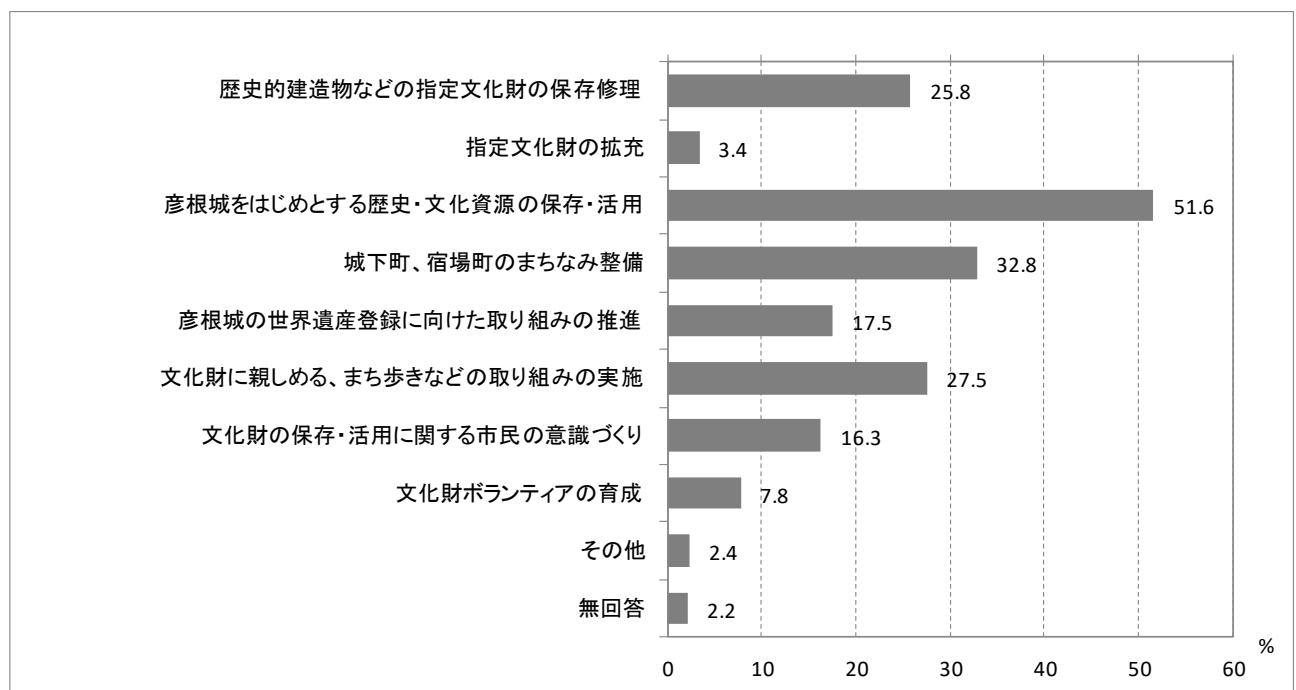
	全体	20歳代以下 (N=31)	30歳代 (N=54)	40歳代 (N=75)	50歳代 (N=73)	60歳代 (N=93)	70歳以上 (N=79)
ひこね市文化プラザの機能充実	35.8	41.9	25.9	36.0	47.9	34.4	30.4
公民館等の市民が利用しやすい運営の促進	30.2	22.6	31.5	33.3	27.4	32.3	30.4
市民の文化・芸術に関する発表の機会の充実	10.2	12.9	11.1	12.0	8.2	9.7	10.1
子どもたちが上質な芸術にふれ、創作活動等に親しむ機会の充実	47.7	45.2	57.4	41.3	42.5	48.4	51.9
舟橋文学賞の全国発信	1.2	3.2	0.0	1.3	2.7	0.0	1.3
図書館の収集資料の整理・保存・公開	19.2	19.4	18.5	28.0	20.5	16.1	15.2
文化・芸術に関する市民活動の支援	15.6	12.9	16.7	5.3	17.8	17.2	21.5
文化・芸術に関する人材育成	15.3	22.6	9.3	12.0	13.7	17.2	19.0
その他	4.1	3.2	5.6	9.3	4.1	3.2	0.0

※太字は上位3項目、そのうち最も高い項目は**太字**

③歴史・文化資源の保存と活用に関する今後重要な取り組み

問 18 彦根市は、歴史・文化資源に恵まれたまちです。あなたは歴史・文化資源の保存と活用においてどのようなことが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。
(N=411)

- 「彦根城をはじめとする歴史・文化資源の保存・活用」(51.6%)が最も高く、次いで「城下町、宿場町のまちなみ整備」(32.8%)、「文化財に親しめる、まち歩きなどの取り組みの実施」(27.5%)、「歴史的建造物などの指定文化財の保存修理」(25.8%)となっています。
- 年代によらず、「彦根城をはじめとする歴史・文化資源の保存・活用」が最も高い項目となっています。「城下町、宿場町のまちなみ整備」は、年代が低いほどその意向が高い(割合が高い)傾向がみられ、20歳代以下では50%を超えています。



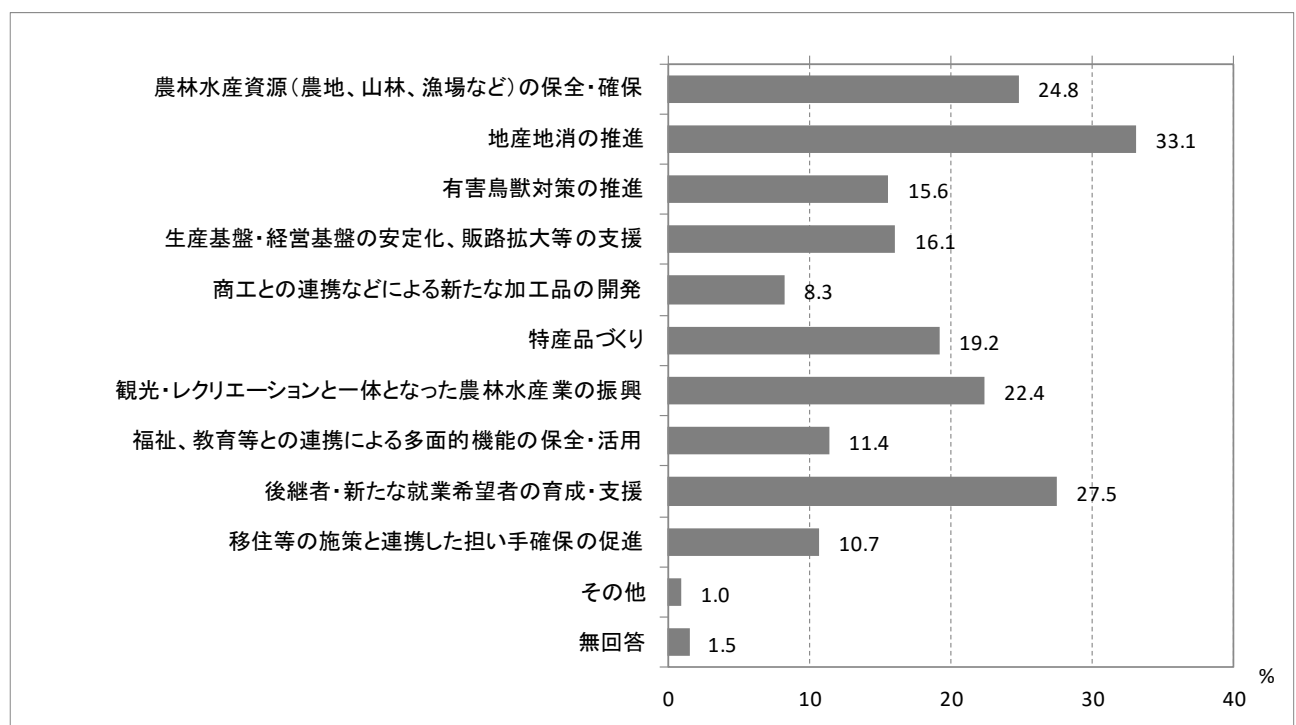
	全体	20歳代以下 (N=31)	30歳代 (N=54)	40歳代 (N=75)	50歳代 (N=73)	60歳代 (N=93)	70歳以上 (N=79)
歴史的建造物などの指定文化財の保存修理	25.8	22.6	25.9	33.3	21.9	21.5	29.1
指定文化財の拡充	3.4	6.5	1.9	5.3	1.4	3.2	3.8
彦根城をはじめとする歴史・文化資源の保存・活用	51.6	54.8	50.0	45.3	61.6	51.6	50.6
城下町、宿場町のまちなみ整備	32.8	51.6	44.4	41.3	32.9	33.3	10.1
彦根城の世界遺産登録に向けた取り組みの推進	17.5	12.9	20.4	14.7	20.5	11.8	22.8
文化財に親しめる、まち歩きなどの取り組みの実施	27.5	32.3	27.8	24.0	17.8	34.4	30.4
文化財の保存・活用に関する市民の意識づくり	16.3	12.9	13.0	12.0	12.3	18.3	24.1
文化財ボランティアの育成	7.8	0.0	3.7	8.0	13.7	7.5	8.9
その他	2.4	0.0	1.9	2.7	4.1	2.2	2.5

※太字は上位3項目、そのうち最も高い項目は**太字**

④農林水産業の振興に関する今後重要な取り組み

問 19 あなたは農林水産業を振興していくために、どのような取り組みが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

- 「地産地消の推進」(33.1%) が最も高く、次いで「後継者・新たな就業希望者の育成・支援」(27.5%)、「農林水産資源(農地、山林、漁場など)の保全・確保」(24.8%)、「観光・レクリエーションと一体となった農林水産業の振興」(22.4%)となっています。
- 年代別では、比較的新たな観点から展開が進められている「福祉、教育等との連携による多面的機能の保全・活用」について、20歳代以下で25.8%と他の年代に群を抜いて高くなっています。また30歳代で「特産品づくり」が他の年代より高くなっています。



	全体	20歳代以下 (N=31)	30歳代 (N=54)	40歳代 (N=75)	50歳代 (N=73)	60歳代 (N=93)	70歳以上 (N=79)
農林水産資源(農地、山林、漁場など)の保全・確保	24.8	25.8	24.1	18.7	24.7	24.7	30.4
地産地消の推進	33.1	35.5	37.0	38.7	28.8	26.9	35.4
有害鳥獣対策の推進	15.6	12.9	9.3	21.3	16.4	16.1	15.2
生産基盤・経営基盤の安定化、販路拡大等の支援	16.1	9.7	13.0	17.3	17.8	20.4	11.4
商工との連携などによる新たな加工品の開発	8.3	0.0	11.1	9.3	11.0	4.3	11.4
特産品づくり	19.2	16.1	31.5	16.0	24.7	19.4	11.4
観光・レクリエーションと一体となった農林水産業の振興	22.4	29.0	25.9	22.7	19.2	25.8	17.7
福祉、教育等との連携による多面的機能の保全・活用	11.4	25.8	9.3	10.7	9.6	8.6	12.7
後継者・新たな就業希望者の育成・支援	27.5	22.6	24.1	26.7	28.8	30.1	27.8
移住等の施策と連携した担い手確保の促進	10.7	12.9	9.3	8.0	9.6	9.7	15.2
その他	1.0	0.0	0.0	1.3	1.4	1.1	1.3

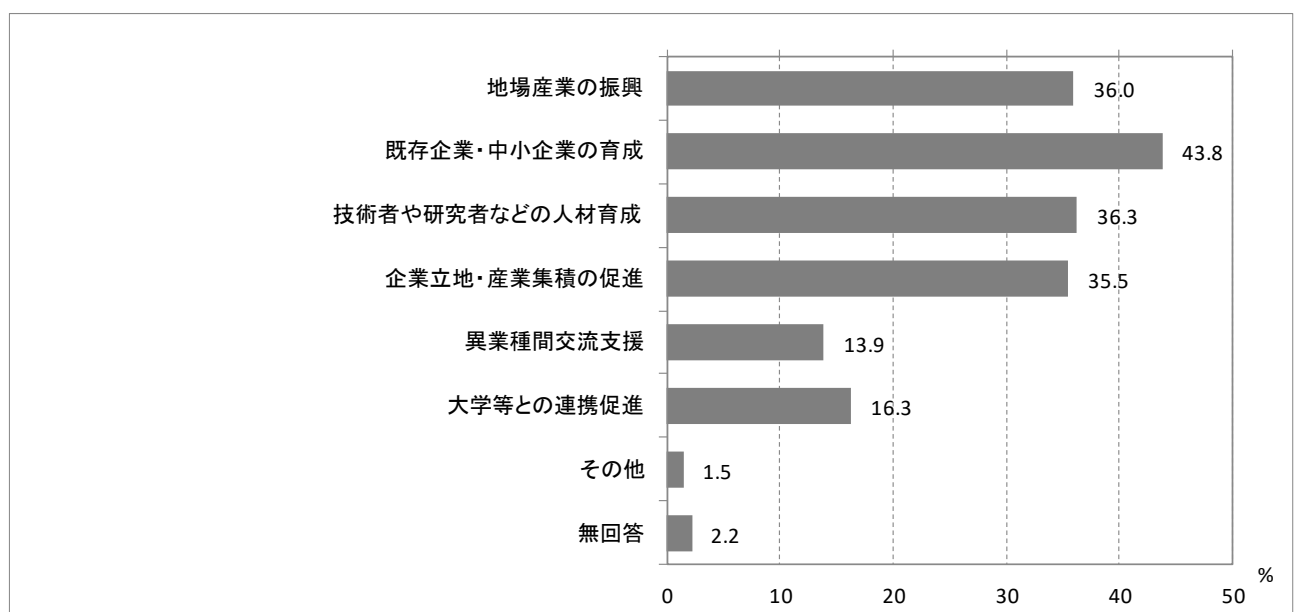
※太字は上位3項目、そのうち最も高い項目は太字

⑤工業振興に関する今後重要な取り組み

問 20 あなたは工業を振興していくために、どのような取り組みが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

○「既存企業・中小企業の育成」(43.8%)が最も高く、次いで「技術者や研究者などの人材育成」(36.3%)、「地場産業の振興」(36.0%)、「企業立地・産業集積の促進」(35.5%)となっています。

○年代別では、「企業立地・産業集積の促進」が他の年代では3割程度であるのに対し、60歳代で50.5%、70歳以上で39.2%と高年代で高い項目となっています。



	全体	20歳代以下 (N=31)	30歳代 (N=54)	40歳代 (N=75)	50歳代 (N=73)	60歳代 (N=93)	70歳以上 (N=79)
地場産業の振興	36.0	35.5	29.6	36.0	37.0	39.8	36.7
既存企業・中小企業の育成	43.8	41.9	55.6	41.3	45.2	40.9	41.8
技術者や研究者などの人材育成	36.3	32.3	38.9	38.7	41.1	32.3	35.4
企業立地・産業集積の促進	35.5	29.0	25.9	29.3	30.1	50.5	39.2
異業種間交流支援	13.9	19.4	14.8	18.7	13.7	10.8	10.1
大学等との連携促進	16.3	19.4	13.0	21.3	16.4	9.7	20.3
その他	1.5	0.0	3.7	2.7	1.4	0.0	1.3

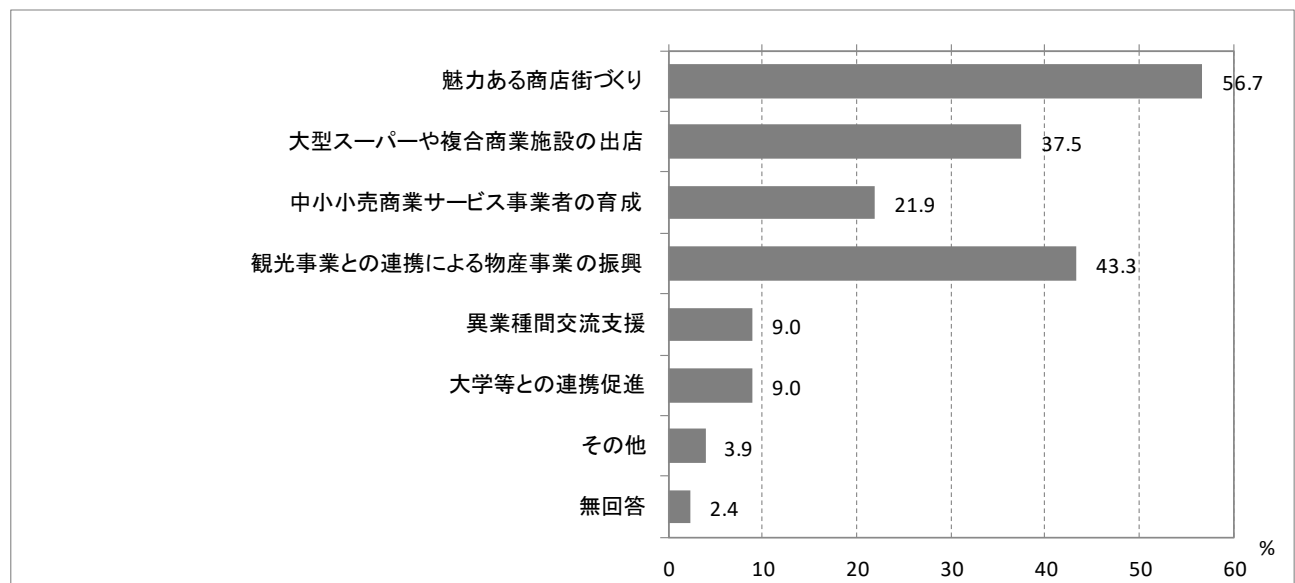
※太字は上位3項目、そのうち最も高い項目は**太字**

⑥商業振興に関する今後重要な取り組み

問 21 あなたは商業を振興していくために、どのような取り組みが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

○「魅力ある商店街づくり」(56.7%)が最も高く、次いで「観光事業との連携による物産事業の振興」(43.3%)、「大型スーパーや複合商業施設の出店」(37.5%)、「中小小売商業サービス事業者の育成」(21.9%)となっています。

○年代によらず、以上の点が重要な取り組みと考えられています。



	全体	20歳代以下 (N=31)	30歳代 (N=54)	40歳代 (N=75)	50歳代 (N=73)	60歳代 (N=93)	70歳以上 (N=79)
魅力ある商店街づくり	56.7	45.2	61.1	50.7	57.5	59.1	60.8
大型スーパーや複合商業施設の出店	37.5	64.5	48.1	41.3	35.6	30.1	29.1
中小小売商業サービス事業者の育成	21.9	9.7	14.8	25.3	13.7	28.0	27.8
観光事業との連携による物産事業の振興	43.3	38.7	42.6	40.0	53.4	41.9	41.8
異業種間交流支援	9.0	3.2	7.4	12.0	8.2	11.8	7.6
大学等との連携促進	9.0	6.5	5.6	9.3	11.0	5.4	12.7
その他	3.9	9.7	1.9	8.0	4.1	1.1	2.5

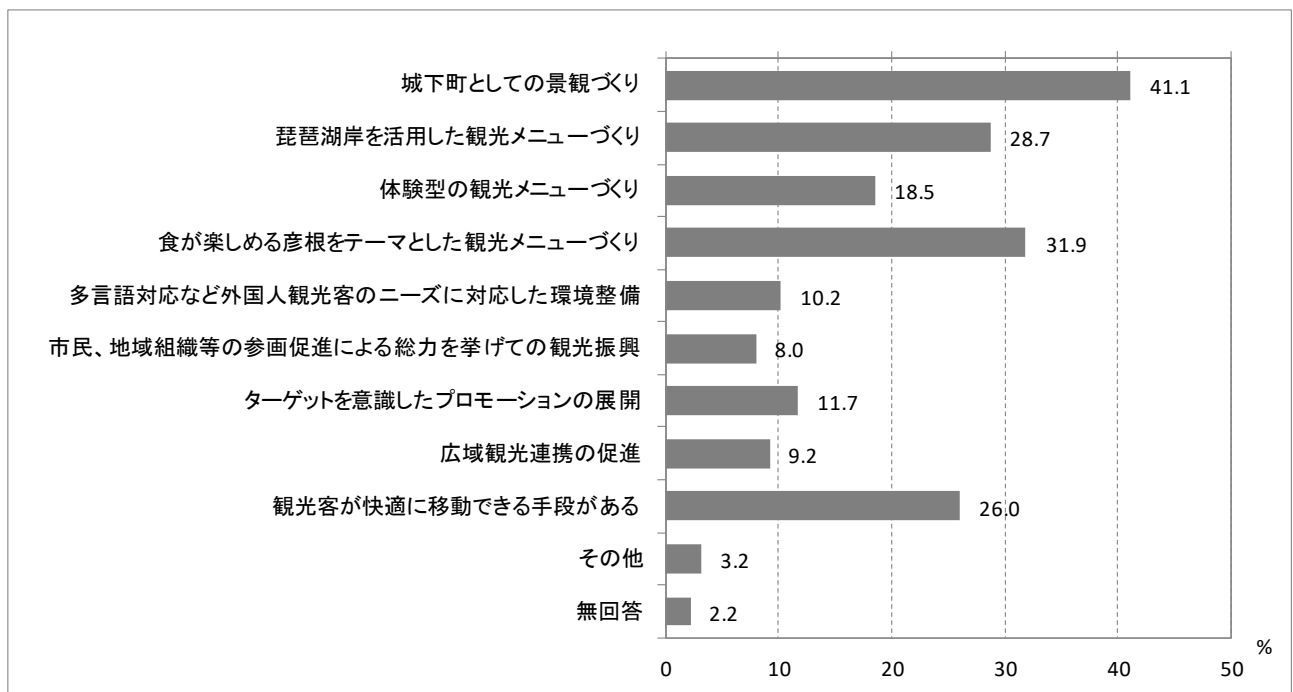
※太字は上位3項目、そのうち最も高い項目は**太字**

⑦観光振興に関する今後重要な取り組み

問 22 あなたは、今後、観光振興においてどのようなことが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

○「城下町としての景観づくり」(41.1%) が最も高く、次いで「食が楽しめる彦根をテーマとした観光メニューづくり」(31.9%)、「琵琶湖岸を活用した観光メニューづくり」(28.7%)、「観光客が快適に移動できる手段がある」(26.0%) となっています。

○年代によらず、おおむね以上の点が重要な取り組みと考えられています。そのなかで、20 歳代以下で他の年代より「観光客が快適に移動できる手段がある」が高くなっています。また、全体では 1 割程度である「ターゲットを意識したプロモーションの展開」が 30 歳代で高く、3 割近くを占めています。



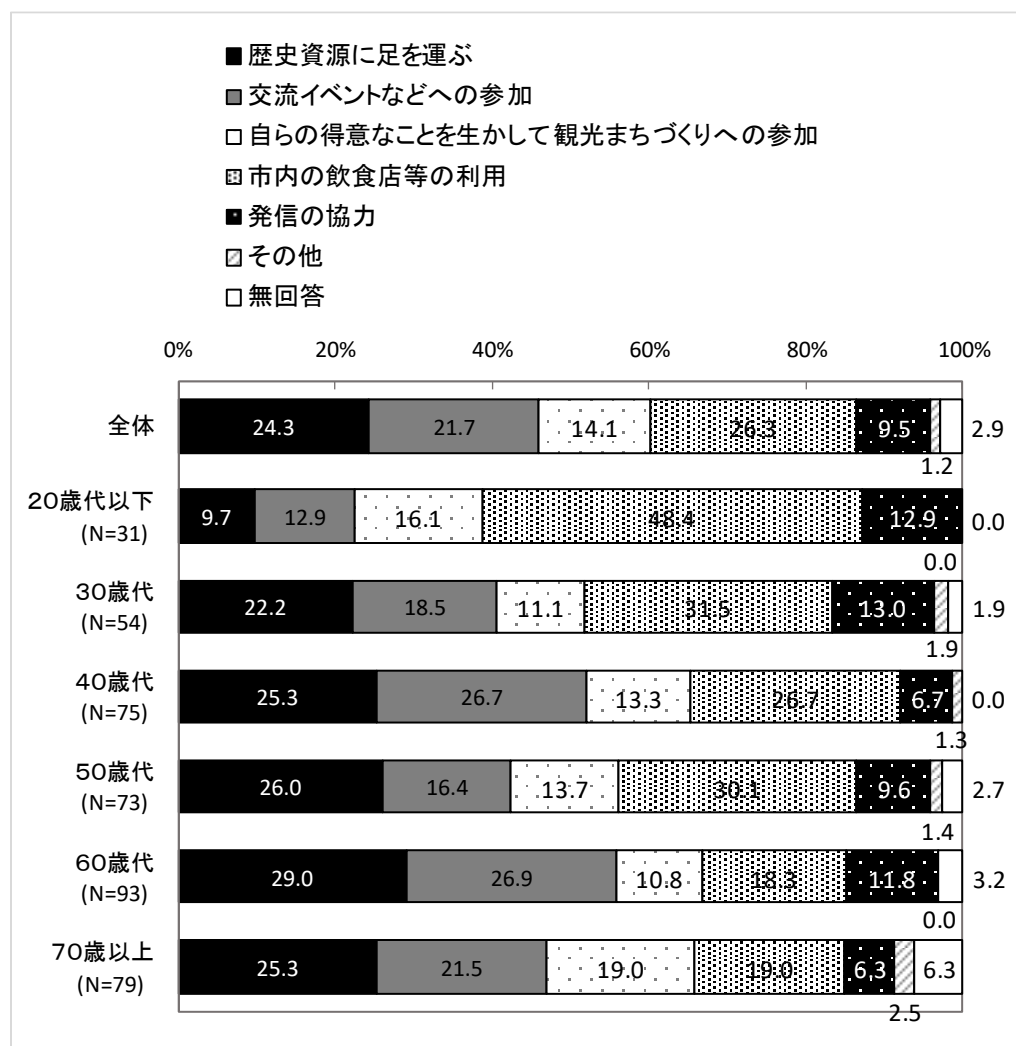
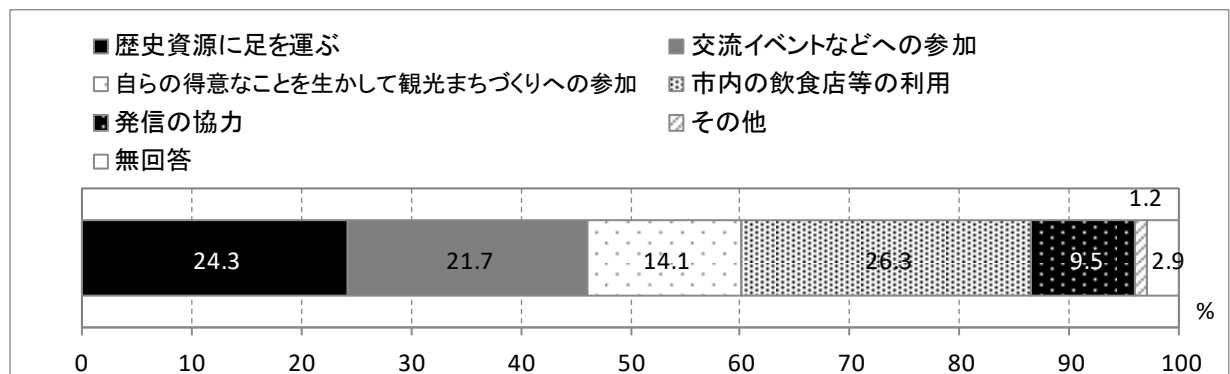
	全体	20歳代以下 (N=31)	30歳代 (N=54)	40歳代 (N=75)	50歳代 (N=73)	60歳代 (N=93)	70歳以上 (N=79)
城下町としての景観づくり	41.1	41.9	46.3	40.0	39.7	45.2	38.0
琵琶湖岸を活用した観光メニューづくり	28.7	32.3	27.8	26.7	23.3	29.0	35.4
体験型の観光メニューづくり	18.5	16.1	18.5	18.7	21.9	20.4	13.9
食が楽しめる彦根をテーマとした観光メニューづくり	31.9	38.7	27.8	37.3	38.4	25.8	27.8
多言語対応など外国人観光客のニーズに対応した環境整備	10.2	6.5	11.1	12.0	11.0	9.7	7.6
市民、地域組織等の参画促進による総力を挙げての観光振興	8.0	9.7	5.6	5.3	6.8	7.5	13.9
ターゲットを意識したプロモーションの展開	11.7	6.5	27.8	13.3	8.2	9.7	6.3
広域観光連携の促進	9.2	3.2	1.9	10.7	11.0	14.0	8.9
観光客が快適に移動できる手段がある	26.0	35.5	24.1	24.0	26.0	23.7	29.1
その他	3.2	3.2	3.7	8.0	2.7	2.2	0.0

※太字は上位3項目、そのうち最も高い項目は**太字**

⑧観光振興に関する自身の行動

問 23 観光振興において、あなたはどのような行動を進めていくべきだと思いますか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

- 「市内の飲食店等の利用」(26.3%) が最も高く、次いで「歴史資源に足を運ぶ」(24.3%)、「交流イベントなどへの参加」(21.7%) となっています。
- おおむね、「市内の飲食店等の利用」は年代が低いほど高く、「歴史資源に足を運ぶ」は年代が高いほど高くなる傾向となっています。

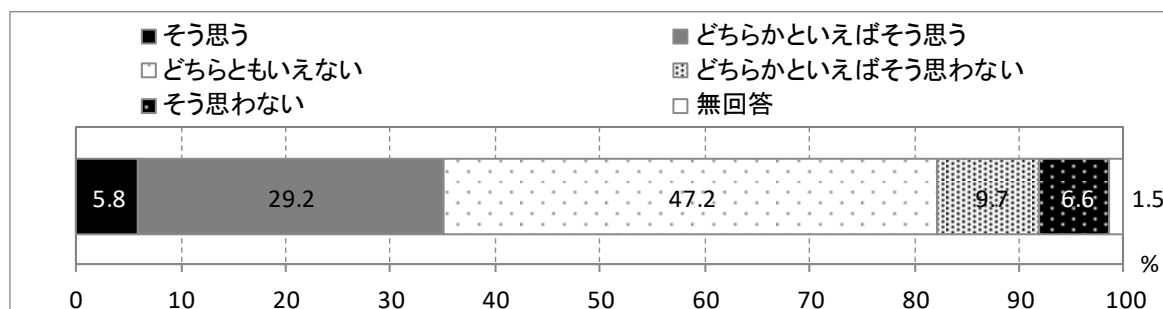


(3) 人権・福祉・安全について

①評価

問 24 あなたは、彦根市が「人権を尊び、お互いに助けあい、信頼しあうまちである」と思いますか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

○35.0%が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しています。



人権・福祉・安全に関する今後重要な取り組み等に関して

※各項目についての詳細は31ページから37ページに記載

○主に以下の取り組みを進めていくことが求められています。

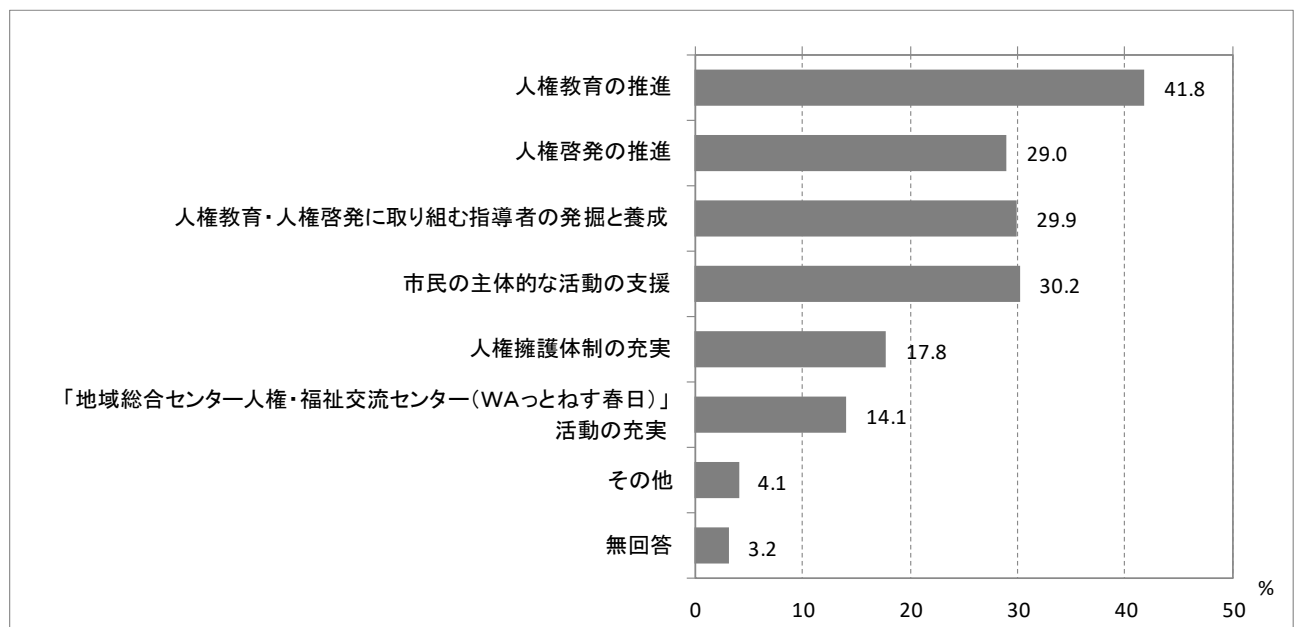
人権施策の推進 (上位3項目)	・「人権教育の推進」(41.8%) ・「市民の主体的な活動の支援」(30.2%) ・「人権教育・人権啓発に取り組む指導者の発掘と養成」(29.9%)
男女共同参画施策の推進(上位3項目)	・「男女が共に能力を発揮できる働き方や職場づくり(啓発など)」(51.3%) ・「地域等におけるしきたりや習慣の見直し」(36.5%) ・「学校における男女平等観に立った教育の推進」(26.0%)
多文化共生施策の推進(上位3項目)	・「市役所、病院などへの通訳の配置や外国語による相談窓口の充実」(37.2%) ・「外国人住民に向けた情報提供の充実」(32.4%) ・「外国人児童生徒に対する日本語指導や相談活動の充実」(24.3%)
福祉施策の充実 (上位3項目)	・「高齢者や障害者などの要介護家庭、子育て家庭への支援体制の充実」(35.5%) ・「健康の維持増進」(24.8%) ・「地域での見守り活動や交流の場づくりなど支えあいの地域づくりの促進・支援」(19.0%)
地域医療体制の整備充実(上位3項目)	・「市立病院の機能充実」(50.4%) ・「医師等の医療従事者の確保」(47.2%) ・「在宅医療福祉の充実」(30.2%)
災害に強いまちづくり(上位3項目)	・「災害発生時の情報収集・伝達体制の充実」(35.5%) ・「住民同士の助け合いなど、地域住民による自主防災体制等の整備・支援」(33.6%) ・「河川や水路の改修や土砂災害対策の推進」(33.1%)
災害に強いまちづくりに関する自身の行動(上位3項目)	・「備蓄品などの災害への備え」(60.1%) ・「災害時の対応についての習得、家族での話し合い」(51.6%) ・「ご近所での知り合いづくり」(29.9%)

②人権施策の推進に関する今後重要な取り組み

問 25 彦根市では市民一人ひとりの人権が尊重され、誰もが自分らしく輝きながら、夢や希望をもって安心して暮らせるまちをめざして、人権施策を進めています。あなたは人権施策を推進するためには、どのようなことが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。
(N=411)

○「人権教育の推進」(41.8%)が最も高く、次いで「市民の主体的な活動の支援」(30.2%)、「人権教育・人権啓発に取り組む指導者の発掘と養成」(29.9%)、「人権啓発の推進」(29.0%)となっています。

○年代別では、「市民の主体的な活動の支援」について、年代が高いほど、意向が高くなる傾向にあり、50歳代以上では35%前後を占めています。



	全体	20歳代以下 (N=31)	30歳代 (N=54)	40歳代 (N=75)	50歳代 (N=73)	60歳代 (N=93)	70歳以上 (N=79)
人権教育の推進	41.8	61.3	55.6	44.0	43.8	30.1	36.7
人権啓発の推進	29.0	29.0	24.1	29.3	34.2	35.5	21.5
人権教育・人権啓発に取り組む指導者の発掘と養成	29.9	32.3	22.2	29.3	28.8	35.5	30.4
市民の主体的な活動の支援	30.2	12.9	20.4	26.7	34.2	36.6	35.4
人権擁護体制の充実	17.8	19.4	16.7	20.0	16.4	15.1	20.3
「地域総合センター人権・福祉交流センター(WAっとねす春日)」活動の充実	14.1	22.6	11.1	8.0	16.4	14.0	15.2
その他	4.1	0.0	11.1	8.0	2.7	2.2	1.3

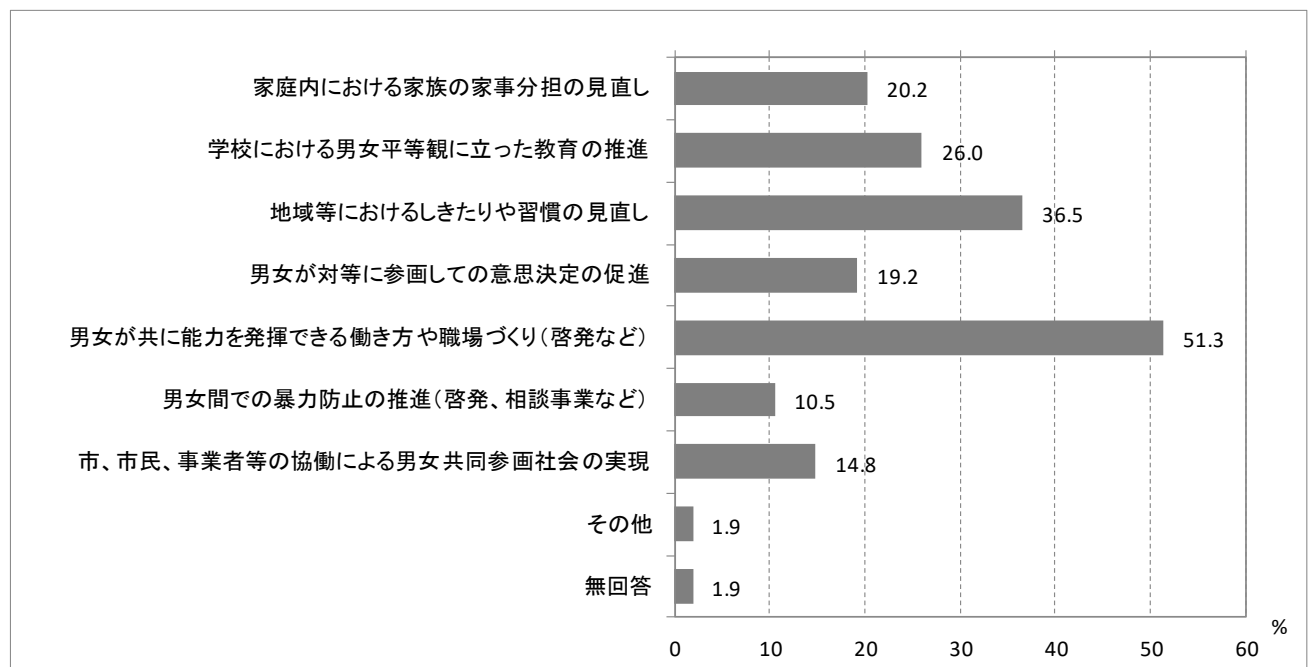
※**太字**は上位3項目、そのうち最も高い項目は**太字**

③男女共同参画施策の推進に関する今後重要な取り組み

問 26 彦根市では「男女共同参画を推進する彦根市条例」を 2017 年に制定し、「互いに個性を尊重しあい 一人ひとりが輝いて生きられるまち ひこね」の実現に取り組んでいます。あなたは男女共同参画施策を推進するためには、どのようなことが重要と思われるか。2 つまで選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

○「男女が共に能力を発揮できる働き方や職場づくり(啓発など)」(51.3%) が最も高く、次いで「地域等におけるしきたりや習慣の見直し」(36.5%)、「学校における男女平等観に立った教育の推進」(26.0%)、「家庭内における家族の家事分担の見直し」(20.2%)となっています。

○年代によらず、おおむね以上の点が重要な取り組みと考えられています。



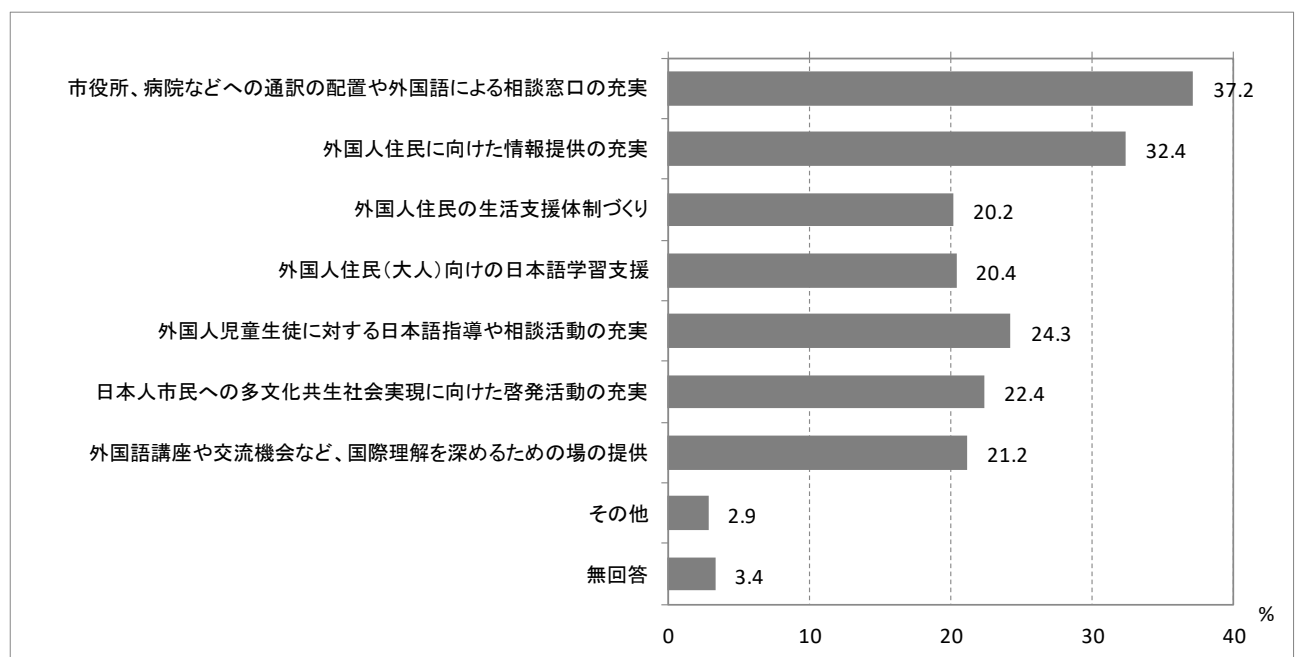
	全体	20歳代以下 (N=31)	30歳代 (N=54)	40歳代 (N=75)	50歳代 (N=73)	60歳代 (N=93)	70歳以上 (N=79)
家庭内における家族の家事分担の見直し	20.2	29.0	27.8	20.0	23.3	12.9	17.7
学校における男女平等観に立った教育の推進	26.0	38.7	31.5	13.3	26.0	26.9	30.4
地域等におけるしきたりや習慣の見直し	36.5	19.4	33.3	41.3	37.0	39.8	35.4
男女が対等に参画しての意思決定の促進	19.2	16.1	7.4	22.7	16.4	21.5	26.6
男女が共に能力を発揮できる働き方や職場づくり(啓発など)	51.3	54.8	59.3	56.0	50.7	51.6	43.0
男女間での暴力防止の推進(啓発、相談事業など)	10.5	9.7	5.6	18.7	11.0	10.8	6.3
市、市民、事業者等の協働による男女共同参画社会の実現	14.8	9.7	11.1	6.7	13.7	21.5	19.0
その他	1.9	3.2	5.6	1.3	2.7	0.0	1.3

※太字は上位3項目、そのうち最も高い項目は**太字**

④多文化共生施策の推進に関する今後重要な取り組み

問 27 彦根市では市民一人ひとりが、国籍や民族などによる文化的違いや多様な価値観を認め合いながら、共に安心して暮らすことができる多文化共生社会をめざして、施策を進めています。あなたは多文化共生施策を推進するためには、どのようなことが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

- 「市役所、病院などへの通訳の配置や外国語による相談窓口の充実」(37.2%) が最も高く、次いで「外国人住民に向けた情報提供の充実」(32.4%)、「外国人児童生徒に対する日本語指導や相談活動の充実」(24.3%) となっていますが、その他の取り組みについても2割以上を占めており、重要な取り組みと考えられます。
- 上位2項目については、おおむね年代によらず同様となっていますが、20歳代以下では「外国人住民の生活支援体制づくり」、50歳代では「外国語講座や交流機会など、国際理解を深めるための場の提供」、60歳代では「日本人市民への多文化共生社会実現に向けた啓発活動の充実」などの意向も高くなっています。



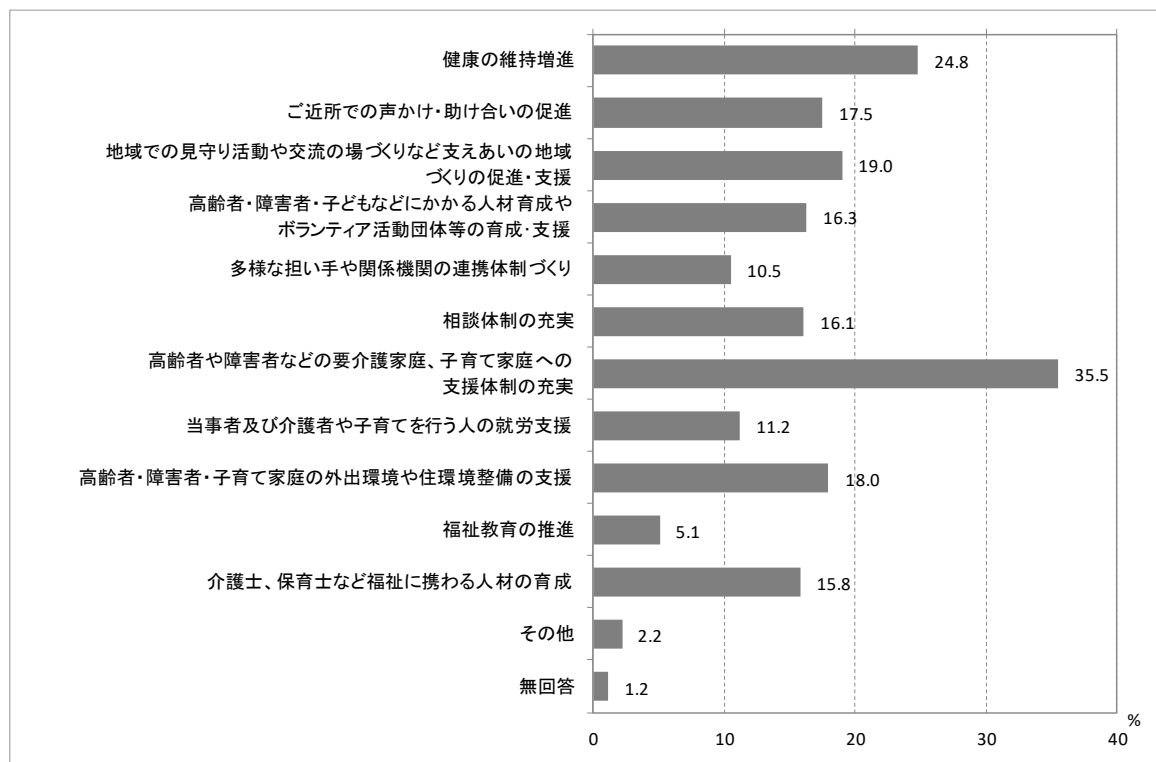
	全体	20歳代以下 (N=31)	30歳代 (N=54)	40歳代 (N=75)	50歳代 (N=73)	60歳代 (N=93)	70歳以上 (N=79)
市役所、病院などへの通訳の配置や外国語による相談窓口の充実	37.2	48.4	40.7	32.0	39.7	37.6	34.2
外国人住民に向けた情報提供の充実	32.4	22.6	37.0	32.0	19.2	46.2	31.6
外国人住民の生活支援体制づくり	20.2	29.0	22.2	14.7	23.3	17.2	21.5
外国人住民(大人)向けの日本語学習支援	20.4	22.6	22.2	28.0	24.7	11.8	16.5
外国人児童生徒に対する日本語指導や相談活動の充実	24.3	16.1	18.5	29.3	30.1	20.4	27.8
日本人市民への多文化共生社会実現に向けた啓発活動の充実	22.4	16.1	18.5	25.3	17.8	29.0	21.5
外国語講座や交流機会など、国際理解を深めるための場の提供	21.2	16.1	24.1	16.0	26.0	22.6	19.0
その他	2.9	3.2	3.7	6.7	2.7	1.1	1.3

※太字は上位3項目、そのうち最も高い項目は**太字**

⑤福祉施策の充実に関する今後重要な取り組み

問 28 あなたは福祉施策を充実させるためには、どのようなことが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

- 「高齢者や障害者などの要介護家庭、子育て家庭への支援体制の充実」(35.5%)が最も高く、次いで「健康の維持増進」(24.8%)、「地域での見守り活動や交流の場づくりなど支えあいの地域づくりの促進・支援」(19.0%)となっています。
- 年代によらず、「高齢者や障害者などの要介護家庭、子育て家庭への支援体制の充実」が最も求められている取り組みとなっています。それ以外は、各年代の一般的なライフステージに応じた取り組みが求められる結果となっており、「ご近所での声かけ・助け合いの促進」が20歳代以下、70歳以上で他の年代より高くなっている点は、ご近所とのつながりが少ない年代、声かけなどを必要とする年代で重要視されていると考えられます。



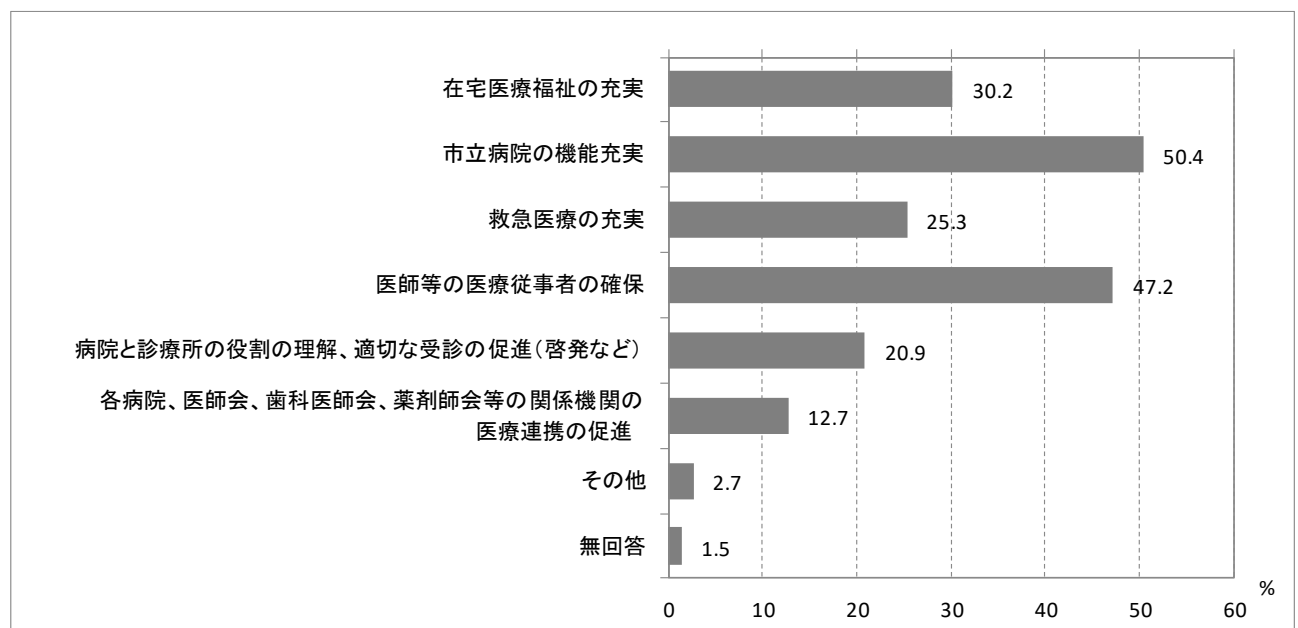
	全体	20歳代以下 (N=31)	30歳代 (N=54)	40歳代 (N=75)	50歳代 (N=73)	60歳代 (N=93)	70歳以上 (N=79)
健康の維持増進	24.8	19.4	16.7	32.0	30.1	21.5	25.3
ご近所での声かけ・助け合いの促進	17.5	22.6	13.0	16.0	15.1	15.1	25.3
地域での見守り活動や交流の場づくりなど支えあいの地域づくりの促進・支援	19.0	3.2	22.2	24.0	12.3	23.7	20.3
高齢者・障害者・子どもなどにかかる人材育成やボランティア活動団体等の育成・支援	16.3	9.7	16.7	14.7	16.4	17.2	20.3
多様な担い手や関係機関の連携体制づくり	10.5	12.9	9.3	10.7	12.3	11.8	7.6
相談体制の充実	16.1	16.1	13.0	17.3	16.4	14.0	17.7
高齢者や障害者などの要介護家庭、子育て家庭への支援体制の充実	35.5	32.3	38.9	33.3	35.6	39.8	32.9
当事者及び介護者や子育てを行う人の就労支援	11.2	9.7	11.1	9.3	9.6	11.8	13.9
高齢者・障害者・子育て家庭の外出環境や住環境整備の支援	18.0	22.6	27.8	13.3	23.3	10.8	17.7
福祉教育の推進	5.1	6.5	5.6	4.0	5.5	7.5	1.3
介護士、保育士など福祉に携わる人材の育成	15.8	29.0	14.8	9.3	16.4	19.4	13.9
その他	2.2	0.0	3.7	4.0	1.4	3.2	0.0

※太字は上位3項目、そのうち最も高い項目は太字

⑥地域医療体制の整備充実に関する今後重要な取り組み

問 29 あなたは地域医療体制の整備充実を推進するためには、どのようなことが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

- 「市立病院の機能充実」(50.4%)が最も高く、次いで「医師等の医療従事者の確保」(47.2%)、「在宅医療福祉の充実」(30.2%)となっています。
- 年代によらず、おおむね以上の点が重要な取り組みと考えられています。そのなかで、50歳代以上で、「在宅医療福祉の充実」の意向が他の年代より高くなっています。



	全体	20歳代以下 (N=31)	30歳代 (N=54)	40歳代 (N=75)	50歳代 (N=73)	60歳代 (N=93)	70歳以上 (N=79)
在宅医療福祉の充実	30.2	12.9	18.5	25.3	35.6	26.9	49.4
市立病院の機能充実	50.4	61.3	53.7	44.0	46.6	59.1	43.0
救急医療の充実	25.3	19.4	25.9	26.7	30.1	26.9	21.5
医師等の医療従事者の確保	47.2	51.6	53.7	45.3	49.3	47.3	41.8
病院と診療所の役割の理解、適切な受診の促進(啓発など)	20.9	22.6	22.2	26.7	17.8	21.5	17.7
各病院、医師会、歯科医師会、薬剤師会等の関係機関の医療連携の促進	12.7	12.9	14.8	14.7	9.6	8.6	16.5
その他	2.7	0.0	1.9	6.7	4.1	1.1	1.3

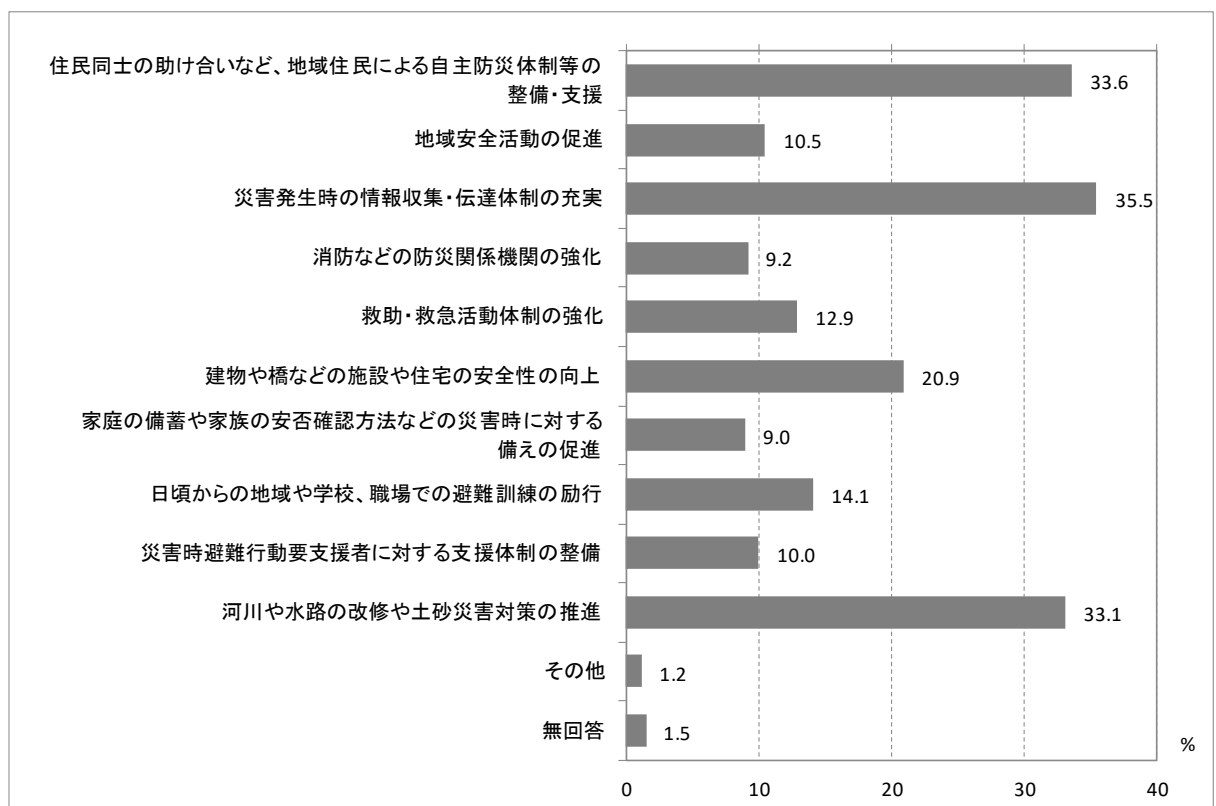
※太字は上位3項目、そのうち最も高い項目は**太字**

⑦災害に強いまちづくりに関する今後重要な取り組み

問 30 あなたは、災害等に強いまちづくりのために、どのような取り組みが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

○「災害発生時の情報収集・伝達体制の充実」(35.5%)が最も高く、次いで「住民同士の助け合いなど、地域住民による自主防災体制等の整備・支援」(33.6%)、「河川や水路の改修や土砂災害対策の推進」(33.1%)となっています。

○年代によらず、おおむね以上の点が重要な取り組みと考えられています。そのなかで、20歳代以下で、「建物や橋などの施設や住宅の安全性の向上」「日頃からの地域や学校、職場での避難訓練の励行」の意向が他の年代より高くなっています。



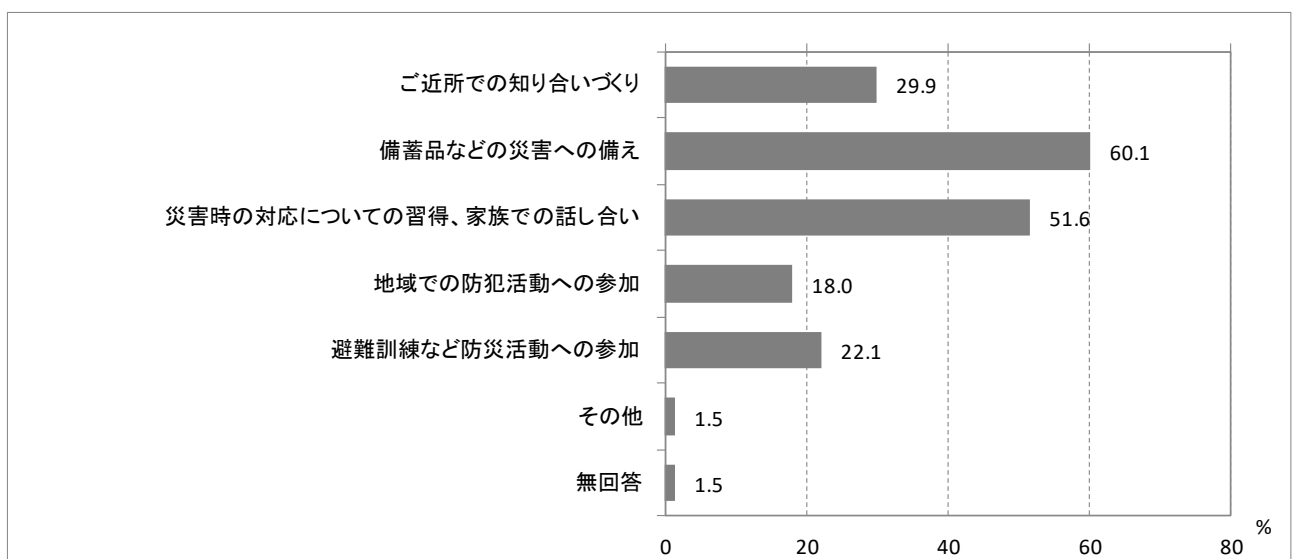
	全体	20歳代以下 (N=31)	30歳代 (N=54)	40歳代 (N=75)	50歳代 (N=73)	60歳代 (N=93)	70歳以上 (N=79)
住民同士の助け合いなど、地域住民による自主防災体制等の整備・支援	33.6	32.3	20.4	30.7	30.1	33.3	49.4
地域安全活動の促進	10.5	9.7	14.8	10.7	8.2	7.5	13.9
災害発生時の情報収集・伝達体制の充実	35.5	25.8	33.3	36.0	37.0	44.1	30.4
消防などの防災関係機関の強化	9.2	16.1	5.6	10.7	5.5	14.0	6.3
救助・救急活動体制の強化	12.9	6.5	13.0	16.0	15.1	12.9	11.4
建物や橋などの施設や住宅の安全性の向上	20.9	32.3	20.4	21.3	24.7	17.2	19.0
家庭の備蓄や家族の安否確認方法などの災害時に対する備えの促進	9.0	9.7	11.1	10.7	11.0	6.5	5.1
日頃からの地域や学校、職場での避難訓練の励行	14.1	25.8	20.4	10.7	11.0	14.0	12.7
災害時避難行動要支援者に対する支援体制の整備	10.0	3.2	9.3	8.0	11.0	8.6	16.5
河川や水路の改修や土砂災害対策の推進	33.1	12.9	38.9	32.0	37.0	35.5	32.9
その他	1.2	3.2	0.0	2.7	2.7	0.0	0.0

※太字は上位3項目、そのうち最も高い項目は**太字**

⑧災害に強いまちづくりに関する自身の行動

問 31 災害等に強いまちづくりを進めていくために、あなたはどのような行動を進めていくべきだと思いますか。2 つまで選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

- 「備蓄品などの災害への備え」(60.1%) が最も高く、次いで「災害時の対応についての習得、家族での話し合い」(51.6%)、「ご近所での知り合いづくり」(29.9%) となっています。
- 年代によらず、おおむね以上の点について意識が高くなっています。そのなかで、60 歳代では、「避難訓練など防災活動への参加」との意識が他の年代より高くなっています。



	全体	20歳代以下 (N=31)	30歳代 (N=54)	40歳代 (N=75)	50歳代 (N=73)	60歳代 (N=93)	70歳以上 (N=79)
ご近所での知り合いづくり	29.9	25.8	29.6	22.7	32.9	25.8	43.0
備蓄品などの災害への備え	60.1	67.7	68.5	70.7	65.8	48.4	51.9
災害時の対応についての習得、家族での話し合い	51.6	54.8	50.0	57.3	47.9	57.0	45.6
地域での防犯活動への参加	18.0	12.9	14.8	14.7	17.8	19.4	22.8
避難訓練など防災活動への参加	22.1	12.9	18.5	14.7	21.9	30.1	26.6
その他	1.5	0.0	1.9	2.7	1.4	2.2	0.0

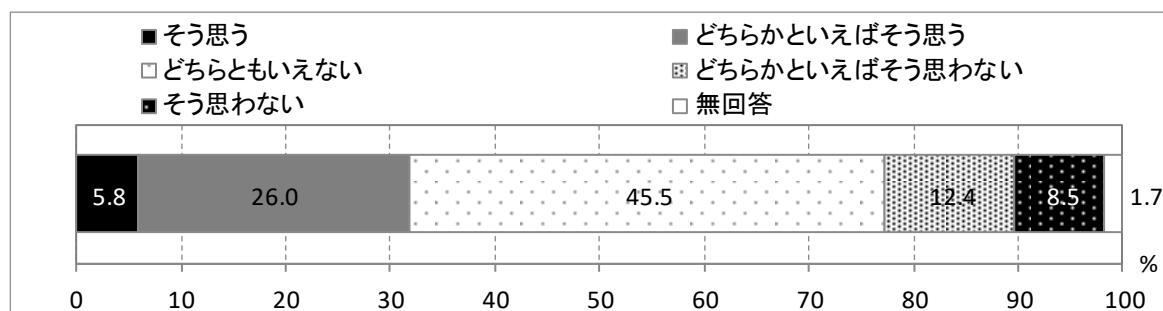
※太字は上位3項目、そのうち最も高い項目は太字

(4) 生涯学習・次世代育成・市民交流について

①評価

問 32 あなたは、彦根市が「生涯を通して生きがいに満ちたまちである」と思いますか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

○31.8%が「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答しています。



生涯学習・次世代育成・市民交流に関する今後重要な取り組み等に関して

※各項目についての詳細は 39 ページから 42 ページに記載

○主に以下の取り組みを進めていくことが求められています。

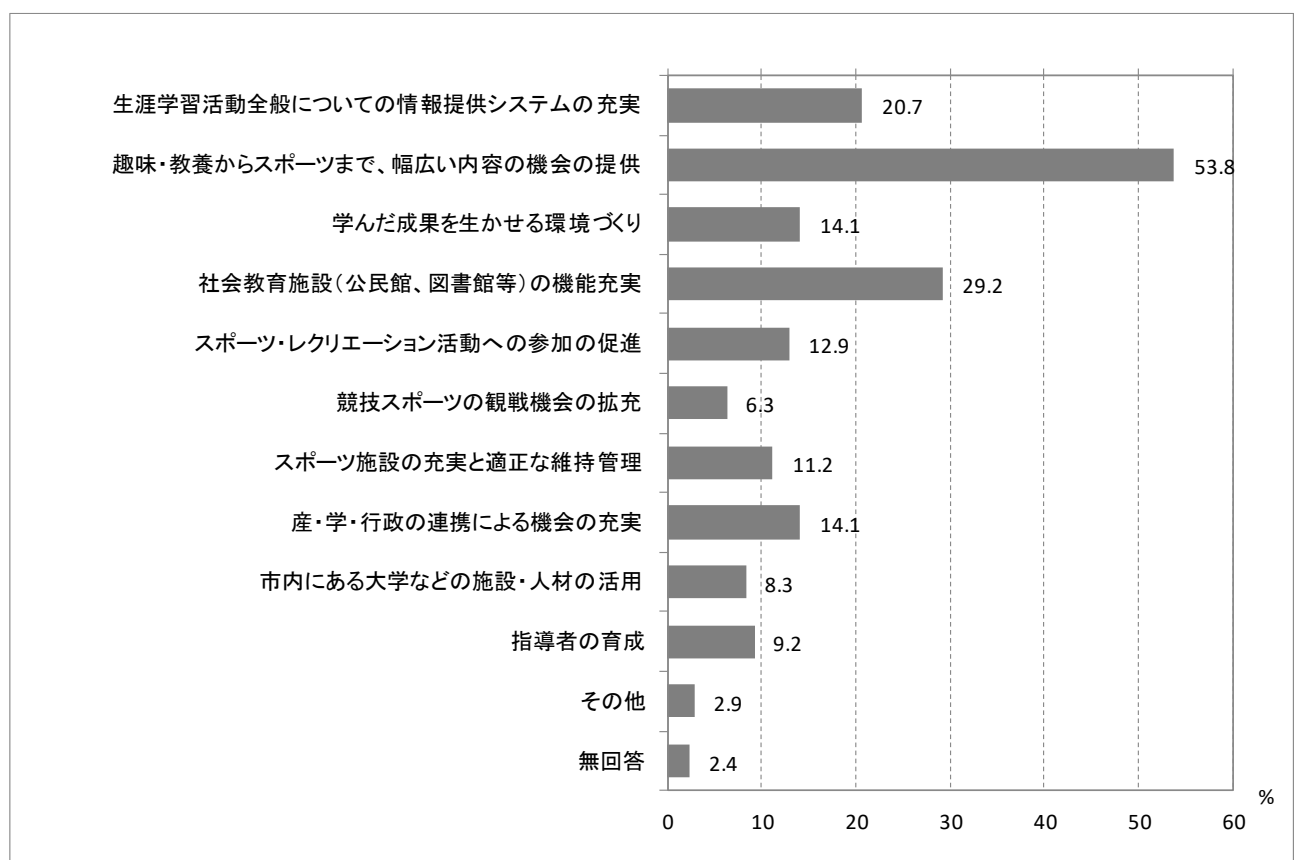
生涯を通じた生きがいづくり (上位3項目)	・「趣味・教養からスポーツまで、幅広い内容の機会の提供」(53.8%) ・「社会教育施設(公民館、図書館等)の機能充実」(29.2%) ・「生涯学習活動全般についての情報提供システムの充実」(20.7%)
子どもの健全育成 (上位3項目)	・「安心して子どもを産み育てられる環境の整備」(45.7%) ・「いじめや不登校、虐待等に対する対策」(26.0%) ・「保育所等の受入枠の拡大や預かり保育などの多様な保育サービスの充実」(23.1%)
国際交流の推進 (上位3項目)	・「市民による国際交流活動の推進」(26.8%) ・「国際交流イベント等の実施」(24.8%) ・「姉妹都市、友好都市等との交流推進」(23.1%)
地域での活動や行事などへの参加意向	・「できるだけ参加したい」、「興味や関心のあるものには参加したい」をあわせて参加意向は74.2%

②生涯を通じた生きがいがづくりに関する今後重要な取り組み

問 33 あなたは生涯を通じた生きがいがづくりにために、どのような取り組みが重要と思われるか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

○「趣味・教養からスポーツまで、幅広い内容の機会の提供」(53.8%) が最も高く、次いで「社会教育施設(公民館、図書館等)の機能充実」(29.2%)、「生涯学習活動全般についての情報提供システムの充実」(20.7%)となっています。

○年代によらず、おおむね以上の点が重要な取り組みと考えられています。そのなかで、70歳以上では、「産・学・行政の連携による機会の充実」との意識が他の年代より高くなっています。



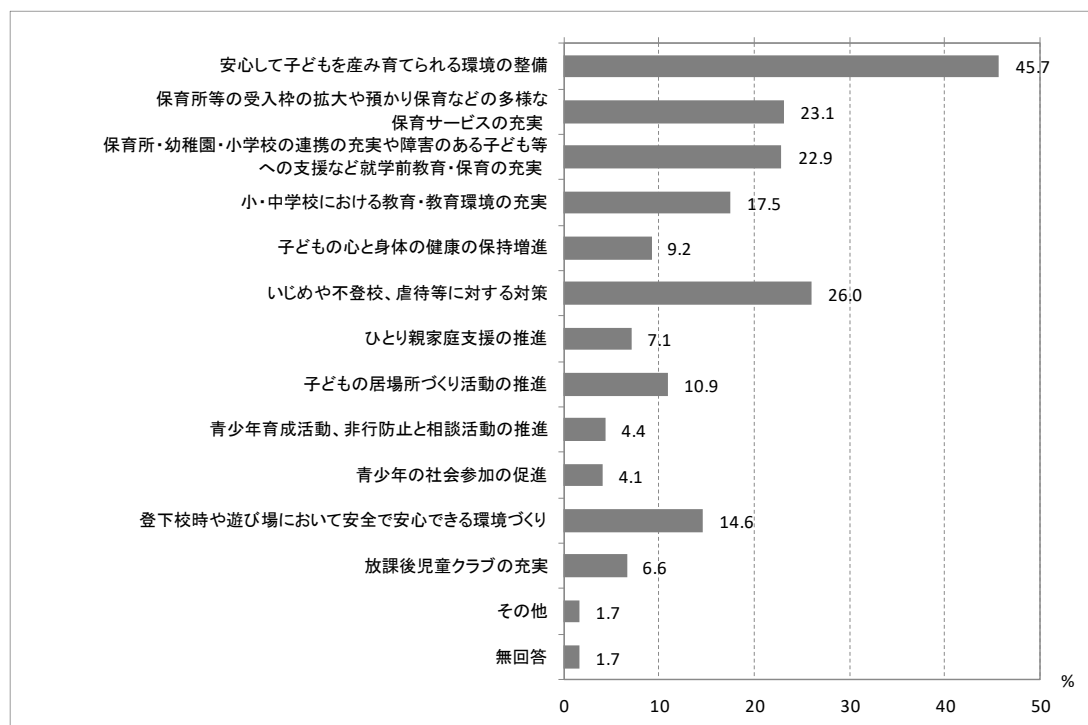
	全体	20歳代以下 (N=31)	30歳代 (N=54)	40歳代 (N=75)	50歳代 (N=73)	60歳代 (N=93)	70歳以上 (N=79)
生涯学習活動全般についての情報提供システムの充実	20.7	9.7	22.2	20.0	26.0	22.6	19.0
趣味・教養からスポーツまで、幅広い内容の機会の提供	53.8	67.7	57.4	53.3	49.3	62.4	40.5
学んだ成果を生かせる環境づくり	14.1	16.1	11.1	9.3	11.0	17.2	19.0
社会教育施設(公民館、図書館等)の機能充実	29.2	32.3	31.5	29.3	31.5	32.3	21.5
スポーツ・レクリエーション活動への参加の促進	12.9	16.1	11.1	18.7	11.0	8.6	15.2
競技スポーツの観戦機会の拡充	6.3	6.5	7.4	8.0	6.8	5.4	5.1
スポーツ施設の充実と適正な維持管理	11.2	16.1	11.1	13.3	13.7	4.3	13.9
産・学・行政の連携による機会の充実	14.1	9.7	14.8	12.0	12.3	11.8	21.5
市内にある大学などの施設・人材の活用	8.3	3.2	11.1	10.7	8.2	10.8	3.8
指導者の育成	9.2	6.5	11.1	5.3	9.6	7.5	15.2
その他	2.9	0.0	1.9	5.3	4.1	1.1	3.8

③子どもの健全育成に関する今後重要な取り組み

問 34 子どもが健やかに育つためにどのようなことが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

○「安心して子どもを産み育てられる環境の整備」(45.7%)が最も高く、次いで「いじめや不登校、虐待等に対する対策」(26.0%)、「保育所等の受入枠の拡大や預かり保育などの多様な保育サービスの充実」(23.1%)、「保育所・幼稚園・小学校の連携の充実や障害のある子ども等への支援など就学前教育・保育の充実」(22.9%)となっています。

○年代によらず、おおむね以上の点が重要な取り組みと考えられています。そのなかで、子育て世代が多いと思われる30歳代、40歳代では「小・中学校における教育・教育環境の充実」、さらに30歳代では「登下校時や遊び場において安全で安心できる環境づくり」との意向が他の年代より高くなっています。



	全体	20歳代以下 (N=31)	30歳代 (N=54)	40歳代 (N=75)	50歳代 (N=73)	60歳代 (N=93)	70歳以上 (N=79)
安心して子どもを産み育てられる環境の整備	45.7	51.6	42.6	46.7	45.2	49.5	39.2
保育所等の受入枠の拡大や預かり保育などの多様な保育サービスの充実	23.1	19.4	27.8	17.3	23.3	25.8	24.1
保育所・幼稚園・小学校の連携の充実や障害のある子ども等への支援など就学前教育・保育の充実	22.9	16.1	20.4	13.3	26.0	24.7	31.6
小・中学校における教育・教育環境の充実	17.5	16.1	31.5	22.7	16.4	16.1	7.6
子どもの心と身体の健康の保持増進	9.2	6.5	7.4	12.0	4.1	8.6	15.2
いじめや不登校、虐待等に対する対策	26.0	29.0	13.0	24.0	39.7	21.5	27.8
ひとり親家庭支援の推進	7.1	3.2	7.4	10.7	5.5	7.5	6.3
子どもの居場所づくり活動の推進	10.9	6.5	5.6	12.0	8.2	15.1	12.7
青少年育成活動、非行防止と相談活動の推進	4.4	12.9	3.7	2.7	4.1	2.2	6.3
青少年の社会参加の促進	4.1	6.5	7.4	5.3	1.4	4.3	2.5
登下校時や遊び場において安全で安心できる環境づくり	14.6	6.5	27.8	16.0	12.3	10.8	13.9
放課後児童クラブの充実	6.6	9.7	3.7	8.0	6.8	3.2	8.9
その他	1.7	0.0	1.9	2.7	1.4	3.2	0.0

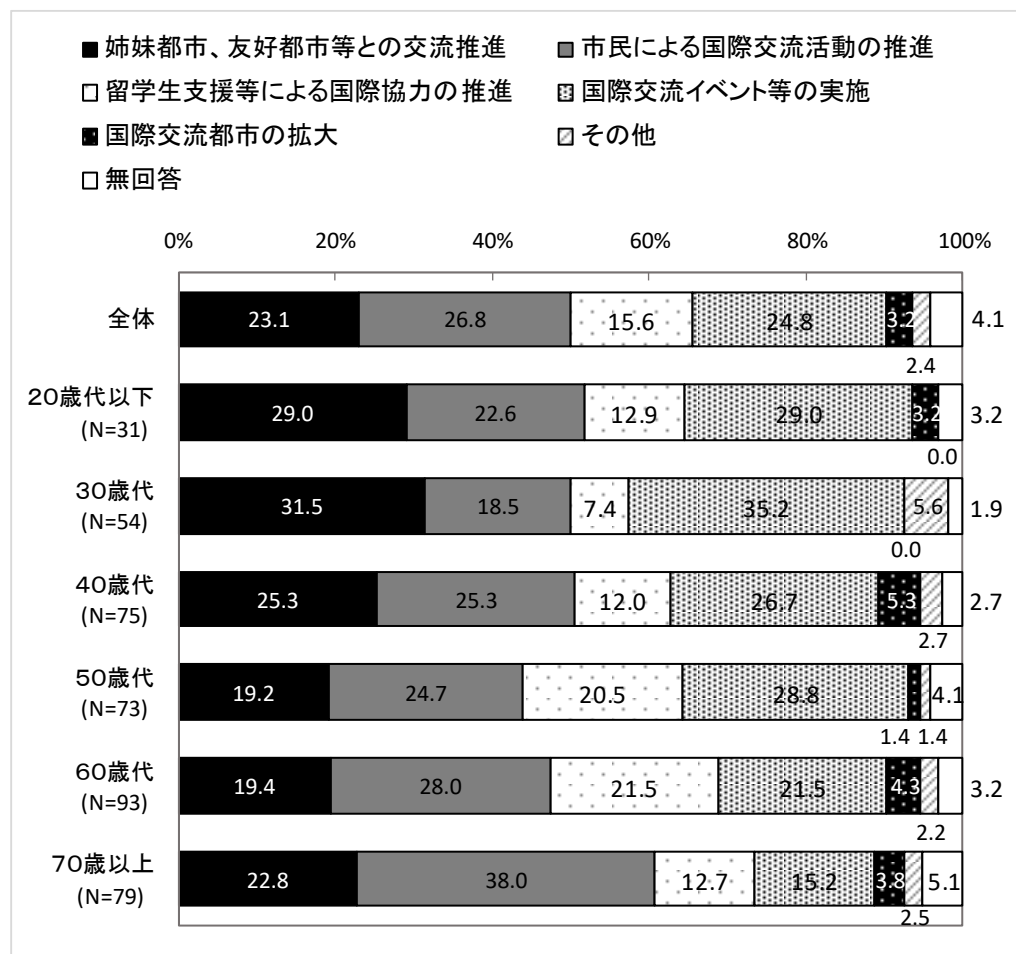
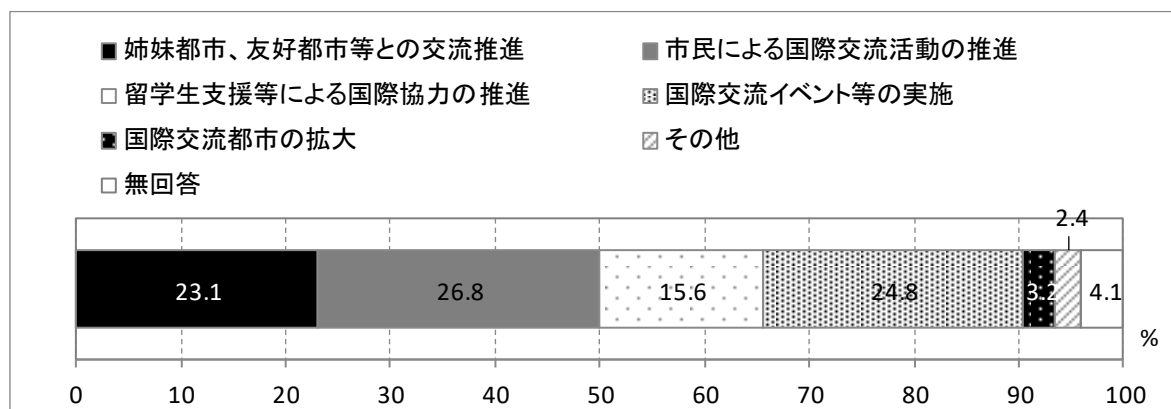
※太字は上位3項目、そのうち最も高い項目は**太字**

④国際交流の推進に関する今後重要な取り組み

問 35 国際交流の推進において、どのようなことが重要と思われますか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

○「市民による国際交流活動の推進」(26.8%)が最も高く、次いで「国際交流イベント等の実施」(24.8%)、「姉妹都市、友好都市等との交流推進」(23.1%)となっています。

○20歳代以下、30歳代では、「姉妹都市、友好都市等との交流推進」、「国際交流イベント等の実施」との意向が高く、50歳代以上の高年代では、「市民による国際交流活動の推進」、「留学生支援等による国際協力の推進」の意向も高くなっています。

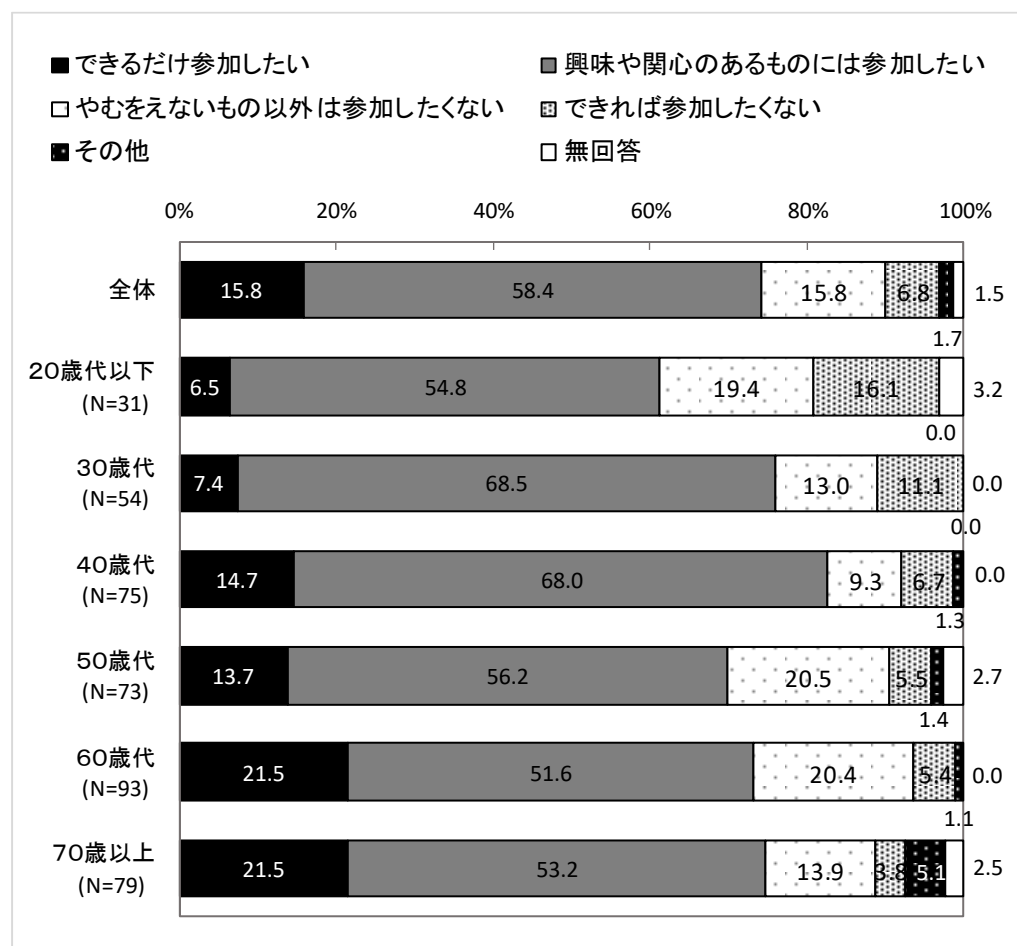
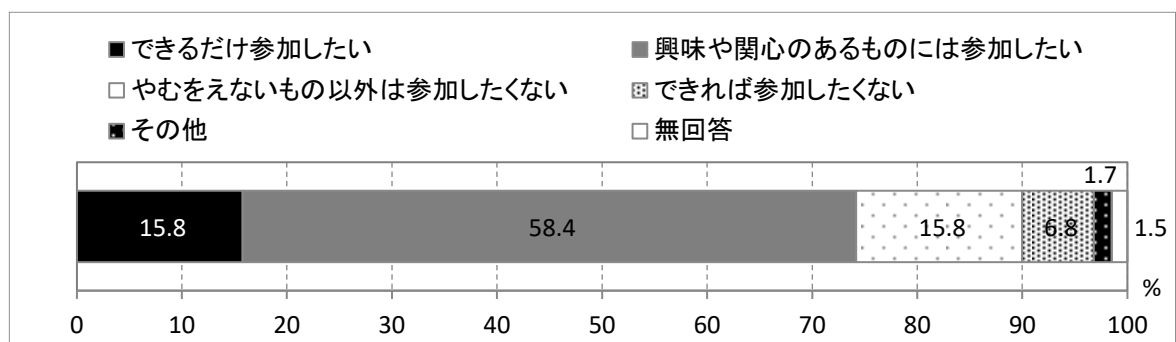


⑤地域での活動や行事などへの参加意向

問 36 あなたは、地域での活動や行事などへの参加についてどのように思われますか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

○74.2%が「できるだけ参加したい」または「興味や関心のあるものには参加したい」と回答しています。

○年代が高くなるほど「できるだけ参加したい」の意向が高くなる傾向にありますが、「興味や関心のあるものには参加したい」をあわせた参加意向では、40歳代が最も高く82.7%となっています。一方、「やむをえないもの以外は参加したくない」「できれば参加したくない」についてみると、20歳代以下、50歳代、60歳代で他の年代より高くなっています。



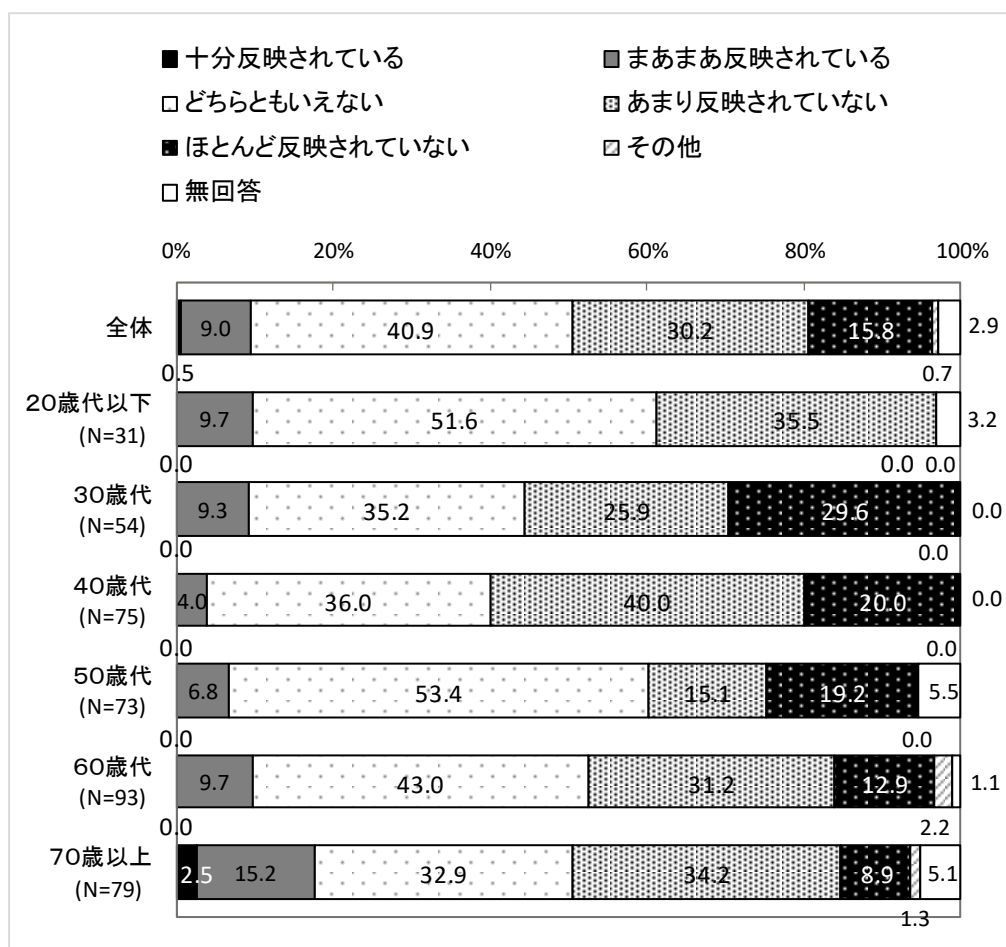
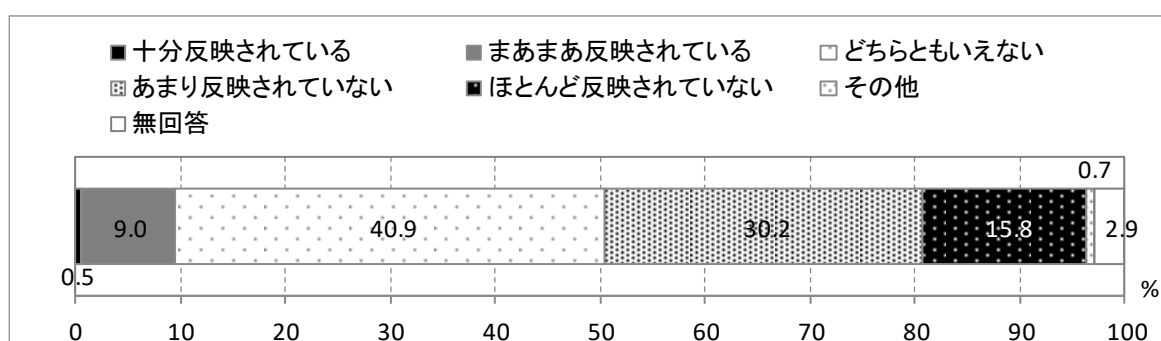
(5) 市民の市政参加について

①評価

問 37 あなたは市民の意見などが市政に反映されていると思われますか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

○「十分反映されている」が0.5%、「まあまあ反映されている」が9.0%となっており、「どちらともいえない」が最も高く40.9%となっています。「あまり反映されていない」と「ほとんど反映されていない」をあわせると46.0%で、半分近くが反映されていないと評価しています。

○年代別にみると、特に30歳代、40歳代で反映されていないとの意向が高く、どちらも60.0%程度を占めています。

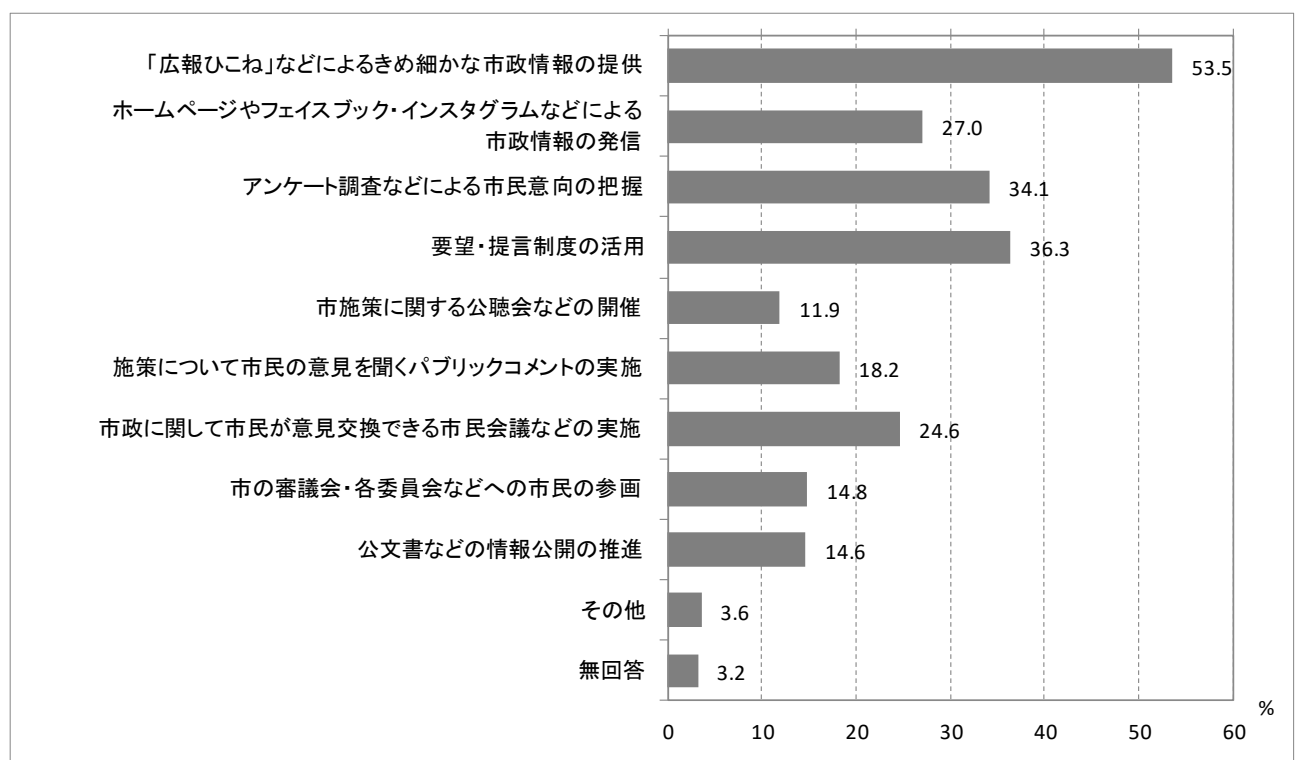


②市民の市政参加に関する今後重要な取り組み

問 38 あなたは市民の意見などが市政に反映する取り組みとして、今後どのようなことの充実が必要と思われますか。3つまで選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

○「「広報ひこね」などによるきめ細かな市政情報の提供」(53.5%)が最も高く、次いで「要望・提言制度の活用」(36.3%)、「アンケート調査などによる市民意向の把握」(34.1%)となっています。

○年代によらず、おおむね以上の点が重要な取り組みと考えられています。そのなかで、40歳代以下の年代では、「ホームページやフェイスブック・インスタグラムなどによる市政情報の発信」との意向も高くなっています。



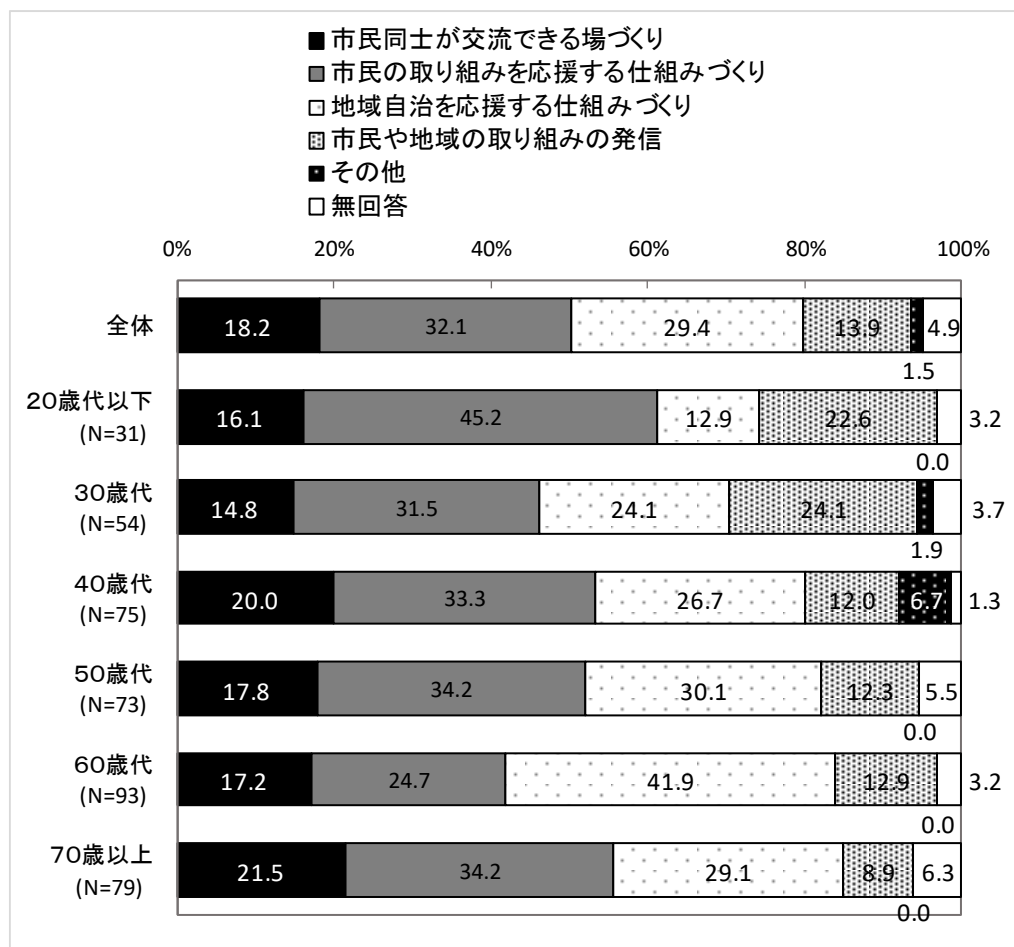
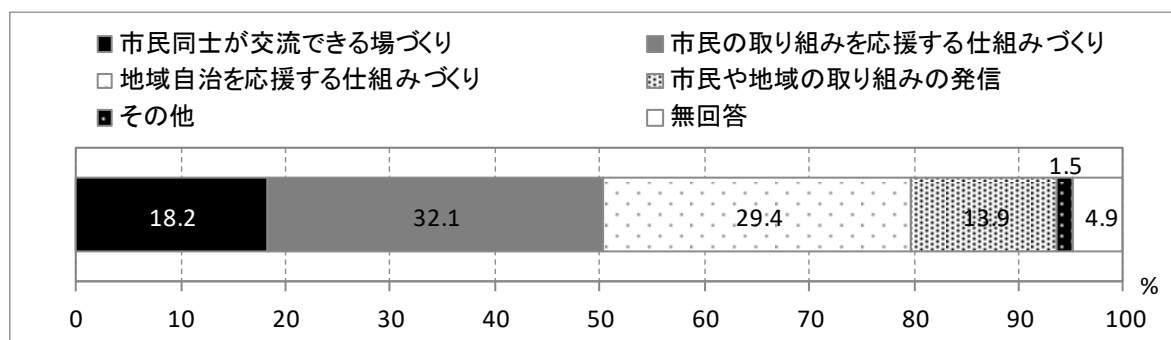
	全体	20歳代以下 (N=31)	30歳代 (N=54)	40歳代 (N=75)	50歳代 (N=73)	60歳代 (N=93)	70歳以上 (N=79)
「広報ひこね」などによるきめ細かな市政情報の提供	53.5	32.3	61.1	44.0	63.0	57.0	54.4
ホームページやフェイスブック・インスタグラムなどによる市政情報の発信	27.0	32.3	46.3	33.3	28.8	21.5	11.4
アンケート調査などによる市民意向の把握	34.1	38.7	31.5	41.3	32.9	30.1	35.4
要望・提言制度の活用	36.3	29.0	22.2	34.7	34.2	46.2	41.8
市施策に関する公聴会などの開催	11.9	3.2	3.7	10.7	15.1	16.1	13.9
施策について市民の意見を聞くパブリックコメントの実施	18.2	19.4	11.1	21.3	13.7	20.4	22.8
市政に関して市民が意見交換できる市民会議などの実施	24.6	25.8	24.1	17.3	26.0	21.5	34.2
市の審議会・各委員会などへの市民の参画	14.8	6.5	11.1	20.0	17.8	16.1	12.7
公文書などの情報公開の推進	14.6	19.4	11.1	18.7	13.7	14.0	12.7
その他	3.6	3.2	5.6	5.3	2.7	2.2	3.8

※太字は上位3項目、そのうち最も高い項目は**太字**

③市民主体、地域主体の取り組み推進に関する今後重要な取り組み

問 39 市民主体、地域主体の取り組みを進めるために、あなたは、どのようなことが必要だと思いますか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

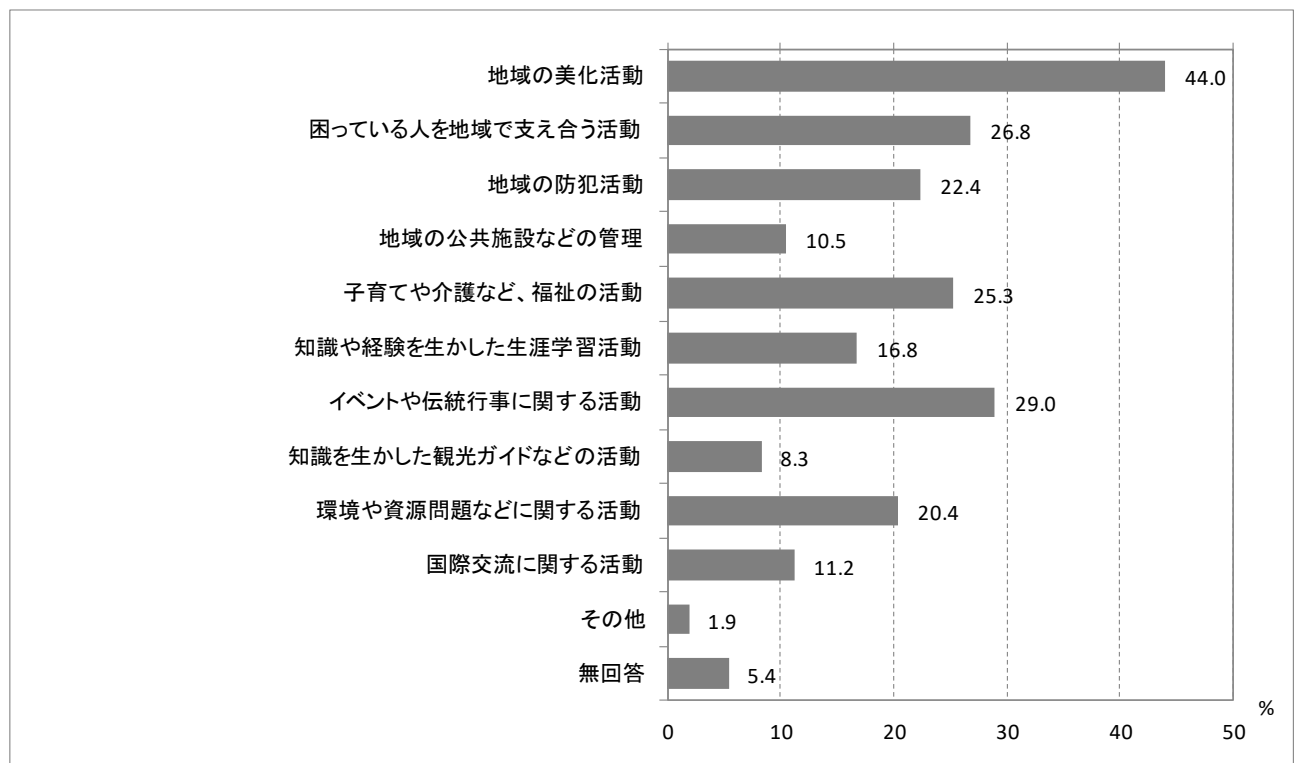
- 「市民の取り組みを応援する仕組みづくり」(32.1%)が最も高く、次いで「地域自治を応援する仕組みづくり」(29.4%)、「市民同士が交流できる場づくり」(18.2%)となっています。
- 年代別では、20歳代以下、30歳代においては「市民や地域の取り組みの発信」、60歳代では「地域自治を応援する仕組みづくり」が、他の年代より高くなっています。



④地域活動やまちづくりに関する参加したい取り組み

問 40 あなたは、地域活動やまちづくりに参加するとしたら、どのような取り組みに参加しますか。いくつでも選んで番号に○印をつけてください。(N=411)

- 「地域の美化活動」(44.0%) が最も高く、次いで「イベントや伝統行事に関する活動」(29.0%)、「困っている人を地域で支え合う活動」(26.8%)、「子育てや介護など、福祉の活動」(25.3%)、「地域の防犯活動」(22.4%) となっています。
- 「イベントや伝統行事に関する活動」については年代が低いほど高い傾向にあります。また、「困っている人を地域で支え合う活動」は特に 40 歳代、70 歳以上で高くなっており、団塊の世代及び団塊ジュニアの世代が直面している福祉的課題への意識が高い結果と考えられます。



	全体	20歳代以下 (N=31)	30歳代 (N=54)	40歳代 (N=75)	50歳代 (N=73)	60歳代 (N=93)	70歳以上 (N=79)
地域の美化活動	44.0	41.9	40.7	32.0	52.1	47.3	49.4
困っている人を地域で支え合う活動	26.8	22.6	14.8	34.7	23.3	20.4	41.8
地域の防犯活動	22.4	22.6	14.8	22.7	27.4	16.1	31.6
地域の公共施設などの管理	10.5	16.1	7.4	13.3	4.1	10.8	12.7
子育てや介護など、福祉の活動	25.3	29.0	40.7	32.0	27.4	17.2	13.9
知識や経験を生かした生涯学習活動	16.8	19.4	11.1	9.3	13.7	21.5	25.3
イベントや伝統行事に関する活動	29.0	38.7	44.4	40.0	28.8	19.4	16.5
知識を生かした観光ガイドなどの活動	8.3	12.9	5.6	13.3	5.5	7.5	6.3
環境や資源問題などに関する活動	20.4	9.7	13.0	24.0	23.3	23.7	20.3
国際交流に関する活動	11.2	6.5	14.8	21.3	8.2	8.6	6.3
その他	1.9	3.2	0.0	2.7	1.4	3.2	1.3

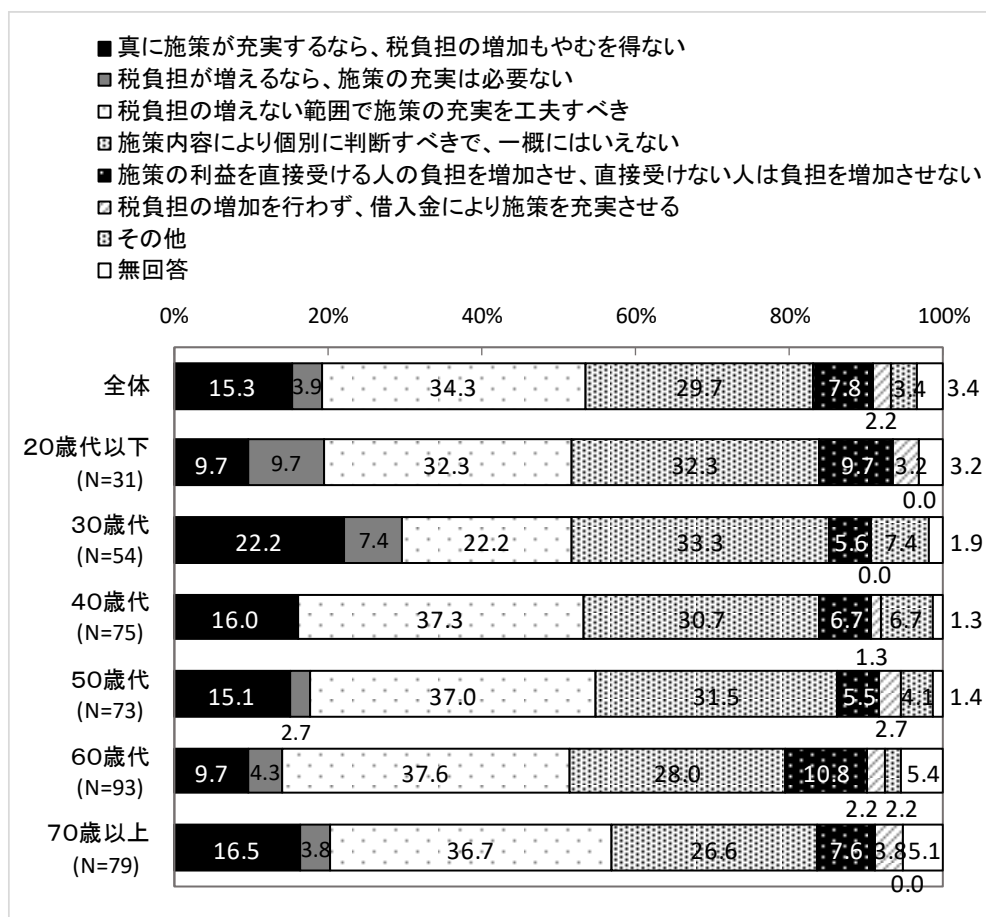
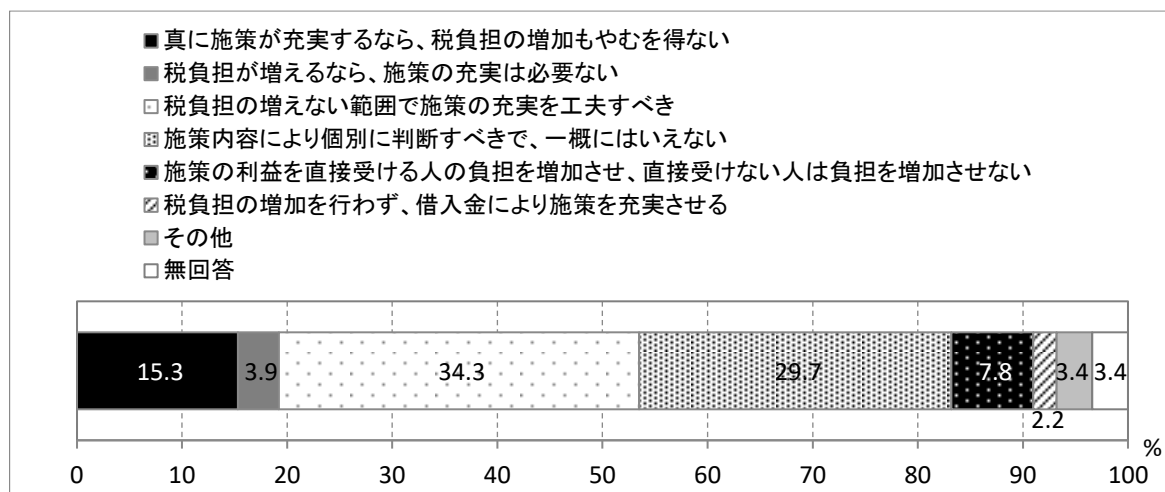
※太字は上位3項目、そのうち最も高い項目は**太字**

⑤施策の充実と税負担の関係の考え方

問 41 施策の充実には財源が必要な場合があります。将来を見据え、投資が必要な取り組みもあります。あなたは施策の充実と税負担の関係についてどのように思われますか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。
(N=411)

○「税負担の増えない範囲で施策の充実を工夫すべき」(34.3%)が最も高く、次いで「施策内容により個別に判断すべきで、一概にはいえない」(29.7%)、「真に施策が充実するなら、税負担の増加もやむを得ない」(15.3%)となっています。

○年代別では、30歳代で「真に施策が充実するなら、税負担の増加もやむを得ない」との意向が他の年代より高くなっています。



5 自由記述

問 42 最後に、彦根市の今後のまちづくりについてご意見がありましたらご自由にお書きください。

○「財源の有効活用・無駄をなくす」といった市政運営に関する意見が多くなっています。各取り組みに関しては、「道路整備・渋滞解消・交通安全対策・除雪対応」といった道路整備等に関する意見、「観光振興のための環境整備・まちなみづくり」といった意見が多くなっています。

〔自由記述の概要〕

* 回答者 172 人、分野別回答数 233 件

		(件)
都市基盤 生活環境	環境美化・環境保全	6
	生活環境整備（下水道、公園）	4
	公共交通の充実	14
	道路整備・渋滞解消・交通安全対策・除雪対応	27
	良好な住環境・景観づくり	8
	防災対策の充実	8
	77 公共施設（図書館、プール、官公庁）の充実	10
健康福祉 医療	障害者、高齢者、外国人等への配慮	4
	子育て支援の充実（医療費無償化等）	8
	24 医療の充実	12
産業	観光振興のための環境整備・まちなみづくり	24
	産業振興・商業施設の充実	9
	43 まちが活性化する取り組み・イベントの推進	10
市政運営	財源の有効活用・無駄をなくす（市庁舎再建への早期対応含む）	39
	スピード感をもった効果的な市政運営	18
	62 行政サービス・職員育成の充実	5
市民参加	市民参加の促進	5
	市民の意見の反映	4
	市民への情報発信の充実	3
	20 人材育成・市民意識の醸成	8
全体	住みやすいまち	7
合計		233

小学生

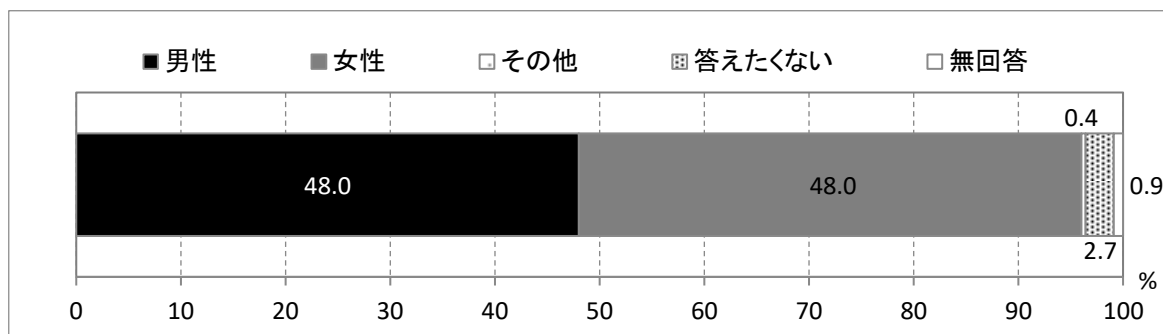
1 回答者の属性

(1) 性別

問1 あなたの性別の番号に○印をつけてください。

(N=452)

○回答者の性別は、「男性」が48.0%、「女性」が48.0%、「答えたくない」が2.7%となっています。

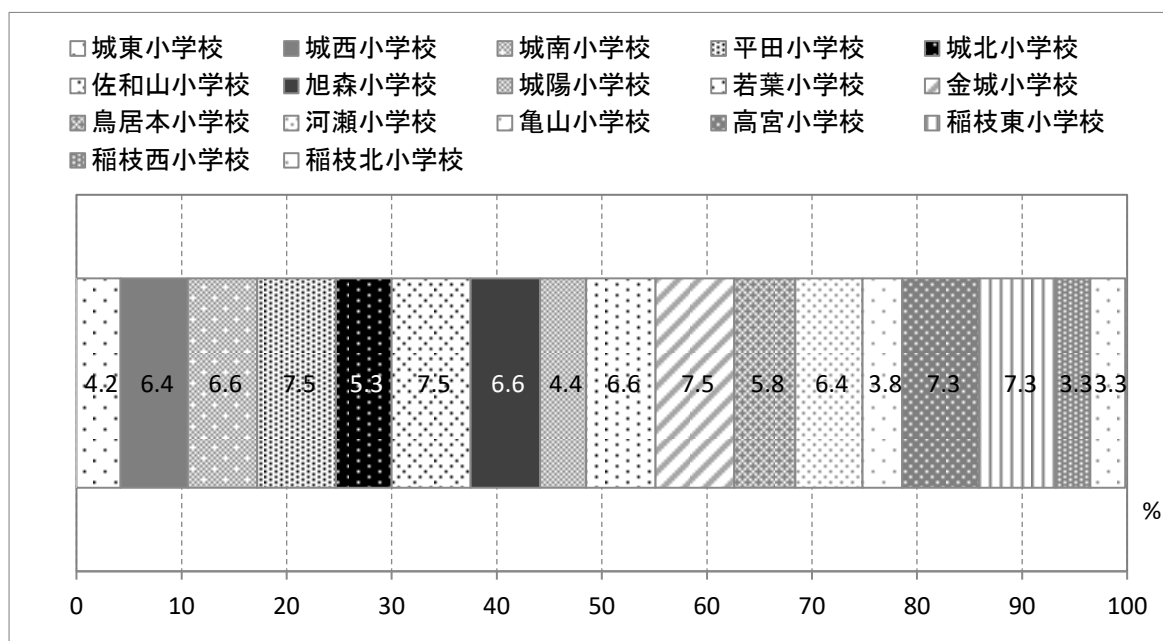


(2) 小学校

問2 あなたの小学校名の番号に○印をつけてください。

(N=452)

○おおむね各小学校から、平均して回答が得られています。

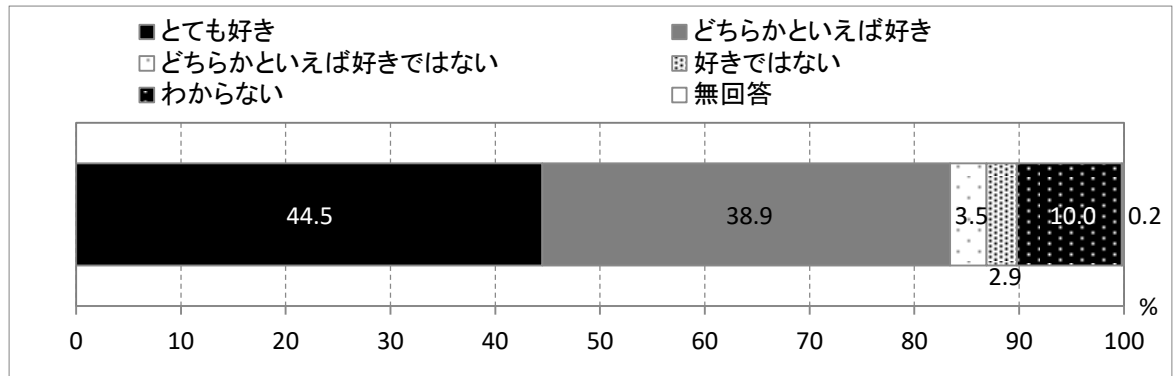


2 彦根市のことについて

(1) まちへの思い

問3 あなたは今住んでいる彦根市が好きですか。1つだけ○印をつけてください。(N=452)

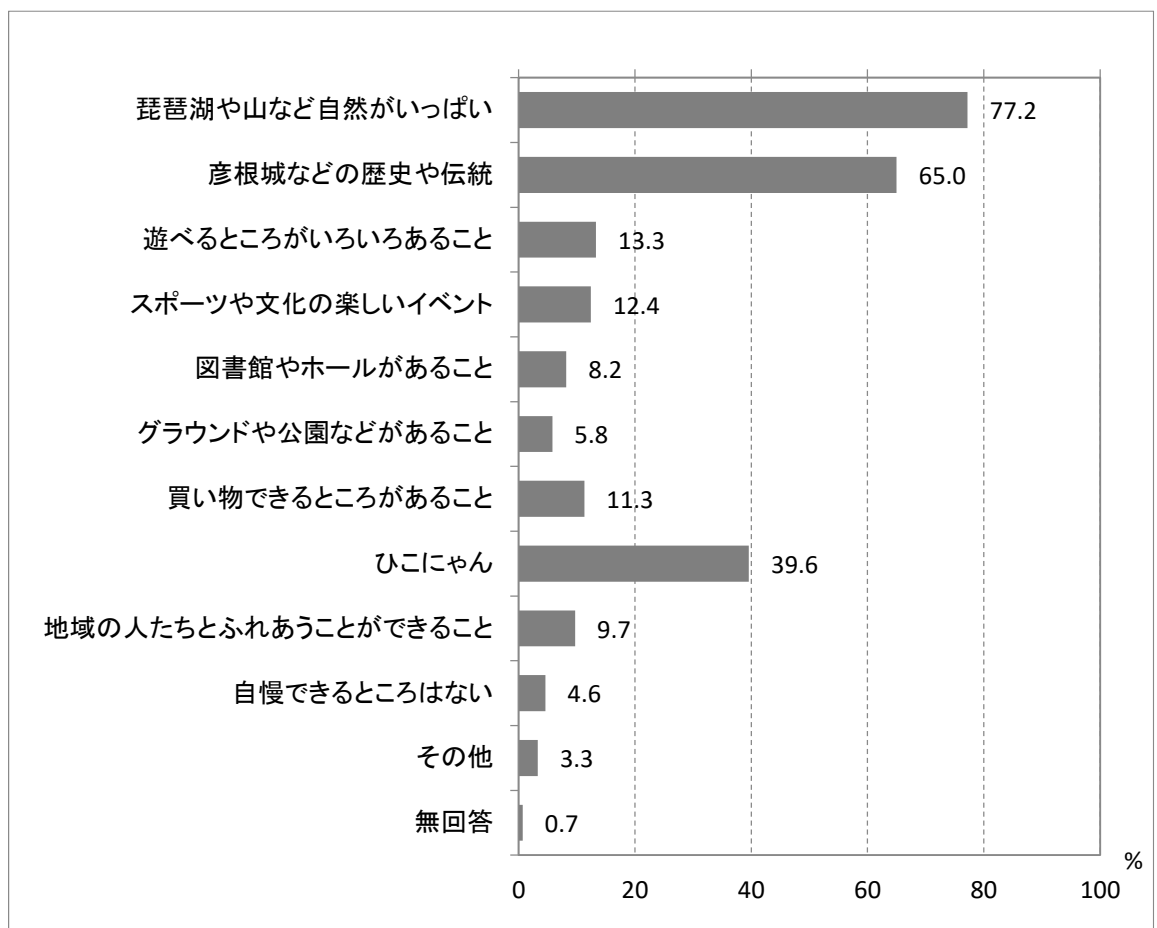
○83.4%が「とても好き」または「どちらかといえば好き」と回答しています。



(2) 彦根市の自慢

問4 彦根市で自慢できることはなんですか。3つまで○印をつけてください。(N=452)

○「琵琶湖や山など自然がいっぱい」(77.2%)が最も高く、次いで「彦根城などの歴史や伝統」(65.0%)、「ひこにゃん」(39.6%)となっています。



(3) よく行く場所やお祭り・イベント等について

問5 あなたが彦根市でよく行く場所やお祭り・イベントなど、特によく行くベスト3を書いてください。(※小学校や友達の家以外で書いてください。)

○回答の多い順番は異なるが、小学生のよく行く場所やお祭り・イベントのベスト3の中に、「大型複合商業施設」「広場・公園」「地蔵盆・お祭り」「花火大会」「スーパー・コンビニ」が挙げられています。

	ベスト1の回答	ベスト2の回答	ベスト3の回答
1位	大型複合商業施設	大型複合商業施設	地蔵盆・お祭り (春・夏・秋のお祭り、宿場祭、えびす講、ご当地キャラ博など)
2位	広場・公園 (荒神山公園、佐和山公園、金亀公園など)	地蔵盆・お祭り (春・夏・秋のお祭り、宿場祭、えびす講、ご当地キャラ博など)	大型複合商業施設
3位	地蔵盆・お祭り (春・夏・秋のお祭り、宿場祭、えびす講、ご当地キャラ博など)	広場・公園 (荒神山公園、佐和山公園、金亀公園など)	広場・公園 (荒神山公園、佐和山公園、金亀公園など)
4位	花火大会	スーパー・コンビニ	花火大会
5位	スーパー・コンビニ	花火大会	スーパー・コンビニ

※ベスト1からベスト3まで回答していただいています。それぞれについて、数の多い上位5項目を整理しています。

3 あなたや彦根市の将来のことについて

(1) 将来の夢

問6 あなたの将来の夢をひと言で書いてください。

○将来の夢として、「スポーツ選手」が最も多く、次いで「料理人、パティシエ」「学校の先生」「美容師、スタイリスト」となっています。

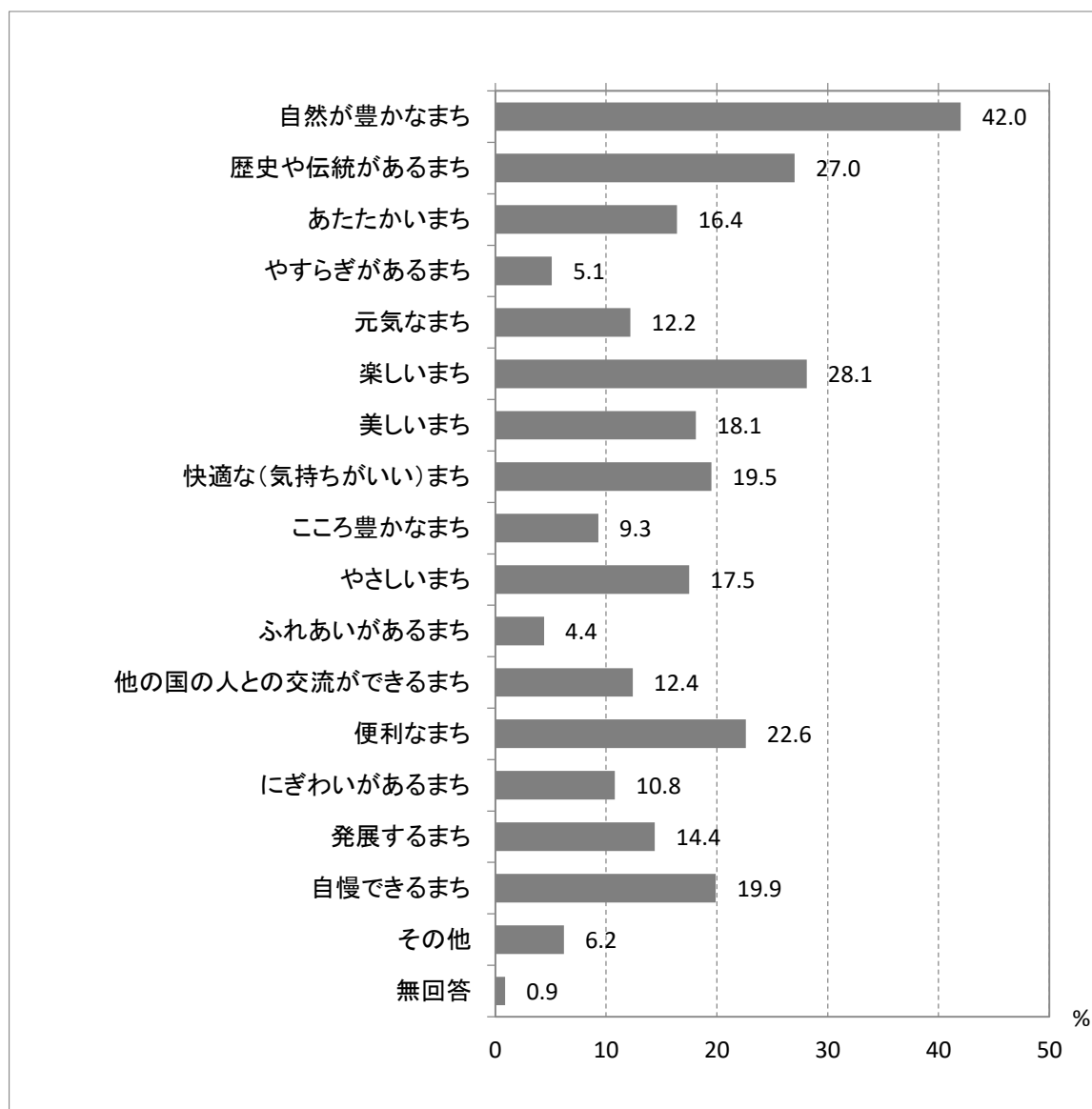
(件)

スポーツ選手（サッカー、野球など）	75
料理人、パティシエ	25
学校の先生	17
美容師、スタイリスト	17
医者、看護師	13
動物の飼育員、トリマー	12
建築家、大工	10
保育士	10
店舗経営者	10
ゲームクリエイター	9
歌手、女優、アイドル	8
ユーチューバー	8
会社員	8
(その他) 薬剤師、作家、弁護士、声優、漁師、パイロット・CA 自然を守る人、市役所職員、アーティスト など	

(2) 未来の彦根市について

問7 未来の彦根市をどのようなまちにしたいと思いますか。3つまで○印をつけてください。
(N=452)

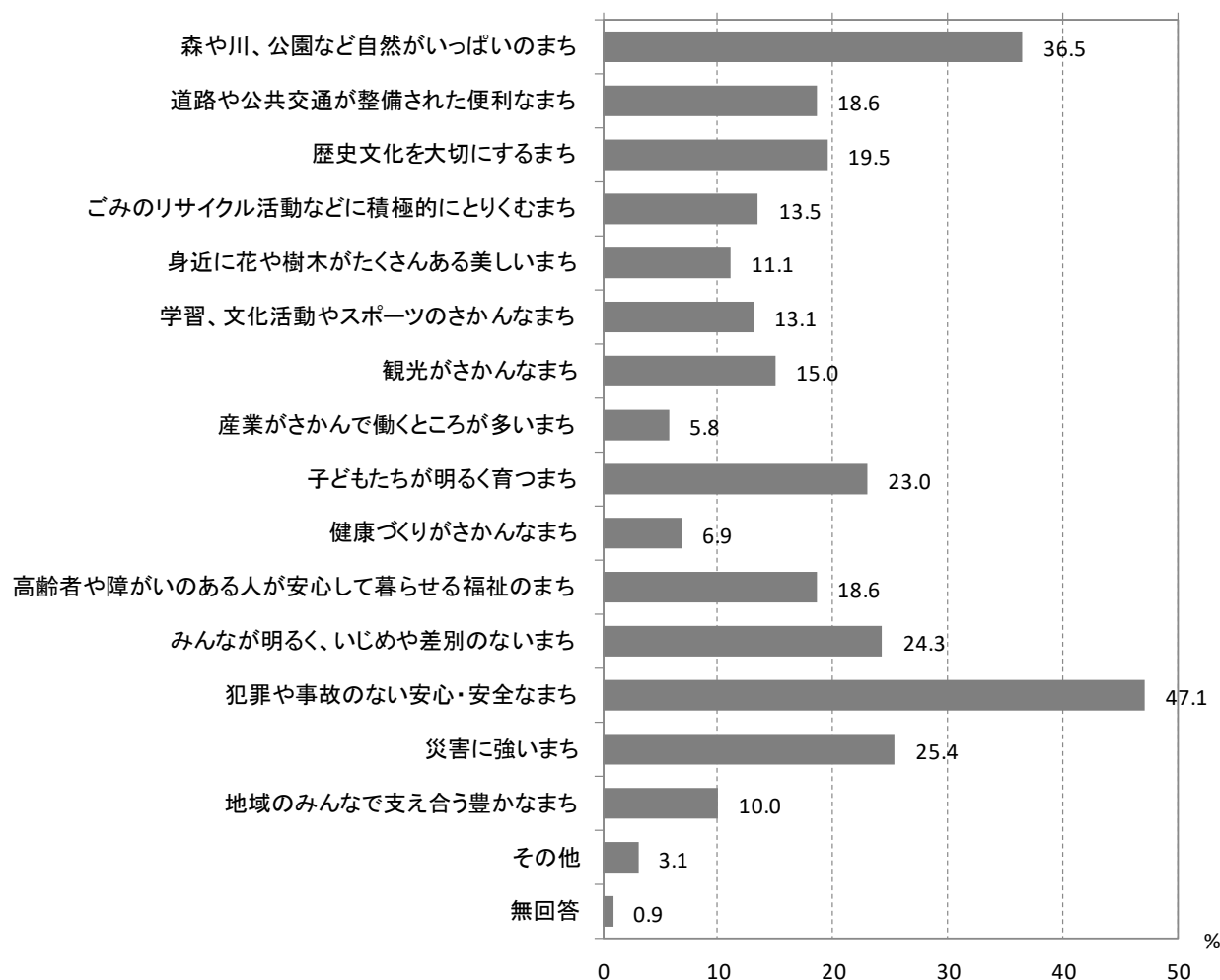
○「自然が豊かなまち」(42.0%) が最も高く、次いで「楽しいまち」(28.1%)、「歴史や伝統があるまち」(27.0%)、「歴史や伝統があるまち」(27.0%)、「便利なまち」(22.6%) となっています。



(3) 大人になっても住み続けたいと思えるまちについて

問8 みんなが大人になっても住み続けたいと思える彦根市は、どのようなまちですか。3つまで○印をつけてください。
(N=452)

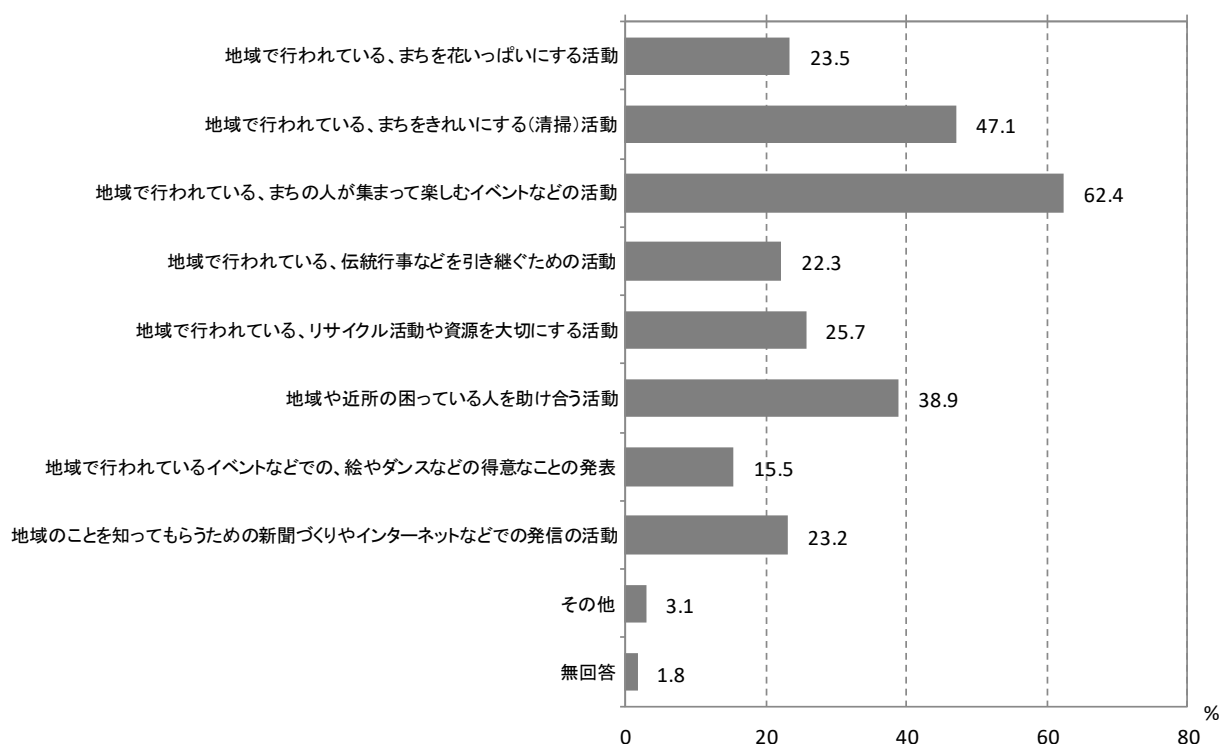
○「犯罪や事故のない安心・安全なまち」(47.1%) が最も高く、次いで「森や川、公園など自然がいっぱいのまち」(36.5%)、「災害に強いまち」(25.4%)、「みんなが明るく、いじめや差別のないまち」(24.3%)、「子どもたちが明るく育つまち」(23.0%) となっています。



(4) まちづくりへの参加意向について

問9 みんなが住み続けたいと思えるまちにしていけるために、みんなが参加して、協力し合っていくことが大切です。あなたが参加するとすれば、どのようなことができると思いますか。3つまで○印をつけてください。
(N=452)

○「地域で行われている、まちの人が集まって楽しむイベントなどの活動」(62.4%)が最も高く、次いで「地域で行われている、まちをきれいにする(清掃)活動」(47.1%)「地域や近所の困っている人を助け合う活動」(38.9%)となっています。



4 自由記述

問 10 最後に、彦根市のこれからのことについて、あなたが思うことなど、何でも自由に書いてください。

○「安心・安全なまち、犯罪等のないまち」といった意見が最も多くなっています。そのほか、環境に関する「自然がいっぱいのまち、自然環境の保全」、「琵琶湖・河川の美化、在来種の保護」、「まちの美化」、都市基盤・生活環境に関する「公園、遊び場、テーマパークの整備」、「図書館、スポーツ施設の整備」、また、まち全体に関して「自慢できるまち、有名なまち」といった意見が多くなっています。

[自由記述の概要]

* 回答者 364 人、分野別回答数 449 件

		(件)
環境	自然がいっぱいのまち、自然環境の保全	49
	琵琶湖・河川の美化、在来種の保護	20
	リサイクル・ゴミ削減	7
	105 まちの美化	29
都市基盤	都会になってほしい	12
生活環境	道路整備、交通安全対策	7
	公園、遊び場、テーマパークの整備	34
	図書館、スポーツ施設の整備	24
	129 安心・安全なまち、犯罪等のないまち	52
人権	いじめや差別がないまち	11
多文化共生	みんな仲良く	12
福祉	国際交流、外国の人や多様な人が一緒に楽しめる	11
	助け合えるまち	10
	誰にもやさしいまち	6
	57 平和なまち	7
歴史・文化	歴史、文化、伝統を大切に	14
27	彦根城を大切に、世界遺産に	13
産業	商業施設（ショッピングモールなど）の充実	15
	にぎやかなまち	8
	いろいろなイベントの実施	12
	44 働ける場所、いろいろな学校がある	9
市政運営	お金があるまち	7
15	お金を大切に	8
全体	自慢できるまち、有名なまち	27
	楽しいまち	13
	豊かなまち	7
	きれいなまち、美しいまち	12
	快適なまち	3
	あたたかいまち	4
	やさしいまち	3
	72 住みやすいまち	3
合計		449

外国人

※外国人の市民意識調査は、サンプル数が少ないため、実数でのとりまとめとします。

1 回答者の属性

(1) 性別

問1 あなたの性別の番号に○印をつけてください。

○回答者の性別は、以下のとおりです。

選択肢	回答数
1 男性	5
2 女性	3
3 その他	0
4 答えたくない	0
計	8

(2) 年齢

問2 あなたの年齢についてあてはまる年代の番号に○印をつけてください。

○回答者の年代は、「20 歳代」が最も多くなっています。

選択肢	回答数
1 20 歳未満	1
2 20 歳代	5
3 30 歳代	1
4 40 歳代	0
5 50 歳代	1
6 60 歳代	0
7 70 歳以上	0
計	8

(3) 職業

問3 あなたの現在の職業についてあてはまる番号に○印をつけてください。

○回答者の職業は、「学生」が最も多くなっています。

選択肢	回答数
1 農林漁業（主に）	0
2 建設業	0
3 製造業	1
4 卸売業、小売業	0
5 宿泊業、飲食業	1
6 医療、福祉	1
7 学生	3
8 家事専業	0
9 無職	0
10 その他	2
計	8

（※その他／英語教師、機械技師）

(4) 彦根市に住んだ理由

問4 あなたが彦根市を住む場所を選んだ理由についてあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

○回答者が彦根市を住む場所を選んだ理由としては、「就労」が最も多く、次いで「就学」となっています。

選択肢	回答数
1 就労	5
2 就学	3
3 研究・研修	0
4 結婚	0
5 環境がよかったから	1
6 観光で来て	0
7 その他	0

(5) 国籍

問5 あなたの国籍についてあてはまる番号に○印をつけてください。

○回答者の国籍は、「中国」が最も多くなっています。

選択肢	回答数
1 中国	3
2 ベトナム	1
3 ブラジル	1
4 フィリピン	0
5 韓国または朝鮮	0
6 アメリカ	0
7 その他	3
計	8

(※その他／ネパール、タイ、イギリス)

2 彦根市のことについて

(1) まちへの思い

問6 あなたは今住んでいる彦根市が好きですか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

○「とても好き」または「どちらかといえば好き」が多くなっています。

選択肢	回答数
1 とても好き	2
2 どちらかといえば好き	4
3 どちらかといえば好きではない	1
4 好きではない	1
5 わからない	0
計	8

(2) 彦根市のすばらしい点について

問7 あなたが彦根市に住んでいてすばらしいと思うことについて教えてください。いくつでも選んで番号に○印をつけてください。

○彦根市に住んでいてすばらしいと思うことについて、「琵琶湖や山などの自然」が最も多くなっています。次いで、数は少ないですが「彦根城などの歴史文化」「地域の人などがなじみやすい」「買い物や交通など生活するのに便利」も選択されています。

選択肢	回答数
1 琵琶湖や山などの自然	6
2 彦根城などの歴史文化	2
3 地域の人などがなじみやすい	2
4 日本語などの学習環境がよい	0
5 外国人との交流がさかん	0
6 買い物や交通など生活するのに便利	2
7 特にない	1
8 その他	0

(3) 住んでいて困っていることについて

問8 あなたが彦根市で住んでいて困っていることについて教えてください。いくつでも選んで番号に○印をつけてください。

○住んでいて困っていることについて、「地域の人などとの交流がない」が最も多くなっています。次いで、数は少ないですが、「地域の活動などの情報が不足」「福祉・医療などの情報が不足」「災害の時の対応がわからない」も選択されています。

選択肢	回答数
1 福祉・医療などの情報が不足	1
2 地域の活動などの情報が不足	2
3 災害の時の対応がわからない	1
4 地域の人などとの交流がない	4
5 特にない	1
6 その他	1

(※その他／公共交通)

(4) 外国人にもっと訪れてもらうための工夫について

問9 彦根市にもっと外国人に訪れてもらうために工夫したほうがよいと思うことについて教えてください。いくつでも選んで番号に○印をつけてください。

○外国人にもっと訪れてもらうための工夫について、「多言語化等、案内の充実」が最も多くなっています。次いで、「情報発信」「Wi-Fi 環境整備」となっています。

選択肢	回答数
1 情報発信	3
2 多言語化等、案内の充実	4
3 体験型の観光メニューづくり	2
4 観光スポットをめぐるコースづくり	0
5 飲食の充実	1
6 Wi-Fi 環境整備	3
7 その他	2

(※その他／・観光客の記憶に残るようにする。

・多言語情報または写真、サインが大切)

(5) 多文化共生の地域社会づくりについて

問10 さまざまな国籍、さまざまな文化を持つ市民が共生できる地域社会づくりにおいて、どのようなことが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。

○多文化共生の地域社会づくりについて、「外国語講座や交流機会など、国際理解を深めるための場の提供」が最も多くなっています。次いで、「外国人住民（大人）向けの日本語学習支援」「窓口への通訳配置や外国語による相談窓口の充実」「日本人市民への多文化共生社会実現に向けた啓発活動の充実」となっています。

選択肢	回答数
1 窓口への通訳配置や外国語による相談窓口の充実	3
2 外国人住民に向けた情報提供の充実	0
3 外国人住民の生活支援体制づくり	2
4 外国人住民（大人）向けの日本語学習支援	4
5 外国人児童生徒に対する日本語指導や相談活動の充実	0
6 日本人市民への多文化共生社会実現に向けた啓発活動の充実	3
7 外国語講座や交流機会など、国際理解を深めるための場の提供	5
8 その他	1

(※その他／日本人と共同で参加するイベント)

3 彦根市の将来のことについて

(1) まちへの期待

問 11 あなたは将来、彦根市がどのようなまちになるとよいと思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。

○期待する将来の彦根市のまちの姿について、「自然、風景、景観を生かした暮らしができる環境と共生したまち」と「国内外を含め多くの人々に温かく開かれた交流のまち」が最も多くなっています。次いで、「自然や歴史的資産を生かした観光とレクリエーションのまち」となっています。

選択肢	回答数
1 自然、風景、景観を生かした暮らしができる環境と共生したまち	4
2 生涯にわたって住み慣れた地域で生活できるやすらぎのまち	1
3 国内外を含め多くの人々に温かく開かれた交流のまち	4
4 自然や歴史的資産を生かした観光とレクリエーションのまち	3
5 多様な「働く場」がある活力あふれるまち	0
6 伝統文化と新しい文化の両方に触れられる芸術文化のまち	1
7 大学や研究機関などが集まった学術研究のまち	0
8 買い物時間を楽しく過ごせるにぎやかな商業のまち	1
9 市民がいきいきと主体的にまちづくりを進めるまち	1
10 その他	0

(2) まちづくりへの参加意向

問 12 あなたは将来、地域活動やまちづくりに参加するとしたら、どのような取組に参加しますか。いくつでも選んで番号に○印をつけてください。

○地域活動やまちづくりへの参加意向について、「知識を生かした観光ガイドなどの活動」と「国際交流に関する活動」が最も多くなっています。次いで、「地域の美化活動」「地域の防犯活動」「イベントや伝統行事に関する活動」となっています。

選択肢	回答数
1 地域の美化活動	2
2 困っている人を地域で支え合う活動	1
3 地域の防犯活動	2
4 地域の公共施設などの管理	0
5 子育てや介護など、福祉の活動	1
6 知識や経験を生かした生涯学習活動	1
7 イベントや伝統行事に関する活動	2
8 知識を生かした観光ガイドなどの活動	3
9 環境や資源問題などに関する活動	1
10 国際交流に関する活動	3
11 その他	0

Ⅲ 調査票

- 1 一般市民調査票
- 2 小学生調査票
- 3 外国人調査票

彦根市総合計画策定に向けての市民意識調査

調査の趣旨とご協力のお願い

令和元年 10 月

市民のみなさまへ

彦根市長 大久保 貴

平素は、市政の推進にご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、本市ではこの度、今後のまちづくりの指針となる、新たな彦根市総合計画を策定いたします。

そのため、本市にお住まいの満 18 歳以上の方々を対象に、彦根市のまちづくりに関するご意見をおうかがいし、次期「彦根市総合計画」の策定に反映してまいりたいと考えております。

つきましては、大変ご多用のことと存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

調査票の記入にあたって

1. この調査は、満 18 歳以上の住民基本台帳および外国人登録者で永住外国人の市民の中から、無作為に 1,000 人を選び、ご協力をお願いしています。あて名のご本人がお答えください。なお、ご記入にあたっては、ご家族、ご友人などに代筆していただいても結構です。
2. ご記入いただきました内容は、すべて統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありませんので、率直なお答えとご意見をお聞かせください。
3. 調査票は、令和元年 10 月 1 日現在の内容をご記入ください。
4. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、お名前を書かずに、令和元年 11 月 1 日までにご返送くださいますようお願いいたします。

【本調査に関するお問い合わせ先】

彦根市役所 企画振興部 企画課 電話 0749-30-6101

F A X 0749-22-1398

あなた自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別の番号に○印をつけてください。

- | | | | |
|------|------|-------|----------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 | 4 答えたくない |
|------|------|-------|----------|

問2 あなたの年齢についてあてはまる年代の番号に○印をつけてください。

- | | | |
|---------|--------|--------|
| 1 20歳未満 | 2 20歳代 | 3 30歳代 |
| 4 40歳代 | 5 50歳代 | 6 60歳代 |
| 7 70歳以上 | | |

問3 あなたの現在の職業についてあてはまる番号に○印をつけてください。

- | | |
|-------------|--------------------------------|
| 1 農林漁業（主に） | 2 自営業（商工サービス業、自由業など） |
| 3 家族従業 | 4 会社経営・団体役員 |
| 5 正規の職員・従業員 | 6 パート・アルバイト・契約社員・派遣社員 |
| 7 学生 | 8 家事専業 |
| 9 無職 | 10 その他（ ） |

問4 あなたがお住まいの小学校区の番号に○印をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|----------|
| 1 城東 | 2 城西 | 3 城南 |
| 4 平田 | 5 城北 | 6 佐和山 |
| 7 旭森 | 8 城陽 | 9 若葉 |
| 10 金城 | 11 鳥居本 | 12 河瀬 |
| 13 亀山 | 14 高宮 | 15 稲枝東 |
| 16 稲枝西 | 17 稲枝北 | 18 わからない |

問5 あなたが同居されている家族の構成についてあてはまる番号に○印をつけてください。

- | | | |
|----------|------------|------------|
| 1 ひとり暮らし | 2 夫婦・パートナー | 3 二世帯（親と子） |
| 4 三世帯 | 5 その他 | |

問6 あなたの彦根市内での居住年数についてあてはまる番号に○印をつけてください。

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 1 1年未満 | 2 1～5年未満 | 3 5～10年未満 |
| 4 10～15年未満 | 5 15～20年未満 | 6 20年以上 |

彦根市での暮らし全体についておたずねします。

問7 あなたは彦根市が好きですか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 とても好き | 2 どちらかといえば好き |
| 3 どちらかといえば好きではない | 4 好きではない |
| 5 わからない | |

問8 あなたは彦根市に住み続けたいと思いますか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 住み続けたい | 2 どちらともいえない |
| 3 市外へ移りたい | 4 その他（具体的に ） |

問9 あなたは彦根市の居住環境について、どのように思われますか。それぞれの項目についてa～eより1つだけ選んで記号に○印をつけてください。

	そう 思う	思いど ちらば そかと うと	ど ちらと も い え な い	思いど ちらば そかと うと	い そ う 思 わ な い
1 水や緑などの自然環境がよい	a	b	c	d	e
2 歴史的景観や湖岸など街並みや風景が美しい	a	b	c	d	e
3 ごみ処理体制が整っている	a	b	c	d	e
4 下水道が整備されている	a	b	c	d	e
5 河川・排水路が整備されている	a	b	c	d	e
6 歩道・自転車道が整備されている	a	b	c	d	e
7 信号機・ガードレールなどの交通安全施設が整備されている	a	b	c	d	e
8 火事や地震、水害などに対する防災体制が整っている	a	b	c	d	e
9 医院や病院などの医療施設が整備されている	a	b	c	d	e
10 高齢者・障害者・子どもなどの福祉施設が整備されている	a	b	c	d	e
11 高齢者・障害者・子育て家庭が外出しやすい環境が整っている	a	b	c	d	e
12 道路が整備されている	a	b	c	d	e
13 鉄道・バスなどの公共交通機関の便利がよい	a	b	c	d	e
14 買物が便利である	a	b	c	d	e
15 学校等の教育施設が整備されている	a	b	c	d	e
16 公民館や集会所などが整備されている	a	b	c	d	e
17 図書館、博物館などの文化施設が整備されている	a	b	c	d	e
18 公園やスポーツ施設が整備されている	a	b	c	d	e
19 働きがいのある職場が多い	a	b	c	d	e
20 市民がまちづくりに積極的に参加している	a	b	c	d	e
21 自治会活動などを中心に地域社会としてのまとまりがある	a	b	c	d	e

問 10 あなたは「彦根の誇れるところ」と聞いたときに何を思い浮かべますか。
2つまで書いてください。

1 _____

2 _____

問 11 あなたは将来、彦根市がどのようなまちになるとよいと思われますか。2つまで
選んで番号に○印をつけてください。

- 1 自然、風景、景観を生かした暮らしができる環境と共生したまち
- 2 生涯にわたって住み慣れた地域で生活できるやすらぎのまち
- 3 国内外を含め多くの人々に温かく開かれた交流のまち
- 4 自然や歴史的資産を生かした観光とレクリエーションのまち
- 5 多様な「働く場」がある活力あふれるまち
- 6 伝統文化と新しい文化の両方に触れられる芸術文化のまち
- 7 大学や研究機関などが集まった学術研究のまち
- 8 買い物時間を楽しく過ごせるにぎやかな商業のまち
- 9 市民がいきいきと主体的にまちづくりを進めるまち
- 10 その他（具体的に _____）

彦根市のまちづくりにおける「環境・都市基盤」に関することをおたずねします。

問 12 あなたは、「彦根市は、水と緑の美しいまちである」と思いますか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|-------------|------------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらともいえない | 4 どちらかといえばそう思わない |
| 5 そう思わない | |

問 13 彦根市では「自然と歴史をいかし、恵みゆたかな環境をはぐくむまち彦根」を環境像（目標）として取り組みを進めています。今後どのようなことが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。

- 1 森林や河川、湖岸など、自然環境・生物環境の保全
- 2 大気汚染や騒音、汚水防止などの環境対策
- 3 ごみの減量化や安全なごみ処理、リサイクルの推進
- 4 日常生活や事業活動の中でのエネルギー対策等の推進
- 5 環境にやさしい交通システムの形成
- 6 地域の環境と一体となった生活文化の再発見・推進
- 7 環境保全に向けた市民団体活動の推進と団体間の連携の促進
- 8 学校、地域、家庭等における環境教育、環境学習の推進
- 9 その他（具体的に

)

問 14 環境をよくしていくためにあなたはどのような行動を進めていくべきだと思いますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。

- 1 自然観察会への参加など、自然に親しむ機会を増やす
- 2 水路など身近なところでの清掃活動や保全活動へ参加、協力する
- 3 家庭などで花や樹木を栽培するなど、緑化を促進する
- 4 家庭排水に気を配る
- 5 むやみに自動車を使用せず、徒歩、自転車の利用、公共交通機関の利用に努める
- 6 むだな水を使わない、省エネルギー商品を使う、こまめに電源を切るなど省エネルギーのライフスタイルをすすめる
- 7 ごみ減量に努める、買い物袋を持参する、リサイクルをすすめる
- 8 食べ残しをしないように、食生活に気を配る
- 9 その他（具体的に

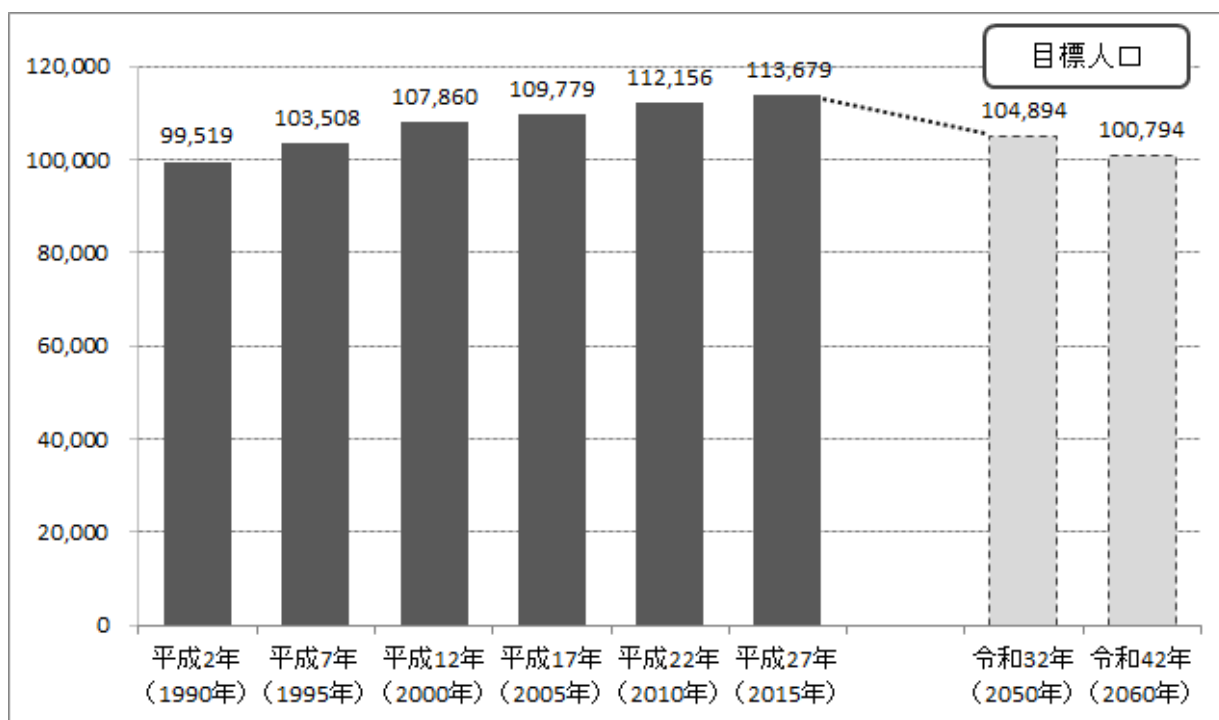
)



問 15 人口減少社会・超少子高齢化社会の本格的な到来への対応として、彦根市としてどのようなことが必要であると思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。

- 1 コンパクトシティの推進
- 2 公共交通環境の充実
- 3 農村集落や中山間集落におけるコミュニティの維持向上
- 4 公園・緑地の整備・維持管理
- 5 産業環境の充実
- 6 歴史的文化遺産、自然環境などを生かした良好な景観形成
- 7 大規模な自然災害に備えた防災・減災対策
- 8 産業、観光、福祉など様々な分野の連携の強化
- 9 福祉施策の充実
- 10 協働のまちづくりの推進
- 11 その他（具体的に

)



平成 27 年 (2015 年) までは国勢調査による実績値

目標人口は「彦根市まち・ひと・しごと創生総合戦略 人口ビジョン」(平成 28 年(2016 年)3 月)より

彦根市のまちづくりにおける「文化・産業」に関することをおたずねします。

問 16 あなたは、彦根市が「歴史と伝統を生かした文化的で活気のあるまちである」と思いますか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|-------------|------------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらともいえない | 4 どちらかといえばそう思わない |
| 5 そう思わない | |

問 17 あなたは文化・芸術の振興について、今後どのようなことが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。

- 1 ひこね市文化プラザの機能充実
- 2 公民館等の市民が利用しやすい運営の促進
- 3 市民の文化・芸術に関する発表の機会の充実
- 4 子どもたちが上質な芸術にふれ、創作活動等に親しむ機会の充実
- 5 舟橋文学賞の全国発信
- 6 図書館の収集資料の整理・保存・公開
- 7 文化・芸術に関する市民活動の支援
- 8 文化・芸術に関する人材育成
- 9 その他（具体的に

問 18 彦根市は、歴史・文化資源に恵まれたまちです。あなたは歴史・文化資源の保存と活用においてどのようなことが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。

- 1 歴史的建造物などの指定文化財の保存修理
- 2 指定文化財の拡充
- 3 彦根城をはじめとする歴史・文化資源の保存・活用
- 4 城下町、宿場町のまちなみ整備
- 5 彦根城の世界遺産登録に向けた取り組みの推進
- 6 文化財に親しめる、まち歩きなどの取り組みの実施
- 7 文化財の保存・活用に関する市民の意識づくり
- 8 文化財ボランティアの育成
- 9 その他（具体的に



問 19 あなたは農林水産業を振興していくために、どのような取り組みが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。

- 1 農林水産資源（農地、山林、漁場など）の保全・確保
- 2 地産地消の推進
- 3 有害鳥獣対策の推進
- 4 生産基盤・経営基盤の安定化、販路拡大等の支援
- 5 商工との連携などによる新たな加工品の開発
- 6 特産品づくり
- 7 観光・レクリエーションと一体となった農林水産業の振興
- 8 福祉、教育等との連携による多面的機能の保全・活用
- 9 後継者・新たな就業希望者の育成・支援
- 10 移住等の施策と連携した担い手確保の促進
- 11 その他（具体的に

）



問 20 あなたは工業を振興していくために、どのような取り組みが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 地場産業の振興 | 2 既存企業・中小企業の育成 |
| 3 技術者や研究者などの人材育成 | 4 企業立地・産業集積の促進 |
| 5 異業種間交流支援 | 6 大学等との連携促進 |
| 7 その他（具体的に | |

）

問 21 あなたは商業を振興していくために、どのような取り組みが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1 魅力ある商店街づくり | 2 大型スーパーや複合商業施設の出店 |
| 3 中小小売商業サービス事業者の育成 | 4 観光事業との連携による物産事業の振興 |
| 5 異業種間交流支援 | 6 大学等との連携促進 |
| 7 その他（具体的に | |

）

問 22 あなたは、今後、観光振興においてどのようなことが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。

- 1 城下町としての景観づくり
- 2 琵琶湖岸を活用した観光メニューづくり
- 3 体験型の観光メニューづくり
- 4 食が楽しめる彦根をテーマとした観光メニューづくり
- 5 多言語対応など外国人観光客のニーズに対応した環境整備
- 6 市民、地域組織等の参画促進による総力を挙げての観光振興
- 7 ターゲットを意識したプロモーションの展開
- 8 広域観光連携の促進
- 9 観光客が快適に移動できる手段がある
- 10 その他（具体的に

)

問 23 観光振興において、あなたはどのような行動を進めていくべきだと思いますか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

- 1 歴史資源に足を運ぶ
- 2 交流イベントなどへの参加
- 3 自らの得意なことを生かして観光まちづくりへの参加
- 4 市内の飲食店等の利用
- 5 発信の協力
- 6 その他（具体的に

)



彦根市のまちづくりにおける「人権・福祉・安全」に関することをおたずねします。

問 24 あなたは、彦根市が「人権を尊び、お互いに助けあい、信頼しあうまちである」と思いますか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

- | | | | |
|---|-----------|---|----------------|
| 1 | そう思う | 2 | どちらかといえばそう思う |
| 3 | どちらともいえない | 4 | どちらかといえばそう思わない |
| 5 | そう思わない | | |

問 25 彦根市では市民一人ひとりの人権が尊重され、誰もが自分らしく輝きながら、夢や希望をもって安心して暮らせるまちをめざして、人権施策を進めています。あなたは人権施策を推進するためには、どのようなことが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。

- 1 人権教育の推進
- 2 人権啓発の推進
- 3 人権教育・人権啓発に取り組む指導者の発掘と養成
- 4 市民の主体的な活動の支援
- 5 人権擁護体制の充実
- 6 「地域総合センター人権・福祉交流センター（WAっとねす春日）」活動の充実
- 7 その他（具体的に _____）

問 26 彦根市では「男女共同参画を推進する彦根市条例」を2017年に制定し、「互いに個性を尊重しあい 一人ひとりが輝いて生きられるまち ひこね」の実現に取り組んでいます。あなたは男女共同参画施策を推進するためには、どのようなことが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。

- 1 家庭内における家族の家事分担の見直し
- 2 学校における男女平等観に立った教育の推進
- 3 地域等におけるしきたりや習慣の見直し
- 4 男女が対等に参画しての意思決定の促進
- 5 男女が共に能力を発揮できる働き方や職場づくり（啓発など）
- 6 男女間での暴力防止の推進（啓発、相談事業など）
- 7 市、市民、事業者等の協働による男女共同参画社会の実現
- 8 その他（具体的に _____）

問 27 彦根市では市民一人ひとりが、国籍や民族などによる文化的違いや多様な価値観を認め合いながら、共に安心して暮らすことができる多文化共生社会をめざして、施策を進めています。あなたは多文化共生施策を推進するためには、どのようなことが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。

- 1 市役所、病院などへの通訳の配置や外国語による相談窓口の充実
- 2 外国人住民に向けた情報提供の充実
- 3 外国人住民の生活支援体制づくり
- 4 外国人住民（大人）向けの日本語学習支援
- 5 外国人児童生徒に対する日本語指導や相談活動の充実
- 6 日本人市民への多文化共生社会実現に向けた啓発活動の充実
- 7 外国語講座や交流機会など、国際理解を深めるための場の提供
- 8 その他（具体的に

)

問 28 あなたは福祉施策を充実させるためには、どのようなことが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。

- 1 健康の維持増進
- 2 ご近所での声かけ・助け合いの促進
- 3 地域での見守り活動や交流の場づくりなど支えあいの地域づくりの促進・支援
- 4 高齢者・障害者・子どもなどにかかる人材育成やボランティア活動団体等の育成・支援
- 5 多様な担い手や関係機関の連携体制づくり
- 6 相談体制の充実
- 7 高齢者や障害者などの要介護家庭、子育て家庭への支援体制の充実
- 8 当事者及び介護者や子育てを行う人の就労支援
- 9 高齢者・障害者・子育て家庭の外出環境や住環境整備の支援
- 10 福祉教育の推進
- 11 介護士、保育士など福祉に携わる人材の育成
- 12 その他（具体的に

)



問 29 あなたは地域医療体制の整備充実を推進するためには、どのようなことが重要と
思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。

- 1 在宅医療福祉の充実
- 2 市立病院の機能充実
- 3 救急医療の充実
- 4 医師等の医療従事者の確保
- 5 病院と診療所の役割の理解、適切な受診の促進（啓発など）
- 6 各病院、医師会、歯科医師会、薬剤師会等の関係機関の医療連携の促進
- 7 その他（具体的に

）

問 30 あなたは、災害等に強いまちづくりのために、どのような取り組みが重要と思わ
れますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。

- 1 住民同士の助け合いなど、地域住民による自主防災体制等の整備・支援
- 2 地域安全活動の促進
- 3 災害発生時の情報収集・伝達体制の充実
- 4 消防などの防災関係機関の強化
- 5 救助・救急活動体制の強化
- 6 建物や橋などの施設や住宅の安全性の向上
- 7 家庭の備蓄や家族の安否確認方法などの災害時に対する備えの促進
- 8 日頃からの地域や学校、職場での避難訓練の励行
- 9 災害時避難行動要支援者※に対する支援体制の整備
- 10 河川や水路の改修や土砂災害対策の推進
- 11 その他（具体的に

）

※災害時避難行動要支援者…高齢者、障害者、乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する方（要配慮者）
のうち、災害発生時の避難等に特に支援を要する方

問 31 災害等に強いまちづくりを進めていくために、あなたはどのような行動を進めて
いくべきだと思いますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。

- 1 ご近所での知り合いづくり
- 2 備蓄品などの災害への備え
- 3 災害時の対応についての習得、家族での話し合い
- 4 地域での防犯活動への参加
- 5 避難訓練など防災活動への参加
- 6 その他（具体的に

）



彦根市のまちづくりにおける「生涯学習・次世代育成・市民交流」に関することをおたずねします。

問 32 あなたは、彦根市が「生涯を通して生きがいに満ちたまちである」と思いますか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

- | | | | |
|---|-----------|---|----------------|
| 1 | そう思う | 2 | どちらかといえばそう思う |
| 3 | どちらともいえない | 4 | どちらかといえばそう思わない |
| 5 | そう思わない | | |

問 33 あなたは生涯を通じた生きがいづくりのために、どのような取り組みが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。

- 1 生涯学習活動全般についての情報提供システムの充実
- 2 趣味・教養からスポーツまで、幅広い内容の機会の提供
- 3 学んだ成果を生かせる環境づくり
- 4 社会教育施設（公民館、図書館等）の機能充実
- 5 スポーツ・レクリエーション活動への参加の促進
- 6 競技スポーツの観戦機会の拡充
- 7 スポーツ施設の充実と適正な維持管理
- 8 産・学・行政の連携による機会の充実
- 9 市内にある大学などの施設・人材の活用
- 10 指導者の育成
- 11 その他（具体的に

）

問 34 子どもが健やかに育つためにどのようなことが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。

- 1 安心して子どもを産み育てられる環境の整備
- 2 保育所等の受入枠の拡大や預かり保育などの多様な保育サービスの充実
- 3 保育所・幼稚園・小学校の連携の充実や障害のある子ども等への支援など就学前教育・保育の充実
- 4 小・中学校における教育・教育環境の充実
- 5 子どもの心と身体の健康の保持増進
- 6 いじめや不登校、虐待等に対する対策
- 7 ひとり親家庭支援の推進
- 8 子どもの居場所づくり活動の推進
- 9 青少年育成活動、非行防止と相談活動の推進
- 10 青少年の社会参加の促進
- 11 登下校時や遊び場において安全で安心できる環境づくり
- 12 放課後児童クラブの充実
- 13 その他（具体的に

）

問 35 国際交流の推進において、どのようなことが重要と思われますか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

- 1 姉妹都市、友好都市等との交流推進
- 2 市民による国際交流活動の推進
- 3 留学生支援等による国際協力の推進
- 4 国際交流イベント等の実施
- 5 国際交流都市の拡大
- 6 その他（具体的に

）



問 36 あなたは、地域での活動や行事などへの参加についてどのように思われますか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

- 1 できるだけ参加したい
- 2 興味や関心のあるものには参加したい
- 3 やむをえないもの以外は参加したくない
- 4 できれば参加したくない
- 5 その他（具体的に

）

市民の市政参加についておたずねします。

問 37 あなたは市民の意見などが市政に反映されていると思われますか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 十分反映されている | 2 まあまあ反映されている |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり反映されていない |
| 5 ほとんど反映されていない | 6 その他（具体的に |

)

問 38 あなたは市民の意見などが市政に反映する取り組みとして、今後どのようなことの充実が必要と思われますか。3つまで選んで番号に○印をつけてください。

- 1 「広報ひこね」などによるきめ細かな市政情報の提供
- 2 ホームページやフェイスブック・インスタグラムなどによる市政情報の発信
- 3 アンケート調査などによる市民意向の把握
- 4 要望・提言制度の活用
- 5 市施策に関する公聴会などの開催
- 6 施策について市民の意見を聞くパブリックコメントの実施
- 7 市政に関して市民が意見交換できる市民会議などの実施
- 8 市の審議会・各委員会などへの市民の参画
- 9 公文書などの情報公開の推進
- 10 その他（具体的に

)

問 39 市民主体、地域主体の取り組みを進めるために、あなたは、どのようなことが必要だと思いますか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1 市民同士が交流できる場づくり | 2 市民の取り組みを応援する仕組みづくり |
| 3 地域自治を応援する仕組みづくり | 4 市民や地域の取り組みの発信 |
| 5 その他（具体的に | |

)

問 40 あなたは、地域活動やまちづくりに参加するとしたら、どのような取り組みに参加しますか。いくつでも選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 地域の美化活動 | 2 困っている人を地域で支え合う活動 |
| 3 地域の防犯活動 | 4 地域の公共施設などの管理 |
| 5 子育てや介護など、福祉の活動 | 6 知識や経験を生かした生涯学習活動 |
| 7 イベントや伝統行事に関する活動 | 8 知識を生かした観光ガイドなどの活動 |
| 9 環境や資源問題などに関する活動 | 10 国際交流に関する活動 |
| 11 その他（具体的に | |

)

問 41 施策の充実には財源が必要な場合があります。将来を見据え、投資が必要な取り組みもあります。あなたは施策の充実と税負担の関係についてどのように思われますか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

- 1 真に施策が充実するなら、税負担の増加もやむを得ない
- 2 税負担が増えるなら、施策の充実は必要ない
- 3 税負担の増えない範囲で施策の充実を工夫すべき
- 4 施策内容により個別に判断すべきで、一概にはいえない
- 5 施策の利益を直接受ける人の負担を増加させ、直接受けない人は負担を増加させない
- 6 税負担の増加を行わず、借入金により施策を充実させる
- 7 その他（具体的に _____）

最後に

問 42 最後に、彦根市の今後のまちづくりについてご意見がありましたらご自由にお書きください

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて 11 月 1 日（金）までに投函お願いします。

彦根市まちづくりについての 子どもアンケート

〈5年生のみなさんへ〉



彦根市では、これまでのまちづくりの計画に続いて、新しいまちの未来を描く計画をつくることになりました。この計画は、5年生のみなさんも含め、市民みんなが参加する彦根市のまちづくり計画です。

このアンケートのみなさんの回答は、これからつくる計画の内容にいかされる大切なものです。みなさんの考えを将来の彦根市のまちづくりに役立てるため、アンケートにご協力ください。

ーアンケートの答え方についてー

○各問について、あなたの考えを答えてください。

○問によって、あなたの考えにあてはまる番号を選んで○印をつけてもらうものと、あなたの考えなどを記入してもらうものがあります。

※記入いただいた内容は、すべて統計的に処理し、
調査の目的以外に使用することはありません。

【アンケート調査を行っているところ】

彦根市役所 企画振興部 企画課 電話 0749-30-6101
FAX 0749-22-1398

あなたのことについてお聞きます。

問1 あなたの性別の番号に○印をつけてください。

- 1 男性 2 女性 3 その他 4 答えたくない

問2 あなたの小学校名の番号に○印をつけてください。

- | | | |
|------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 1 城東 <small>じょう</small> 小学校 | 2 城西 <small>じょう</small> 小学校 | 3 城南 <small>じょう</small> 小学校 |
| 4 平田小学校 | 5 城北 <small>じょう</small> 小学校 | 6 佐和山小学校 |
| 7 旭森小学校 | 8 城陽 <small>じょう</small> 小学校 | 9 若葉小学校 |
| 10 金城 <small>じょう</small> 小学校 | 11 鳥居本小学校 | 12 河瀬小学校 |
| 13 亀山小学校 | 14 高宮小学校 | 15 稲枝東小学校 |
| 16 稲枝西小学校 | 17 稲枝北小学校 | |

彦根市のことについてお聞きます。

問3 あなたは今住んでいる彦根市が好きですか。 1つだけ○印をつけてください。

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 とても好き | 2 どちらかといえば好き |
| 3 どちらかといえば好きではない | 4 好きではない |
| 5 わからない | |

問4 今住んでいる彦根市で自慢じまんできることはなんですか。 3つまで○印をつけてください。

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1 琵琶湖や山など自然がいっぱい | 2 彦根城 <small>じょう</small> などの歴史や伝統 |
| 3 遊べるところがいろいろあること | 4 スポーツや文化の楽しいイベント |
| 5 図書館やホールがあること | 6 グラウンドや公園などがあること |
| 7 買い物できるところがあること | 8 ひこにゃん |
| 9 地域 <small>ちいき</small> の人たちとふれあうことができること | 10 自慢 <small>じまん</small> できるところはない |
| | 11 その他（ ） |

問5 あなたが彦根市でよく行く場所やお祭り・イベントなど、特によく行くベスト3を書いてください。（※小学校や友だちの家以外で書いてください。）

- | | |
|----|--------------------------|
| 1番 | （ ） |
| 2番 | （ ） |
| 3番 | （ ） |

あなたや彦根市の^{しょうらい}将来のことについてお聞きします。

問6 あなたの将来の夢をひと言で書いてください。

問7 未来の彦根市をどのようなまちにしたいと思いますか。 3つまで○印をつけてください。

- | | | | |
|----|----------------------------|----|----------------------------|
| 1 | 自然が豊かなまち | 2 | 歴史や伝統があるまち |
| 3 | あたたかいまち | 4 | やすらぎがあるまち |
| 5 | 元気なまち | 6 | 楽しいまち |
| 7 | 美しいまち | 8 | 快適な（気持ちがいい）まち |
| 9 | こころ豊かなまち | 10 | やさしいまち |
| 11 | ふれあいがあるまち | 12 | 他の国の人との交流ができるまち |
| 13 | 便利なまち | 14 | にぎわいがあるまち |
| 15 | <small>はってん</small> 発展するまち | 16 | <small>じまん</small> 自慢できるまち |
| 17 | その他（ ） | | |

問 8 みんなが大人になっても住み続けたいと思える彦根市は、どのようなまちですか。
3つまで○印をつけてください。

- 1 森や川、公園など自然がいっぱいのまち
- 2 道路や公共交通が整備された便利なまち
- 3 歴史文化を大切にするまち
- 4 ごみのリサイクル活動などに積極的にとりくむまち
- 5 身近に花や樹木がたくさんある美しいまち
- 6 学習、文化活動やスポーツのさかんなまち
- 7 観光がさかんなまち
- 8 産業がさかんで働くところが多いまち
- 9 子どもたちが明るく育つまち
- 10 健康づくりがさかんなまち
- 11 高齢者や障がいのある人が安心して暮らせる福祉のまち
- 12 みんなが明るく、いじめや差別のないまち
- 13 犯罪や事故のない安心・安全なまち
- 14 災害に強いまち
- 15 地域の人みんなで支え合う豊かなまち
- 16 その他（具体的に

問 9 みんなが住みたいと思えるまちにしていけるために、みんなが参加して、協力し合っていくことが大切です。あなたが参加するとすれば、どのようなことができると思いますか。3つまで○印をつけてください。

- 1 地域で行われている、まちを花いっぱいにする活動
- 2 地域で行われている、まちをきれいにする（清掃）活動
- 3 地域で行われている、まちの人が集まって楽しむイベントなどの活動
- 4 地域で行われている、伝統行事などを引き継ぐための活動
- 5 地域で行われている、リサイクル活動や資源を大切にする活動
- 6 地域や近所の困っている人を助け合う活動
- 7 地域で行われているイベントなどでの、絵やダンスなどの得意なことの発表
- 8 地域のことを知ってもらうための新聞づくりやインターネットなどでの発信の活動
- 9 その他（ ）

問 10 最後に、彦根市のこれからのことについて、あなたが思うことなど、何でも自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました。

彦根市総合計画策定に向けての市民意識調査

調査の趣旨とご協力をお願い

令和元年 10 月

市民のみなさまへ

彦根市長 大久保 貴

平素は、市政の推進にご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、本市ではこの度、今後のまちづくりの指針となる、新たな彦根市総合計画を策定いたします。

そのため、本市にお住まいの満 18 歳以上の方々を対象に、彦根市のまちづくりに関するご意見をおうかがいし、次期「彦根市総合計画」の策定に反映してまいりたいと考えております。

つきましては、大変ご多用のことと存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

調査票の記入にあたって

1. この調査は、満 18 歳以上の外国籍市民の中から、無作為に 50 人を抽出させていただいた方にお願いしています。あて名のご本人がお答えください。なお、ご記入にあたっては、ご家族、ご友人などに代筆していただいても結構です。
2. ご記入いただきました内容は、すべて統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありませんので、率直なお答えとご意見をお聞かせください。
3. 調査票は、令和元年 10 月 1 日現在の内容をご記入ください。
4. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、お名前を書かずに、令和元年 11 月 1 日までにご返送くださいますようお願いいたします。

【本調査に関するお問い合わせ先】

彦根市役所 企画振興部 企画課 電話 0749-30-6101

F A X 0749-22-1398

あなた自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別の番号に○印をつけてください。

- | | | | |
|------|------|-------|----------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 | 4 答えたくない |
|------|------|-------|----------|

問2 あなたの年齢についてあてはまる年代の番号に○印をつけてください。

- | | | |
|---------|--------|--------|
| 1 20歳未満 | 2 20歳代 | 3 30歳代 |
| 4 40歳代 | 5 50歳代 | 6 60歳代 |
| 7 70歳以上 | | |

問3 あなたの現在の職業についてあてはまる番号に○印をつけてください。

- | | |
|------------|-----------|
| 1 農林漁業（主に） | 2 建設業 |
| 3 製造業 | 4 卸売業、小売業 |
| 5 宿泊業、飲食業 | 6 医療、福祉 |
| 7 学生 | 8 家事専業 |
| 9 無職 | 10 その他（ ） |

問4 あなたが彦根市を住む場所を選んだ理由についてあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------|---------|
| 1 就労 | 2 就学 | 3 研究・研修 |
| 4 結婚 | 5 環境がよかったから | 6 観光で来て |
| 7 その他（具体的に | | ） |

問5 あなたの国籍についてあてはまる番号に○印をつけてください。

- | | | |
|------------|-----------|--------|
| 1 中国 | 2 ベトナム | 3 ブラジル |
| 4 フィリピン | 5 韓国または朝鮮 | 6 アメリカ |
| 7 その他（具体的に | | ） |

彦根市のことについてお聞きます。

問6 あなたは今住んでいる彦根市が好きですか。1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 とても好き | 2 どちらかといえば好き |
| 3 どちらかといえば好きではない | 4 好きではない |
| 5 わからない | |

問7 あなたが彦根市に住んでいて素晴らしいと思うことについて教えてください。いくつでも選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 琵琶湖や山などの自然 | 2 彦根城などの歴史文化 |
| 3 地域の人などがなじみやすい | 4 日本語などの学習環境がよい |
| 5 外国人との交流がさかん | 6 買い物や交通など生活するのに便利 |
| 7 特にない | 8 その他（具体的に ） |

問8 あなたが彦根市で住んでいて困っていることについて教えてください。いくつでも選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 福祉・医療などの情報が不足 | 2 地域の活動などの情報が不足 |
| 3 災害の時の対応がわからない | 4 地域の人などとの交流がない |
| 5 特にない | 6 その他（具体的に ） |

問9 あなたは彦根市にもっと外国人に訪れてもらうために工夫したほうがよいと思うことを教えてください。いくつでも選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 情報発信 | 2 多言語化等、案内の充実 |
| 3 体験型の観光メニューづくり | 4 観光スポットをめぐるコースづくり |
| 5 飲食の充実 | 6 Wi-Fi 環境整備 |
| 7 その他（具体的に ） | |

問10 さまざまな国籍、さまざまな文化を持つ市民が共生できる地域社会づくりにおいて、どのようなことが重要と思われますか。2つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1 窓口への通訳配置や外国語による相談窓口の充実 |
| 2 外国人住民に向けた情報提供の充実 |
| 3 外国人住民の生活支援体制づくり |
| 4 外国人住民（大人）向けの日本語学習支援 |
| 5 外国人児童生徒に対する日本語指導や相談活動の充実 |
| 6 日本人市民への多文化共生社会実現に向けた啓発活動の充実 |
| 7 外国語講座や交流機会など、国際理解を深めるための場の提供 |
| 8 その他（具体的に ） |

彦根市の将来のことについてお聞きします。

問 1 1 あなたは将来、彦根市がどのようなまちになるとよいと思われますか。2 つまで選んで番号に○印をつけてください。

- 1 自然、風景、景観を生かした暮らしができる環境と共生したまち
- 2 生涯にわたって住み慣れた地域で生活できるやすらぎのまち
- 3 国内外を含め多くの人々に温かく開かれた交流のまち
- 4 自然や歴史的資産を生かした観光とレクリエーションのまち
- 5 多様な「働く場」がある活力あふれるまち
- 6 伝統文化と新しい文化の両方に触れられる芸術文化のまち
- 7 大学や研究機関などが集まった学術研究のまち
- 8 買い物時間を楽しく過ごせるにぎやかな商業のまち
- 9 市民がいいきと主体的にまちづくりを進めるまち
- 1 0 その他（具体的に)

問 1 2 あなたは将来、地域活動やまちづくりに参加するとしたら、どのような取り組みに参加しますか。いくつでも選んで番号に○印をつけてください。

- 1 地域の美化活動
- 2 困っている人を地域で支え合う活動
- 3 地域の防犯活動
- 4 地域の公共施設などの管理
- 5 子育てや介護など、福祉の活動
- 6 知識や経験を生かした生涯学習活動
- 7 イベントや伝統行事に関する活動
- 8 知識を生かした観光ガイドなどの活動
- 9 環境や資源問題などに関する活動
- 1 0 国際交流に関する活動
- 1 1 その他（具体的に)